

「現代の国語」	単位数	2 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	6
---------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書、副教材など	東京書籍「新編現代の国語」（現国 7 0 1） 東京書籍「新編国語総合」視聴教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	こそめスープ ルリボシカミキリの青	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	未来をつくる想像力 水の東西	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	
	3 (7/8)	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	
後期	4 (9/30)	鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。	
	5 (10/28)	美しさの発見 りんごのほっぺ	・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 ・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	
	6 (11/25)	不思議な拍手 真の自立とは	・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。	
	メディア 1 (10/28)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 自分を伝え、相手を知ろう ～ 20 言葉を使って生きて行く	

※通信コース、オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- 2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (10/28)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 自分を伝え、相手を知ろう ～ 20 言葉を使って生きて行く

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/20)	こそめスープ	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。
面接指導② (9/9)	鍋洗いの日々	情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート (主体的に学習に取り組む態度) ・期限内にレポートを提出している。 (知識・技能) ・漢字、語句の意味を理解する。自分の体験と筆者の心情を照会できるかどうか。 ・和歌・漢文・漢詩の基本知識を修得している。 (思考・判断・表現) ・漢字語句の理解。登場人物の描写から心情を読み取れている。 ・語句の言い換え、対比、例示を押さえながら、論旨を把握している。 ・漢字語句の理解。描写の意図の把握している。主人公の心理変化の理解している。(②スクーリング (主体的に学習に取り組む態度) ・授業に積極的に参加している。 ・詩の響きに関心を持ち、想像を膨らませることができている。 ・古典世界に興味関心を抱くことができる。 (思考・判断・表現) ・クラスを通して感じたことや考えたことを、聞き手にもわかるように話ができている。 ・人生上の切実な体験がもつ重みに共感できる。 ・授業で与えられた各題材に対して、自分の考えが的確に表現できる。 ③テスト (知識・技能) ・レポートやスクーリングで学んだ学習項目を正しく理解している。

国語

AIE 国際高等学校

「言語文化」	単位数	2 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書、副教材など	東京書籍「新編言語文化」（言文 7 0 1） 東京書籍「新編言語文化」視聴教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ 雨漏りの音	・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 ・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考える。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born	・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・比喻とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。 ・リズムや形式に注意して詩を読み味わい、作者の物事に対する感じ方について考える。 ・散文詩を読み、蜉蝣（かげろう）のイメージに託された生命への思いを深く味わう。	
	3 (7/8)	羅生門 夢十夜 デューク	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。	
	4 (9/30)	徒然草 枕草子 折々のうた	・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 ・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	

	5 (10/28)	伊勢物語 平家物語 奥の細道	・歌物語に描かれている内容を，叙述を基に的確に捉える。 ・軍記物語特有の表現に注目しながら，登場人物の言動や心情を読み取る。 ・構成に注目しながら，作品にこめられた思いを読み取る。
	6 (11/25)	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り優れた表現に親しむ。 ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り，孔子の思想に興味を持つとともに，ものの見方や考え方を豊かにする。 ・話の展開や登場人物の言動を読み取り，史話のおもしろさを味わう。
	メディア 1 (11/25)	ラジオ視聴 NHKラジオ第2放送 「高校講座」	1 ●古文に親しむ ～ 6 4 「論語」の注釈を読む

※通信コース、オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (11/25)	ラジオ視聴 NHKラジオ第2放送 「高校講座」	1 ●古文に親しむ ～ 6 4 「論語」の注釈を読む

（3）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (4/22)	とんかつ	会話や行動の描写に着目して，登場人物の心情とその変化を読み取る。
面接指導② (9/16)	徒然草 枕草子	・随筆に表れた作者の考えを，叙述を基に的確に捉える。 ・作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深める。

（4）評価方法

【評価方法】 ①レポート （主体的に学習に取り組む態度） ・期限内にレポートを提出している。 （知識・技能） ・漢字、語句の意味を理解する。自分の体験と筆者の心情を照会できるかどうか。 ・和歌・漢文・漢詩の基本知識を修得している。 （思考・判断・表現） ・漢字語句の理解。登場人物の描写から心情を読み取れている。 ・語句の言い換え、対比、例示を押さえながら、論旨を把握している。 ・漢字語句の理解。描写の意図の把握している。主人公の心理変化の理解している。（ ②スクーリング （主体的に学習に取り組む態度） ・授業に積極的に参加している。
--

- ・詩の響きに関心を持ち、想像を膨らませることができている。
- ・古典世界に興味関心を抱くことができる。

(思考・判断・表現)

- ・クラスを通して感じたことや考えたことを、聞き手にもわかるように話ができている。
- ・人生上の切実な体験がもつ重みに共感できる。
- ・授業で与えられた各題材に対して、自分の考えが的確に表現できる。

③テスト

(知識・技能)

- ・レポートやスクーリングで学んだ学習項目を正しく理解している。

「論理国語」	単位数	4 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	1 2
--------	-----	------	----	---------	---------	-----

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書、副教材など	東京書籍「新編現代の国語」（現国 7 0 1） 「新編論理国語 学習課題ノート」（準拠ノート） 視聴教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	対話とは何か 世界をつくり替えるために	・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (5/13)	少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。	
	3 (6/10)	学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」	・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。 ・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。	
	4 (6/10)	思考の肺活量 安心について	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。	
	5 (7/8)	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	
	6 (9/2)	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと, 楽しく働くこと	・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。	
	メディア 1 (6/10)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 論理国語とは ～ 19 文章を読み比べるために	

後 期	7 (9/2)	最初のペンギン 豊かさと生物多様性	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。
	8 (9/30)	物語の外から カフェの開店準備	・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。
	9 (9/30)	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。
	10 (10/28)	言葉は「ものの名前」ではない 科学的「発見」とは	・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ・本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
	11 (10/28)	知識における作者性と構造的性 もう一つの知性	・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。
	12 (11/25)	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか	・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。
	メディア 2 (9/30)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	20 少女たちの「ひろしま」 ～ 46 ■ブックガイド①

※通信コース、オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (6/10)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 論理国語とは ～ 19 文章を読み比べるために
視聴レポート② (9/30)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	20 少女たちの「ひろしま」 ～ 46 ■ブックガイド①

（3）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/13)	世界をつくり替えるために	・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。
面接指導② (6/3)	思考の肺活量	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。
面接指導③ (9/2)	最初のペンギン	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。
面接指導④ (10/21)	もう一つの知性	・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。

（４）評価方法

【評価方法】

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の３つの観点から評価する。

A. 知識・技能

効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。

B. 思考・判断・表現

事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

C. 主体的に学習に取り組む態度

情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

「地理総合」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 2. 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。 3. 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深めます。
使用教科書、副教材など	東京書籍「地理総合」(地総 701)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などが深まっている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	○地形図から読み取れることについて理解します。 ○主題図にはさまざまな表現方法があることを理解します。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察します。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	2 (6/10)	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	○地域によって文化が異なる理由について理解します。 ○文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。	
	3 (7/8)	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境①気候	○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○温帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。	

後 期	4 (9/2)	4 節 生活文化と産業 第 2 章 さまざまな地球的課題と 国際協力 1 節 地球環境問題 2 節 資源・エネルギー問題	○自然環境の面から，食生活の地域差について理解します。 ○社会環境の面から，農業形態の地域差について理解します。 ○食文化に多様性が生じる理由について理解します。
	5 (9/30)	3 節 人口問題 4 節 食糧問題 5 節 居住・都市問題 6 節 民族問題 7 節 持続可能な社会の実現を めざして	○18 世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背 景を理解します。 ○発展途上国が抱える人口問題を理解し，その要因・影響を考 えます。
	6 (10/28)	第 3 編 持続可能な地域づくりと 私たち 第 1 章 自然環境と防災 第 2 章 生活圏の調査と地域の展 望	○地球規模で取り組むべき課題が，相互に関連しあっているこ とを理解します。 ○先進国と発展途上国の対立などの課題が あることを理解 し，持続可能な開発のための解決法を考えます。
	メディア ア (10/28)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 地球で暮らすってどういうこと？ ～ 20 地域の課題をどう解決する？

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1．レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- 2．それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (5/13)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 地球で暮らすってどういうこと？ ～ 20 地域の課題をどう解決する？

（３）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/20)	第 1 編 地図や地理情報シス テムでとらえる現代世界 第 1 章 私が暮らす世界	経度と緯度：世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季 節変化と標準時を確認し、緯度や経度との関係について考え る。 地球儀と世界地図との描かれ方の違いを比較し、世界地図の 特徴を考えます。
面接指導② (10/14)	第 3 編 持続可能な地域づく りと私たち 第 1 章 自然環境と防災	日本の地形の特徴について理解し、特に河川や海岸の特徴 にどのような影響を与えているかを理解する。

（４）評価方法

ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価します。
イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点は、それぞれの観点別の評価のための資料とします。
ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。
ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。
評価は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行います。

「歴史総合」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2. 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 3. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書，副教材など	東京書籍「新選歴史総合」(歴総 701)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。）

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1 節 近代化への問い 2 節 結び付く世界と日本の開国	①18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，工業化と世界市場の形成を理解する。	単位認定試験 (2 月 9 日・10 日実施)
	2 (6/10)	3 節 国民国家と明治維新 4 節 近代化と現代的な諸課題	①国民国家の形成の背景や影響などに着目して，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	

	3 (7/8)	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会近代化と現代的な諸課題	○国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料を活用し，国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。	
後期	4 (9/2)	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現実的な諸課題	①経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	
	5 (9/30)	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	○冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。	
	6 (10/28)	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	①アジア諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，市場経済の変容と課題を理解する。 ②冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	
	メディア A (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 なぜ歴史総合なのか ～ 20 現代的な諸問題の形成と展望	

※通信コース、オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 『インターネット講座』の中で、定められた範囲をすべて視聴する。
- 視聴した『インターネット講座』すべての指定範囲のうち、特に学びの大きかった単元を、ひとつ選ぶ。
- 2で選んだそれぞれの単元について、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 なぜ歴史総合なのか ～ 20 現代的な諸問題の形成と展望

（3）面接指導

	単元名	概要
1 (6/17)	第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新	国民国家の形成の背景や影響などに着目して，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲制と国民国家の形成を理解する。
2 (9/2)	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦	国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。

(4) 評価方法

1. レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用 of 技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。また、各設問に設定された評価の観点、それぞれの観点別の評価のための資料とする。
2. 面接授業での学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とする。

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行う。

「世界史探究」	単位数	4 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	12
---------	-----	------	----	---------	---------	----

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 2. 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3. 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書、副教材など	東京書籍「世界史探究」（世探 701） NHK 高校講座「世界史探究」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（1）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現	○なぜ世界史を学習するのかについて、私たちの生活に欠かさないお茶の歴史をたどる ○地球と人類の誕生について、現生人類に直接つながる新人はどのように地球全体に拡散したのか ○古代文明の出現について、大きな文明の分布を確認して、古代文明間の共通点と相違点 ○古代オリエントとエーゲ海地域について、メソポタミア、エジプト、エーゲ海沿岸の古代国家について学習し、その共通点と相違点 ○南アジアの古代文明について、南アジアの地理がどのように文明の広がりや人の移動に影響を及ぼしたのか ○東アジアにめばえた古代文明について、黄河文明はどのような原理をもとにして体制を支えようとしたのか	単位認定試験 (2月9日・10日実施)

	2 (5/13)	第1編 諸地域の歴史的特質 第2章 西アジアと地中海周辺	○古代オリエントの統一について、とくにアッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治のちがい ○古代ギリシアとヘレニズム世界について、とくにアテネ民主政と現代の民主政のちがい ○ローマ帝国と地中海世界について、とくにローマが共和政から帝政へと移行した理由 ○古代末期の社会と地中海世界の解体について、ローマ帝国の政治、社会、宗教がその後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのか ○地中海世界とアジアについて、ローマ帝国と西アジアは、南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのか ○イスラーム世界の成立について、イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのか ○中世初期の東西ヨーロッパについて、西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパはどのような変容をとげたのか
	3 (6/10)	第1編 諸地域の歴史的特質 第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア	○南アジア地域における国家形成について学び、南アジア地域を特徴づける「多様のなかの統一」について具体的に考える ○東南アジア地域における国家形成について学び、交易や思想・文化が国家形成とどのように関係しているのか考える ○東アジアと中央ユーラシアの古代国家形成について学び、古代国家の誕生と発展が社会や文化に与えた影響や、それによって生み出された地域の特色について考える ○8世紀の世界について学び、8世紀がユーラシアの諸地域においてどのような点で転換期であったのか、またユーラシア諸地域の転換はどのように関連していたのか考える
	メディア① (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 世界史へのまなざし ～ 13 西アジア・南アジアの諸帝国
後期	4 (6/10)	第1編 諸地域の歴史的特質 第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	○アフリカ、オセアニア、古アメリカの文明について学び、ユーラシア大陸以外に成立した文明について、自然環境とのかかわりにも注目し特徴を考える ○諸地域の交流と再編について、多様な面から考察する ○イスラーム世界の拡大と繁栄について、その流れを学び、東西 7000 kmにも及ぶアジア・アフリカの広大な地域が一つの文明圏としてまとまった理由を考える
	5 (7/8)	第2編 諸地域の交流と再編 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	○中世ヨーロッパについて学習し、9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ社会ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのかについて学び、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されたのか考察する ○中華帝国の変容とモンゴル帝国について学び、歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国が生まれた過程について学び、モンゴル帝国がどのように世界を結び付けたのか考察する
	6 (9/2)	第2編 諸地域の交流と再編 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	○インド洋海域世界の発展と東南アジアについて学び、インドと東南アジアにおけるイスラームの広がり方の地域差と、その要因について考える ○大交易時代と世界の一体化について学び、大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に変化し、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのか考える
	7 (9/2)	第2編 諸地域の交流と再編 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 第3編 一体化していく世界	○ユーラシア諸国の繁栄について学び、16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸地域が比較的安定した社会を維持できた理由を考え、その経済的繁栄がどのようにもたらされたのか考察する ○主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について学び、16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家の特徴と、それが形成された要因を考える

	8 (9/30)	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	○19世紀から20世紀にかけ、科学技術の飛躍的発展、工業化の進展とともに、イギリスを先頭に自由貿易が展開するなか、人、もの、情報の動きが活発化し世界が密接に連動していくようすを学び、それについて多様な面から考察する ○国民国家と近代社会の形成について学び、18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、またこのような変革は、現代までどのような影響を与えているのかを考える
	9 (10/28)	第3編 一体化していく世界 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	○世界市場の形成とアジア諸国の変容について学び、産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国がどのように対応したのか、またヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかを考える ○アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について学び、アジア諸国は自国の危機をどのように認識し、欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめ、また欧米列強はなぜアジアやアフリカなどへ進出しようとしたのかを考える ○19世紀後半の世界について学び、この時期になぜ人の移動が急速に進んだのか、また移民は移動先の社会にどのような変化をもたらしたのかを考える
	10 (10/28)	第3編 一体化していく世界 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	○第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について学び、第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点で異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかを考える ○国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について学び、アメリカに端を発する世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、またそのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は、戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかを考える
	11 (11/25)	第3編 一体化していく世界 第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度	○第二次世界大戦と戦後の東アジアについて学び、第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と、実際のアジアの戦後はどのような点が連続し、あるいは異なっていたのかを考えます。 ○冷戦の世界化と国際制度について学び、冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、世界に広がるなかで冷戦は、それぞれの地域でどのような意味をもったのかを考えます。
	12 (11/25)	第4編 グローバル化と地球的課題 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会 21世紀の地球的課題と世界史	○冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について学び、冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺し、またその後に生じた経済のグローバル化は何を契機に起こり、世界経済をかえていったのかを考える ○21世紀の地球的課題と人類社会について学び、21世紀に入り、地球上ではどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのか、それまでの歴史をふまえ、その課題に取り組む当事者として考える
	メディア② (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	14 清とユーラシア ～ 31 冷戦構造の成立と展開

単位認定試験（2月9日・10日実施）

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
メディア① (7/8)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 世界史へのまなざし ～ 1 3 西アジア・南アジアの諸帝国
メディア② (11/25)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 4 清とユーラシア ～ 3 1 冷戦構造の成立と展開

(3) 面接指導

	単元名	概要
1 (7/1)	第 2 章 西アジアと地中海周辺	○アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。 ○アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあのかについて理解する。
2 (9/9)	第 8 章 中世ヨーロッパ	○ルネサンスはどのような社会的背景をもち、どのような影響を後世に与えたのかについて理解する。
3 (10/28)	第 14 章 国民国家と近代社会の形成	○イギリスで産業革命がはじまった原因について理解する。
4 (11/25)	第 19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	○第二次世界大戦終結への過程で、連合国はどのような戦後構想をいだき、それをどのように実現しようとしたのかについて理解する。

(4) 評価方法

ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用 of 技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価します。 イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点は、それぞれの観点別の評価のための資料とします。 ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。 ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。学習内容の振り返りを行う際には、「まとめ」などを参考にしてください。
評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行います。

「日本史探究」	単位数	4 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	12
---------	-----	------	----	---------	---------	----

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2. 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3. 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書、副教材など	東京書籍「日本史探究」（日探 701） NHK 高校講座「日本史探究」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切に効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	①先史社会の生活と文化について理解し、判断することができる。 ②歴史資料と先史・古代の展望について理解し、判断することができる。 ③律令国家の形成と古代文化の展開のうち、大和王権と古墳文化から飛鳥の朝廷と文化までについて理解し、判断することができる。 ④東アジアとのかかわりの中での日本史のとらえ方について、具体的な場面も含めて理解している。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (5/13)	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4 2節	①律令国家の形成と古代文化の展開のうち、律令国家の形成と白鳳文化から平城京と天平文化までについて理解し、判断することができる。 ②摂関政治と貴族文化のうち、平安遷都と唐風文化について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ③摂関政治と貴族文化について理解し、判断することができる。 ④与えられたテーマに沿って文章を取捨選択し、指示に従って再構成してまとめることができる。	

	3 (6/10)	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節	①中世社会の成立および中世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ②中世の日本と世界について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ③中世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	メディア① (7/8)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 旧石器時代から縄文時代へ、何が変わったのだろうか？ ～ 14 室町時代の社会はどのような特徴があったのだろうか？	
後期	4 (6/10)	第3章 中世社会の展開 2節	①南北朝の動乱と室町幕府の成立および倭寇と東アジア国際交流について、理解し、判断することができる。 ②室町時代の社会と経済活動および自立する戦国大名について、理解し、判断することができる。 ③室町文化について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	5 (7/8)	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1	①近世社会の形成について、理解し、判断することができる。 ②近世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ③近世社会の展開について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	6 (9/2)	第3章 近世社会の展開 1節 2・3・4・5	①幕藩体制の確立について、理解し、判断することができる。 ②幕藩体制の確立について、理解している。 ③幕藩体制の確立について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	7 (9/2)	第3章 近世社会の展開 2節	①近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解し、判断することができる。 ②近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解している。 ③近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	8 (9/30)	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節	①近代社会の幕開けについて、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開について、理解している。 ③近代社会の幕開けと近現代社会の展開について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	9 (10/28)	第3章 近現代社会の展開 2節	①近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
	10 (10/28)	第3章 近現代社会の展開 3節・4節	①近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、第二次世界大戦と日本について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本および第二次世界大戦と日本について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	

	1 1 (11/25)	第 3 章 近現代社会の展開 5 節・6 節	①近現代社会の展開の中の、占領と改革について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国際社会への復帰と高度経済成長について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、占領と改革について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
	1 2 (11/25)	第 3 章 近現代社会の展開 7 節・8 節 第 4 章 現代の日本の課題の探究	①近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、新しい国際秩序と日本の課題について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本及び新しい国際秩序と日本の課題について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
	メディア ア② (11/25)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第 2 放送 「高校講座」	1 5 なぜ戦国の世となっていたのだろうか？ ～ 3 2 日露戦争は日本と世界にどのような影響をもたらしたのだろうか？

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (5/13)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第 2 放送 「高校講座」	1 旧石器時代から縄文時代へ、何が変化したのだろうか？ ～ 1 4 室町時代の社会はどのような特徴があったのだろうか？
視聴レポート② (5/13)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第 2 放送 「高校講座」	1 5 なぜ戦国の世となっていたのだろうか？ ～ 3 2 日露戦争は日本と世界にどのような影響をもたらしたのだろうか？

(3) 面接指導

	単元名	概要
1 (5/27)	律令国家の形成と古代文化の展開	「平城京と天平文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、奈良時代の政治と文化について理解する。
2 (6/24)	武家政権の成立と朝廷	中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。
3 (10/7)	江戸幕府と大名・朝廷	「江戸幕府と大名・朝廷」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の支配のしくみについて理解する。
4 (11/4)	近現代の地域・日本と世界	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。

(4) 評価方法

ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用 の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価します。
イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点 は、それぞれの観点別の評価のための資料とします。
ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。
ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。学習内容の振り返りを行う際には、「まとめ」などを参考にしてください。
評価は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行います。

「公共」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 2. 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。 3. よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。
使用教科書、副教材など	東京書籍「公共」(公共 701) NHK 高校講座「公共」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たちー社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方ー共に生きるための倫理	○青年期と自己形成、キャリアについて学習し、私たちが「公共的な空間」をつくりだしていく自立した主体であることを学ぶ。 ○〈私〉がそれぞれかけがえのない個人とみなされること、他者や社会とさまざまななかかわりを結ぶ存在であること、伝統・文化の影響と向き合いながら価値観を形成する存在であることについて学ぶ。 ○三大世界宗教 ○功利主義と幸福の原理、義務論と公正の原理について学び、生命倫理、環境倫理について考えを深める。 ○倫理的な観点から物事を選択・判断する際の指針となる基本的な考え方を学ぶ。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)

	2 (6/10)	第3章 公共的な空間における 基本的原理－私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会 に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	○他者とともにより望ましい社会を形成していく際の協働の方法や、社会制度をつくる基礎となる考え方について学ぶ。 ○民主主義，立憲主義，人権保障，日本国憲法について，先人が築き上げてきた細かい条文や内容，それらの根本にある基本的原理について学ぶ。 ○民主政治，地方自治のしくみと役割について学ぶ。 ○日本の国会，内閣の仕組みを学ぶとともに，世界の政治体制について学ぶ。 ○選挙や政党について学ぶ。 ○防災，投票率の低下について諸外国の取り組みについて理解し，考えを深める。	
	3 (7/8)	第2章 法の働きと私たち	○法は私たちの生活にどのようにかわるのか，法や規範の意義と役割について学ぶ。 ○法の適用とプロセスについて学ぶ。 ○現代の市民生活における私法の役割と意義について学ぶ。 ○消費生活と契約について学ぶ。 ○司法のしくみや役割，国民の司法参加について学ぶ。 ○裁判員制度について学ぶ。	
後 期	4 (9/2)	第3章 経済社会で生きる私 たち	○企業の経済活動や市場経済のしくみについて学ぶ。 ○価格決定のメカニズムや，資本主義の歴史と経済思想について学ぶ。 ○経済の指標や景気変動と物価について学ぶとともに，戦後の日本経済の動きについて学ぶ。 ○市場経済における金融のしくみと働きについて学びます。 ○財政の働きや課題について学ぶ。 ○社会保障の考え方や課題について学ぶ。 ○諸外国のタクシー事業への規制について調べ，考えを深める。 ○日本の社会起業家やクラウドファンディングについて考えを深める。 ○諸外国と日本の税の違いについて学ぶ。	
	5 (9/30)	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生 きる私たち テーマ1 ・ テーマ2	○働くことの意義と職業選択について学ぶ。 ○これからのキャリア形成の課題について学ぶ。 ○労働者の権利と労働三法について学ぶ。 ○現代の雇用・労働問題について学ぶ。 ○国際社会のルールとしくみについて学ぶ。 ○日本の平和と安全はどのように守られてきて，どのように変化してきたのかについて学ぶ。 ○他国の働き方について学ぶ。 ○国際連合の専門機関が，どのような活動をしているのかについて学ぶ。	
	メディア① (10/28)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 社会のなかの自己 ～ 20 探究活動③	
	6 (10/28)	第5章 国際社会のなかで生きる 私たち テーマ3 ・ テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに 参画するために	○現代の紛争とその影響を把握し，平和な国際社会に向けて日本が果たすべき役割とは何かを学ぶ。 ○グローバル化する国際経済について学ぶ。 ○貿易のしくみや国際金融のしくみと動向について学ぶ。 ○戦後の国際経済の動きについて学ぶ。 ○今日の国際経済とその諸課題について学ぶ。 ○SDGsについて学ぶ。 ○課題解決に向けて，考察，構想し，自らの考えを説明，論述できるようになるためのプロセスについて学ぶ。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- 2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (10/28)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 社会のなかの自己 ～ 20 探究活動③

(3) 面接指導

	単元名	概要
1 (5/20)	第1章 公共的な空間をつくる私たち (2)社会的な関係のなかで生きる人間	○自由についてのカントの道徳法則と人格，J.S.ミルの自由についての考え方の理解を基に，人間を「個人」として尊重することの意味について多面的・多角的に考察します。
2 (10/7)	第4章 私たちの職業生活	○産業革命の変遷と日本がめざす新しい社会「Society5.0」について理解します。 ○技術革新が進むなかでの職業選択について，多面的・多角的に考察します。

(4) 評価方法

ア レポート学習では，出題範囲における知識と資料活用 の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価します。
イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点 は、それぞれの観点別の評価のための資料とします。
ウ スクリーニング時の学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。
エ スクリーニングに対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。
オ 単位認定試験においても観点別にて評価を行う。
評価は，上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクリーニング、テストの結果を総合的に判断して行います。

「政治・経済」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
---------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 民主主義の本質について理解を深めさせるとともに，理論的・体系的に理解させる。 2. 現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させる。 3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を育成していく。
使用教科書，副教材など	東京書籍「政治・経済」（政経 311） NHK 高校講座「政治・経済」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
政治，経済，国際関係について基本的な事柄などを理論的・体系的に理解し，基本的な概念や理論を知識として身に付けている。	政治，経済，国際関係に関する課題を発見し，望ましい解決の在り方について広い視野に立ち，多面的・多角的に考察するとともに，公正な判断をしている。	政治，経済，国際関係に対して関心を高め，意欲的に課題を追究し，社会の一員として平和な社会生活について考察している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（1）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第1章 現代の政治 1 節 民主政治の基本原則 2 節 日本国憲法の基本原則	○民主政治の基本原則について，その成り立ちを歴史的な観点から理解します。 ○民主主義を支える「法の支配」の原則についてその意義を学び，実社会を規制する法の意義や機能について学習します。 ○人権の意義と歴史的経緯および人権の国際化の現状について理解します。 ○民主政治の本質について歴史的経緯や脆弱性，今日的な課題について学習します。 ○日本国憲法の成立過程と三大基本原則「国民主権，基本的人権の尊重，平和主義」について歴史的な経緯を踏まえながら理解します。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	3 節 日本の政治機構 4 節 現代政治の特質と課題	○国会が「国権の最高機関」とされることの意義と三権分立との関係を理解します。また，二院制を採用している意義と特徴および衆議院の優越がどのように機能しているかについて学習し，日本の国会の権限と課題について考察します。 ○戦前と戦後の内閣の違いを考察し，内閣の機能や内閣総理大臣の権限を学習します。世界的な傾向である行政国家化と官僚制の問題を考え，日本の行政の諸課題と改革の動きについて理解します。 ○民主政治における政党や利益集団の意義と役割について考察し，あわせて日本における政党の歴史的経緯について理解します。 ○民主政治における選挙の意義を理解し，そこから導き出される選挙の原則を考察します。また，選挙制度の類型と特徴を学習するとともに，日本の選挙制度が抱える課題や問題点について考察します。	

	3 (7/8)	5 節 現代の国際政治 第2章 現代の経済 1 節 現代の資本主義経済	○国際社会の成立過程と主権国家と国際法の関係について学習し、国際社会の新たな要素として登場してきたNGOの役割や国際社会と個人との関係について考えます。 ○国際平和の実現のために形成された勢力均衡や集団安全保障のしくみについて理解します。また、その具体化である国際連合の成立過程やしくみ、役割と課題について学習します。 ○現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯をへて成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴や変遷および社会主義経済についても理解を深めます。 ○グローバル化や情報化が進む今日の資本主義経済の特徴について考察します。
後 期	4 (9/2)	2 節 現代経済のしくみ 3 節 日本経済の発展と産業構造の変化	○経済主体間の結びつきを考えながら、経済活動の循環について考察します。 ○資本主義経済の核心をなしている市場の働きについて理解し、市場の失敗についても理解を深めます。 ○「構造改革」の特徴と影響について考察し、世界金融危機や東日本大震災後の日本経済の現状について考察します。 ○第二次世界大戦後の日本経済復興期の諸改革や高度経済成長にいたる経緯と背景について理解します。
	5 (9/30)	4 節 福祉社会と日本経済の課題 5 節 国民経済と国際経済	○グローバル化の進展にともなうさまざまな経済環境の変化について考え、日本の役割について考察します。 ○地方分権の動きについて現状を理解し、地域社会が抱える問題について理解を深めます。また、その解決策について考察します。 ○若者を取り巻く労働環境の現状を理解し、フリーターやニート、非正規雇用の増加について背景や問題点を考察します。
	メディア ア① (10/28)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 政治・経済のまなび方 ～ 4 2 地球市民社会で日本がなすべきことは何か？
	6 (10/28)	第3章 現代社会の諸課題 1 節 日本社会の諸課題 2 節 国際社会の諸課題	○労働問題と労働運動の歴史的経緯について学習し、労働者の権利や労働組合の意義について考察します。また、雇用環境の変化と現代の労働問題について理解します。 ○社会保障制度の歴史について外国も含めた発展の経緯について学習し、日本の社会保障制度の4つの柱について理解を深めます。 ○貿易の意義、自由貿易の利点などについてリカードの比較生産費説をもとに理解します。また、国際収支のとらえ方や外国為替のしくみを学習します。 ○グローバル化の進展にともなうさまざまな経済環境の変化について考え、日本の役割について考察します。 ○日本の政治や経済に大きな影響を与える問題（少子高齢化、若者を取りまく労働環境、地方分権、農業など）を取り上げ、どのような問題が起こるか理解し、原因と解決方法について考えます。 ○国際社会が抱える課題（エネルギー問題、原子力発電、貧困、歴史問題）の現状を理解し、その解決のための取り組みの必要性やあるべき姿について考察します。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- 2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (10/28)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第 2 放送 「高校講座」	1 政治・経済のまなび方 ～ 4 2 地球市民社会で日本がなすべきことは何か？

(3) 面接指導

	単元名	概要
1 (4/15)	第 1 章 現代日本の政治 1 節 民主政治の基本原理	○政治の役割と民主政治への道のりについて理解します。 ○ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説を比較し、共通点と相違点について考察します。
2 (7/8)	第 2 章 現代日本の経済 1 節 現代の資本主義経済	○希少性やトレードオフなど経済活動の基本原理について理解します。 ○経済体制にはどのようなものがあるか考察します。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート ・ 公民の基礎的な内容が理解できている。(思考・判断) ・ 民主主義の本質について理論的、体系的に理解できている。(知識・理解) ・ 期限内にレポートが提出されている。(関心・意欲・態度) ②スクーリング ・ 教科本文の内容を理解できている。(資料活用の技能・表現) ・ 諸資料を活用し、追求した内容を適切に表現できている。(資料活用の技能・表現) ・ 政治、経済、国際関係に対して関心があり、クラス内でも積極的に発言しようとしている。(関心・意欲・態度) ③テスト ・ 本文の内容について、学んだことを筆記テストする。(知識・理解) ・ 現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解できている。(知識・理解)

「数学Ⅰ」	単位数	3 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	9
-------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書，副教材など	東京書籍「新数学Ⅰ」（東書 数Ⅰ704） NHK 高校講座 「数学Ⅰ」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。 事象を数学的に考察し、問題をよりよく解決する。	学習を通して、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、多面的・発展的な思考ができる。	学習を通して、意欲的に数学的な見方や考え方を認識し、その考え方を事象の考察に活用しようとする。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 数と式 1 節 文字と式	- 整数・小数・分数の計算，正負の数の四則計算，平方根，根号を含む四則計算など、中学校までに学習する計算の内容を復習する。 - 多項式の加減法，単項式の乗除法，展開，因数分解など、中学校までに学習する式の計算の内容を復習する。 1 次方程式、連立方程式、2 次方程式など、中学校までに学習する方程式に関する内容を復習する。	単位認定試験 (2 月 9 日・10 日実施)

	2 (5/13)	1 章 数と式 1 節 整式 1 文字を使った式 2 整式 3 整式の加法・減法 4 整式の乗法 5 乗法公式 6 因数分解 2 節 実数 1 数の分類 2 根号を含む式の計算	・文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 ・単項式，単項式の次数，係数，多項式，項，定数項，整式，同類項，整式の次数，n 次式など，式についての用語の意味を理解し，整式を整理するなかで，式についての見方を豊かにする。 ・整式の加法・減法の仕組みを理解し，それらの計算ができる。 ・指数法則，単項式の乗法について理解し，さらに分配法則を用いて整式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し，乗法公式が利用できる。また，式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど，見通しをもって整式を展開することができる。 ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し，因数分解の公式が利用できる。また，式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど，見通しをもって因数分解することができる。 ・自然数，整数，有理数，無理数の意味を理解して，それらを区別できる。さらに，実数について理解するとともに，数を拡張することに興味をもつ。 ・根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また，分母の有理化について理解し，それを活用する能力を伸ばす。	
	3 (6/10)	3 節 方程式と不等式 1 1 次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解き方 5 不等式の利用 6 2 次方程式	・1 次方程式について理解し，1 次方程式を解くことができる。 ・不等号の意味を理解し，数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって，不等式の性質を理解する。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し，解くことができる。 ・1 次不等式を利用して，文章題を解決することができる。 ・2 次方程式について理解し，平方根の考え，因数分解，解の公式を用いて 2 次方程式を解くことができる。	
	4 (6/10)	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ 1 関数 2 2 次関数とそのグラフ	・関数の概念の理解を確実にし，また，1 次関数のグラフをかくことができる。 ・具体的な事象から，2 次関数の概念を理解して，2 次関数のグラフの特徴を学び，そのグラフをかくことができる。また，2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形し，そのグラフを利用できる。	
後期	5 (7/8)	2 節 2 次関数の値の変化 1 2 次関数の最大値・最小値 2 2 次関数のグラフと 2 次方程式 3 2 次関数のグラフと 2 次不等式	・2 次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し，それらの値を求めることができる。また，それを利用して文章題を解決することができる。 ・2 次関数のグラフと 2 次方程式の解の関係を理解し，グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。また，式の見方を豊かにするとともに，グラフを活用することのよさを認識する。 ・2 次関数のグラフと 2 次不等式の解の関係を理解し，グラフを利用して 2 次不等式を解くことができる。	
	メディア 1 (9/2)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	これまで学習してきた単元について、メディアでの講義を聞き理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。	

	6 (9/2)	3 章 三角比 1 節 鋭角の三角比 1 三角形 2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用 5 三角比の相互関係	・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・直接測ることができない長さなどを、相似な直角三角形の辺の比を使って求めることを通して、正接の意味を理解する。 ・正弦、余弦の意味を理解する。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学習し、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。また、$90^\circ - A$の三角比の値を求めることができる。	
	7 (9/30)	2 節 三角比の応用 1 三角形の面積 2 正弦定理 3 余弦定理 4 三角比と座標 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比と計量	・与えられた辺の長さと角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・三角形の角の正弦の値と対応する辺の長さとの関係、さらに外接円の半径との関係を調べて、正弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に正弦定理を有効に活用することができる。 ・三角形の角の余弦の値と辺の長さとの関係を調べて、余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に余弦定理を有効に活用することができる。 ・座標を用いて三角比を考え、鈍角や0°、90°、180°まで拡張した三角比の意味を理解する。 ・角が鈍角の場合も、三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理が成り立つことを確認する。また、空間図形において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用して、計量の問題を解決することができる。	
	8 (10/28)	4 章 集合と論証 1 節 集合と論証 1 集合 2 命題と集合 3 命題と証明	・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 ・命題の逆、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。	

	9 (11/25)	5章 データの分析 1節 データの分析 1 データと度数分布表 2 代表値 3 散らばりぐあいを表す値 4 分散と標準偏差 5 相関関係 6 相関係数	・データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことができ、データを整理する有用性に気づく。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、中央値をもとにした四分位数、四分位範囲を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。 ・データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、平均値をもとにした分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・2つの変量の組の値を散布図に表すことによって、2つの変量の相関関係が調べられることを理解する。 ・散布図による相関関係を相関係数により数値化し、相関の強さが表せる有効性を認識する。	
--	--------------	--	--	--

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (9/2)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	NHK 高校講座 数学Ⅰ 第1回～第40回

（3）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/27)	1章 数と式	平方根の意味を理解し、平方根の求めることができる。 身近な生活の中に平方根が使われていることを意識する。
面接指導② (7/15)	2章 二次関数	関数について理解し、二次関数のグラフを描くことができる。 二次関数の形が、何によって変わってくるかを理解する。
面接指導③ (10/14)	3章 三角比	三角比の定義を理解し、三角比の値を求めることができる。また三角比を実生活で利用できることを確認する。

（4）評価方法

【評価方法】
①レポート
（知識・理解）
・数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。
（思考・判断・表現）
・学習した知識を活用して問題を解くことができる。
（主体的に学習に取り組む態度）
・期限内にレポートが提出されている。
②スクーリング
（主体的に学習に取り組む態度）
・わからないことに対して質問するなど、クラスに積極的に参加している。
（知識・理解）

- ・ 数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。

(思考・判断・表現)

- ・ 学習した知識を活用して問題を解くことができる。

③テスト

(知識・理解)

- ・ 数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。

(思考・判断・表現)

- ・ 数学的な知識を用いて、論理的に問題を解くことができる。

数学

AIE 国際高等学校

「数学Ⅱ」	単位数	4 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	12
-------	-----	------	----	---------	---------	----

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
使用教科書，副教材など	東京書籍「新数学Ⅱ」（東書 数Ⅱ303） NHK 高校講座「数学Ⅱ」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。	学習を通して、意欲的に数学的な見方や考え方を認識し、その考え方を事象の考察に活用しようとする。また、学習を通して、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、多面的・発展的な思考ができる。	事象を数学的に考察し、問題をよりよく解決する。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 方程式・式と証明 1 節 整式・分数式の計算 1 3 次の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 分数式とその計算	・ 3 次の乗法公式と因数分解の公式について理解し，それらの公式が利用できる。 ・ パスカルの三角形を考察し，二項定理が利用できる。 ・ 整式の商にあたる分数式とその約分と通分，四則演算について理解する。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	2 (6/10)	2 節 2 次方程式 1 複素数 2 2 次方程式 3 解と係数の関係	・ 虚数単位を理解するとともに，数を実数から複素数に広げることに興味をもち，従来解けなかった 2 次方程式にも解があることを理解する。さらに，複素数の演算や共役な複素数について理解する。 ・ 複素数を導入したことで，すべての 2 次方程式を解くことができ，判別式について理解し，その有用性に気づく。 ・ 2 次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ，2 次方程式への理解を深める。	

	3 (6/10)	3 節 高次方程式 1 整式の除法 2 因数定理 3 高次方程式 4 節 式と証明 1 等式の証明 2 不等式の証明	・簡単な整式の除法について理解する。 ・剰余の定理や因数定理について理解し、これらを整式の除法や因数分解などに用いたり、活用したりすることができる。 ・高次方程式の定義について理解し、因数分解による解法、および因数定理を利用した解法について理解する。 ・恒等式の意味を理解し、論証について簡単な等式の証明の手順を通して理解する。 ・不等式の性質を理解し、それを用いて証明することができる。また、代表的な不等式として、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係を理解する。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	4 (7/8)	2 章 図形と方程式 1 節 座標と直線の方程式 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標 3 直線の方程式 4 2直線の関係	・座標を利用した数直線上の2点間の距離、および内分、外分の意味を理解し、その計算をしたり、数直線上に内分点、外分点を表したりすることができる。 ・座標平面の約束、および平面上の2点について、距離、内分点、外分点の座標の求め方、内分の代表的な応用として三角形の重心の座標について理解する。 ・1点と傾き、あるいは2点が与えられたときの直線の方程式の求め方を理解し、それを用いることができる。 ・2直線の交点が方程式を連立して求められること、および、平行・垂直な直線の方程式がどのような関係式で与えられるかを理解し、それらを求めることができる。	
	5 (7/8)	2 節 円の方程式 1 円の方程式 2 円と直線 3 節 不等式の表す領域 1 不等式の表す領域 2 連立不等式の表す領域	・円の定義をもとに方程式を立てること、また、円の方程式の一般形から中心の座標と半径を求めることができる。 ・円と直線の位置関係が3通りあること、およびそれらが2式を連立させてできる2次方程式の判別式の符号で決まることを理解する。 ・直線や円によって区切られる領域は、不等式によって表され、その境界が方程式を満たす点であることを理解するとともに、平面上のすべての点が式で表されることを認識する。 ・集合の共通部分の考えを使って、連立不等式で表される領域を考察する。	
後期	6 (9/2)	3 章 三角関数 1 節 三角関数 1 一般角 2 三角関数 3 三角関数の相互関係 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の性質	・回転量としての角度の扱いに興味をもち、360°以上、および負の角度について理解する。 ・180°以上、および負の角度に対する三角比を求めることができ、それらを関数としてとらえることができる。 ・任意の角度に対しても、相互関係が成り立つことを理解する。 ・三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。 ・基本公式を定義から導くことができる。そして、サイン、コサイン、タンジェントの関係についての理解を深める。	

	7 (9/2)	2 節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 弧度法	・加法定理の意味とその使い方を理解し、加法定理の応用の広さを認識する。 ・加法定理の簡単な応用として 2 倍角の公式と、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。 ・弧度法の意味を理解し、扇形の弧の長さや面積の表し方などについて理解する。
	8 (9/30)	4 章 指数関数と対数関数 1 節 指数関数 1 指数の拡張 2 累乗根 3 指数関数とそのグラフ	・指数を整数に拡張することに興味をもち、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・分数を指数とする計算ができ、累乗根として表すことができることを理解する。 ・指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかくことができる。
	9 (9/30)	2 節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ 4 常用対数	・対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。 ・指数法則に関連させながら対数の性質を理解する。 ・対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかくことができる。 ・常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを桁数計算へ応用できる。
	1 0 (10/28)	5 章 微分と積分 1 節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 接線	・平均変化率を物理的な例から導入し、グラフ上の 2 点を通る直線の傾きと対応していることに気づく。 ・極限値の定義を知り、平均変化率の極限を考えることを通して、微分係数の意味を理解し、それを求めることができる。 ・任意の点の微分係数を与える関数としての導関数の意味を理解し、簡単な導関数の計算ができる。 ・グラフの接線の傾きと対比して、微分係数の具体的な意味を理解する。さらに、与えられた曲線の方程式から接線の方程式を求めることができる。
	1 1 (10/28)	2 節 導関数の応用 1 関数の増加・減少 2 関数の極大・極小 3 関数の最大・最小	・導関数の符号を利用して、関数の増減を理解する。 ・増加・減少の境目としての関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。 ・与えられた条件の範囲で関数のグラフを考察することによって、最大・最小の問題を簡単に解くことができることを理解するとともに、関数の最大・最小を考察することの有用性と微分の重要性を納得する。
	1 2 (11/25)	3 節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 面積	・微分の逆演算としての不定積分を理解し、公式をもとに不定積分の計算をすることができる。 ・定積分の公式について理解し、簡単な定積分の計算をすることができる。 ・定積分の応用として、面積が簡単に求められることを理解し、面積計算を通して、積分の概念の有効性を認識する。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 『高校講座』『インターネット講座』の中で、各回、定められた範囲をすべて視聴する。
- 視聴した『高校講座』『インターネット講座』すべての指定範囲のうち、特に学びの大きかった単元を、それぞれひとつ選ぶ。(レポートの提出時期によって異なります。)
- 2で選んだそれぞれの単元について、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (6/10)	インターネット講座	第1章 方程式・式と証明 図形と方程式
視聴レポート② (9/30)	インターネット講座	第2章 三角関係 第3章 指数関数と対数関数 微分と積分

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (6/10)	1章 方程式・式と証明 1 3次の乗法公式と因数分解	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。
面接指導② (7/1)	2章 図形と方程式 1 直線上の点の座標	数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。
面接指導③ (7/22)	3章 三角関数 3 三角関数の相互関係	一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート - 数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。(知識・技能) - 学習した知識を活用して問題を解くことができる。(思考・判断・表現) - 期限内にレポートが提出されている。(主体的に学習に取り組む姿勢) ②スクーリング - わからないことに対して質問するなど、クラスに積極的に参加している。(主体的に学習に取り組む姿勢) - 数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。(知識・技能) - 学習した知識を活用して問題を解くことができる。(思考・判断・表現) ③テスト - 数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。(知識・技能) - 数学的な知識を用いて、論理的に問題を解くことができる。(思考・判断・表現)

「数学 A」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにします。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養います。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養います。
使用教科書，副教材など	東京書籍「新数学A」(数A704・705) NHK 高校講座「数学A」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ○数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ○事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	○図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察することができる。 ○不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ○数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察することができる。	○数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 個数の数え方 4 和の法則と積の法則 5 順列 6 順列の利用 7 いろいろな順列 8 組合せ 9 組合せの利用	○部分集合，全体集合，補集合，共通部分，和集合などの集合の表し方，用語，記号を，図を用いて理解し，記号を使って表すことができる。 ○補集合，和集合について，集合の要素の個数を求めることができる。 ○具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 ○和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し，場合の数を効率よく求めることができる。 ○樹形図を利用して順列の意味を理解し，その総数を求めることができる。 ○順列の考え方をいろいろな場面に利用して，条件のついた順列の総数を求めることができる。 ○重複順列，円順列の意味を理解し，その総数を求めることができる。 ○組合せの意味や性質を理解し，その総数を求めることができる。 ○組合せの考え方をいろいろな場面に利用して，組合せの総数を求めることができる。	単位認定試験 (2月実施)

	2 (6/10)	2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率 5 独立な試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率 8 期待値	○試行と事象，事象の確率について学び，確率の意味を知り，基本的な確率を求めることができる。 ○場合の数をもとに，確率を求めることができる。 ○確率の加法定理を理解し，排反事象の確率を求めることができる。 ○余事象の確率を求めることができる。 ○独立な試行の意味を理解し，簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 ○反復試行について理解し，簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 ○条件つき確率の意味を理解する。また，確率の乗法定理を理解し，活用できる。 ○期待値を求めることができる。また，期待値を意思決定に活用することができる。
	3 (7/8)	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 1 直線と角 2 多角形の角 3 三角形の合同と相似 4 基本の作図 5 作図の利用 2節 三角形の性質 1 三角形と比 2 三角形の重心 3 三角形の外心・内心 4 角の二等分線と線分の比	○平行線と角の関係を理解し，これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ○多角形の内角，外角の性質を理解し，これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ○三角形の合同条件，相似条件を理解し，これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ○垂直二等分線，垂線，角の二等分線の作図方法を理解し，その作図ができる。 ○図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し，目的に合った図形を作図することができる。
後 期	4 (9/2)	3節 円の性質 1 円の接線 2 円周角の定理 3 円に内接する四角形 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理 6 2つの円 4節 空間図形 1 直線や平面の位置関係 2 多面体	○円の接線の性質，接線の長さについて理解し，それらを利用して，接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ○円周角の定理を理解し，それを利用して角の大きさを求めることができる。また，円周角の定理の逆を理解し，4 点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ○円に内接する四角形の性質を理解し，それを利用して角の大きさを求めることができる。また，四角形が円に内接する条件を利用して，四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 ○接線と弦のつくる角の定理を理解し，それを利用して，角の大きさを求めることができる。 ○円と 2 本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し，方べきの定理が成り立つことを理解し，長さを求めることができる。 ○2 つの円の位置関係を考察できる。 ○2 直線，2 平面，直線と平面の位置関係を理解する。 ○多面体，正多面体を理解し，オイラーの多面体定理に触れ，空間図形に対する見方を豊かにする。
	メディア ① (9/2)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 見える数字 ～ 40 和算で遊ぼう

	5 (9/30)	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 1 数を表す 2 数の表し方のしくみ 3 2進法 4 位置を表す 2節 数のつくり方を調べる 1 約数と倍数 2 最大公約数と最小公倍数 3 ユークリッドの互除法	○古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 ○10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 ○2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで、記数法に対する理解を深めることができる。 また、2進法で表された数の計算ができる。 ○平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。 ○約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ○素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ○ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。
	6 (10/28)	3節 はかる 1 測る 2 量る 3 計る 4節 数学で遊ぶ 1 数で遊ぼう（魔方陣） 2 図形で遊ぼう 3 規則性で遊ぼう 4 論理で遊ぼう（帽子の色あて） 5 和算で遊ぼう（塵劫記）	○長さや面積の単位を調べることできる。また、タレスのピラミッドの高さの測量を通して、図形の性質や三角比を用いた測量の方法について考察することできる。 ○体積や重さの単位を調べることできる。 ○古代の人々の時計や、暦（うるう年）について理解する。また、うるう年を決めた理由を考えることができる。 ○魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。また、魔方陣をつくることできる。 ○これまでに学んだことを用いて図形の不思議を解明する。また、新しいパズルをつくることできる。 ○ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知ることができる。 ○帽子の色あてパズルを解くことで、論理的に考えることのよさを知ることができる。 ○「塵劫記」の問題を通して、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。

（2）面接指導

	単元名	概要
1 (4/15)	1章 場合の数と確率	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

2 (5/27)	2 章 図形の性質	【知識・技能】 ・ 三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・ 円に関する基本的な性質について理解している。 ・ 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・ コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
3 (9/2)	3 章 数学と人間の活動	【知識・技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 ・ 数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・ パズルなどに数学的な要素を見だし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

※メディア教材を 1 つ使用し、スクーリング時間数を減免することも可能。(6 割減免)

（3）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1. 『高校講座』『インターネット講座』の中で、各回、定められた範囲をすべて視聴する。
- 2. 視聴した『高校講座』『インターネット講座』すべての指定範囲のうち、特に学びの大きかった単元を、それぞれひとつ選ぶ。（レポートの提出時期によって異なります。）
- 3. 2 で選んだそれぞれの単元について、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (9/2)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 見える数字 ～ 40 和算で遊ぼう

（4）評価方法

ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用 の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価する。 イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点 は、それぞれの観点別の評価のための資料とする。 ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とする。 ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とし、学習内容の振り返りを行う際には、「まとめ」などを参考に する。 評価は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行う。

数学

AIE 国際高等学校

「数学 B」	単位数	2 単位	学科	普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
使用教科書，副教材など	東京書籍「新数学 B」（東書 数 B 702） インターネット講座 「新数学 B」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。	学習を通して、意欲的に数学的な見方や考え方を認識し、その考え方を事象の考察に活用しようとする。また、学習を通して、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、多面的・発展的な思考ができる。	事象を数学的に考察し、問題をよりよく解決する。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（1）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 数列 1 節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	・数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。 ・等差数列について関心を深め，一般項 a_n を初項 a ，公差 d を使って表せることを理解する。 ・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち，それが n を用いて表せることを理解する。 ・等比数列について関心を深め，一般項 a_n を初項 a ，公比 r を使って表せることを理解する。 ・等比数列について関心を深め，一般項 a_n を初項 a ，公比 r を使って表せることを理解する。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	2 節 いろいろな数列 1 数列の和と記号 Σ 2 いろいろな数列	・記号 Σ の意味と性質を理解し，自然数の累乗の和を Σ を用いて表すことができる。 ・階差数列や数列の和から一般項を求めたり，群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。	
	3 (7/8)	3 節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法	・数列の帰納的定義について理解し，漸化式を扱うことができる。 ・数学的帰納法について理解し，等式などの証明に利用できる。	
	メディア ① (9/2)	インターネット講座	1 章 数列 2 章 統計的な推測 3 章 数学と社会生活	

後期	4 (9/30)	2章 統計的な推測 1節 標本調査 1 母集団と標本 2節 確率分布 1 確率分布 2 確率変数の平均と分散の性質 3 確率変数の和と積 4 二項分布	・標本調査の意義を認識し、標本の抽出法や用語などを理解する。 ・確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる また、確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数 X の平均（期待値）や分散、標準偏差を求めることができる。 ・確率変数 $aX+b$ の平均や分散、標準偏差について理解し、それらを求めることができる。 ・確率変数の和の平均や独立な確率変数の積の平均、和の分散について理解し、それらを求めることができる。 ・二項分布の意味を理解する。また、二項分布の確率や平均、分散及び標準偏差を求めることができる。
	5 (10/28)	3節 正規分布 1 正規分布	連続分布とその代表の正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数の確率を求めることができる。また、二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。
	6 (11/25)	4節 統計的な推測 1 母平均の推定 2 仮説検定	母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求めることができる。また、標本平均の分布と正規分布の関係を理解し、標本平均の分布から母平均を推定する方法を理解する。さらに、信頼度 95% の信頼区間という考え方を理解し、母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 仮説検定の考えや帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域などの用語について理解し、母平均の検定、母比率の検定を行うとともに、母集団に関する予想の妥当性について判断することができる。

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (9/2)	インターネット講座	1章 数列 2章 統計的な推測 3章 数学と社会生活

（３）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/13)	1章 数列 2 等差数列	・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。
面接指導② (9/16)	2章 統計的な推測 4 二項分布	・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。

（４）評価方法

【評価方法】 ①レポート ・数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。（知識・理解） ・学習した知識を活用して問題を解くことができる。（思考・判断・表現） ・期限内にレポートが提出されている。（主体的に学習に取り組む態度） ②スクーリング ・わからないことに対して質問するなど、クラスに積極的に参加している。（主体的に学習に取り組む態度） ・数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。（知識・理解） ・学習した知識を活用して問題を解くことができる。（思考・判断・表現）

③テスト

- ・数学の基本的な概念、法則、用語を理解し、知識を身に付けている。(知識・理解)
- ・数学的な知識を用いて、論理的に問題を解くことができる。(思考・判断・表現)

理科

「科学と人間生活」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
-----------	-----	------	----	---------	---------	---

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。 2. 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。 3. 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。 4. 科学に対する興味・関心を高める。 5. 科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。
使用教科書・副教材など	東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) NHK 高校講座「科学と人間生活」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習を通して科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	自然や科学技術と人間生活とのかかわりについての適切な課題を設定し、科学的に考察できる。 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行うとともに、これからの科学と人間生活とのかかわり方について科学的・論知的に思考し、判断する。	自然や科学技術と人間生活とのかかわりについての課題を設定し、自ら学び、自然や科学技術に対する興味・関心をもっている。

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 編 生命の科学 1 章 微生物とその利用	・微生物のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・微生物とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	メディア 1 (5/13)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
	2 (6/10)	2 章 ヒトの生命現象	・ヒトの生命現象について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ヒトの生命現象について、題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	

	3 (7/8)	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	・金属やプラスチックの種類、性質および用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・材料とその再利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・材料とその再利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・衣料と食品について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・衣料と食品に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
	メディア 2 (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
後 期	4 (9/30)	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 2章 熱の性質とその利用	・光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・光の性質とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・熱の性質とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・熱の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
	5 (10/28)	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球	・太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・太陽と地球について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
	メディア 3 (9/30)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
	6 (11/25)	4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害	・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・自然景観と自然災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・自然景観と自然災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
	メディア 4 (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年４回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで４時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (5/13)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	2 微生物との共生
視聴レポート② (7/8)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	3 ノーベル賞学者 大村 智 4 視覚 6 遺伝子とは
視聴レポート③ (9/30)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	8 スマートフォンのメカニズム 9 プラスチックの科学 10 繊維がひらく未来
視聴レポート④ (11/25)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	14 エアコンのメカニズム 16 SDG s と物理

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/22	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 1 編 生命の科学 1 章 微生物とその利用	・微生物のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・微生物とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導② 5/20	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 2 章 ヒトの生命現象	・ヒトの生命現象について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ヒトの生命現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導③ 6/17	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 2 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用	・金属やプラスチックの種類、性質および用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・材料とその再利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・材料とその再利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導④ 7/1	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 2 編 物質の科学 2 章 衣料と食品	・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・衣料と食品について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・衣料と食品に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

面接指導⑤ 9/9	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用	・光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・光の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導⑥ 10/14	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 3 編 光や熱の科学 2 章 熱の性質とその利用	・熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・熱の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・熱の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導⑦ 11/18	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 4 編 宇宙や地球の科学 1 章 太陽と地球	・太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・太陽と地球について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
面接指導⑧ 1/20	教科書 東京書籍「科学と人間生活」(科人 701) 4 編 宇宙や地球の科学 2 章 自然景観と自然災害	・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・自然景観と自然災害について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 ・自然景観と自然災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート (知識・技能) ・教科書本文の内容が理解できているかを確認している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・期限内にレポートを提出している。 ②スクーリング (知識・技能) ・教科本文の内容を理解している。 (思考・判断・表現) ・実験、観察などを通し、科学的に考察できる。 ・リサーチ発表で他者に自分の意見を伝えることができる。 ③テスト (知識・技能) ・学習した科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

理科

「生物基礎」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。 3 観察，実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育む。 4 多様性と共通性という 2 つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。
使用教科書・副教材など	東京書籍「生基 3 1 2 改訂 新編生物基礎」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1編 生物の特徴 1章 多様性と共通性 1 多様性と共通性とは 2 細胞にみられる多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー 1 生命活動を支える代謝 2 代謝を進める酵素 3 生体内のエネルギー変換 4 葉緑体とミトコンドリアの起源	・地球上には多種多様な生物がいることに気付くとともに、多様性は、さまざまな生育環境に適応した結果であることを理解する。 ・生物には、いくつかの共通の特徴が見られることから、共通の祖先から誕生したことに気付く。 ・細胞は大きく原核細胞と真核細胞に分けられることを理解し、真核細胞の動物細胞と植物細胞における共通点と相違点も理解する。 ・細胞の構成成分を知り、それぞれのはたらきを理解する。 ・光合成、呼吸とエネルギー（ATP）の関係について理解する。 ・細胞内共生説について理解する。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	メディア 1 (5/13)	①テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 ②インターネット講座	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。	
	2 (6/10)	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 1 DNAの構造 2 DNAとゲノム 2章 遺伝情報の分配 1 細胞分裂におけるDNAの複製分配 2 DNAの倍加 3 DNAの正確な複製 3章 遺伝情報とタンパク質合成 1 DNAとタンパク質の合成 2 遺伝子の発現と生命現象	・DNA という物質が、生き物の特徴や性質を決定する情報を担っており、親から子へと受け継がれる遺伝子であることを理解する。 ・DNA の構造、塩基配列について理解する。 ・DNA、遺伝子、染色体、ゲノムという用語の違いを理解する。 ・染色体の挙動に注目して、体細胞分裂の過程を理解する。 ・細胞周期の各過程を理解するとともに、細胞は間期と分裂期を交互に繰り返していることを理解する。 ・タンパク質は、DNA の塩基配列が RNA の塩基配列に写し取られた後、アミノ酸配列に置き換えられることによって、作られていることを理解する。 ・細胞ごとに異なる遺伝子が選択的にはたらくことで、細胞の分化が起こっていることを理解する。	

	メディア 2 (7/8)	①テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 ②インターネット講座	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
	3 (7/8)	3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境の維持 1 体内環境と体液の循環 2 恒常性と血液 3 体内環境を調節する器官	・体内環境は、細胞と体液との間で物質交換が行われることで、一定に保たれていることを理解する。 ・心臓を中心とした循環系が、体液を循環させることで栄養分や酸素の供給、老廃物の回収を行っていることを理解する。 ・血液の組成とはたらきを理解する。 ・肝臓と腎臓のつくりとはたらきを理解する。
	メディア 3 (9/30)	①テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 ②インターネット講座	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
後期	4 (9/30)	2章 体内環境を保つしくみ 1 自律神経系による調節 2 ホルモンによる調節 3 自律神経系と内分泌系による協同作用 3章 体内環境を守るしくみ 1 免疫のシステム 2 免疫とヒト	・体内環境の変動を視床下部が感知し、自律神経系が迅速に体内環境を調節していることを理解する。 ・交感神経と副交感神経が拮抗的にはたらくことで、微妙な調節が可能になっていることを理解する。 ・ホルモンによって、持続的な体内環境の調節が行われていることを理解する。 ・自然免疫、適応免疫について理解する。 ・運動することで交感神経のはたらきを高め、その影響を調べ、自律神経系のはたらきに関する理解を深める。
	メディア 4 (11/25)	①テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 ②インターネット講座	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
	5 (10/28)	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 1 生態系 2 植生と生態系 3 植生の遷移 2章 バイオームとその分布 1 地球上の植生分布 2 さまざまなバイオーム	・地球上の様々な生物は、非生物的環境と相互に影響を及ぼしあいながら生態系を形成していることを理解する。 ・生態系の中で、生物どうしは食物連鎖などのつながりを持って生活していることを理解する。 ・植生が生態系の中で、多様な環境を生み出し、さまざまな生物の営みを支えていることを理解する。 ・バイオームは、年間の平均気温と年降水量によって、さらにいくつかのバイオームに区分されることを理解する。
	6 (11/25)	3章 生態系とその保全 1 生態系でのエネルギーの流れ 2 生態系での物質の流れ 3 生態系のバランス 4 生物多様性の保全	・生産者が有機物に蓄えた化学エネルギーを食物連鎖を通じて、消費者が利用していることを理解する。 ・植物などの生産者が利用した光エネルギーは生態系の中を循環せず、最終的に熱エネルギーとして生態系の外へと放出されていることを理解する。 ・炭素と窒素の循環について理解する。 ・ヒトの活動によって、生態系のバランスが保たれている例もあることを理解する。 ・人為的に移入された生物が生態系にどのような影響を与えるかを、文献や資料を用いて具体的に考察する。

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年４回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで４時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (5/13)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 生物の特徴～5 生体とATP
視聴レポート② (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	6 酵素のはたらき～ 13 タンパク質と遺伝情報①
視聴レポート③ (9/30)	インターネット講座	14 タンパク質と遺伝情報① ～ 23 免疫の仕組み ①
視聴レポート④ (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	24 免疫のしくみ ② ～ 31 さまざまな植物の環境への適応

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/15	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 1 編 生物の特徴	・地球上の生物の多様性について理解するとともに、共通の特徴についても理解する。 ・原核細胞と真核細胞について理解する。 ・細胞の構成成分を知り、それぞれのはたらきを理解する。 ・光合成、呼吸とエネルギー（ATP）の関係について理解する。 ・細胞内共生説について理解する。
面接指導② 6/10	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 2 編 遺伝子とそのはたらき	・DNA、塩基配列について理解する。 ・染色体の挙動に注目して、体細胞分裂の過程を理解する。 ・タンパク質は、DNA の塩基配列が RNA の塩基配列に写し取られた後、アミノ酸配列に置き換えられることによって、作られていることを理解する。
面接指導③ 6/24	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 3 編 生物の体内環境の維持	・体内環境は、細胞と体液との間で物質交換が行われることで、一定に保たれていることを理解する。 ・心臓を中心とした循環系が、体液を循環させることで栄養分や酸素の供給、老廃物の回収を行っていることを理解する。 ・血液の組成とはたらきを理解する。 ・肝臓と腎臓のつくりとはたらきを理解する。 ・自律神経系が迅速に体内環境を調節していることを理解する。 ・交感神経と副交感神経のはたらきを理解する。 ・ホルモンによって、持続的な体内環境の調節が行われていることを理解する。 ・自然免疫、適応免疫について理解する。 ・運動することで交感神経のはたらきを高め、その影響を調べ、自律神経系のはたらきに関する理解を深める。 - いることを理解する。
面接指導④ 7/22	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 3 編 生物の体内環境の維持	
面接指導⑤ 9/2	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 3 編 生物の体内環境の維持	
面接指導⑥ 10/21	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 4 編 生物の多様性と生態系	
面接指導⑦ 11/25	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 4 編 生物の多様性と生態系	・地球上の様々な生物は、非生物的環境と相互に影響を及ぼしあいながら生態系を形成していることを理解する。 ・生態系の中で、生物どうしは食物連鎖などのつながりを持って生活していることを理解する。 ・植生が生態系の中で、多様な環境を生み出し、さまざ

面接指導⑧ 1/13	教科書 東京書籍「生基 312 改訂 新編生物基礎」 4 編 生物の多様性と生態系	まな生物の営みを支えていることを理解する。 ・ バイオームは、年間の平均気温と年降水量によって、さらにいくつかのバイオームに区分されることを理解する。 ・ 炭素と窒素の循環について理解する。 ・ 人為的に移入された生物が生態系にどのような影響を与えるかを、文献や資料を用いて具体的に考察する。
---------------	--	---

（４）評価方法

【評価方法】 ①レポート （知識・技能） ・ 教科書本文の内容が理解できているかを確認する。 （主体的に学習に取り組む態度） ・ 期限内にレポートが提出されている。 ②スクーリング （知識・技能） ・ 教科本文の内容を理解できている。 （思考・判断・表現） ・ 実験、観察などを通し、科学的に考察できる。 （主体的に学習に取り組む態度） ・ リサーチ発表で他者に自分の意見を伝えることができる。 ③テスト （知識・技能） ・ 学習した科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
--

「地学基礎」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	・日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書，副教材など	東京書籍「地学基礎」（地基 701） NHK 高校講座「地学基礎」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，野外観察，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法を習得するとともに，報告書の作成や発表を通して，何が分かるようになったかを表現することができる。	地球や地球を取り巻く環境を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，野外観察，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法を習得するとともに，報告書の作成や発表を通して，何が分かるようになったかを表現することができる。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 編 私たちの大地 1 章 大地とその動き	・地球の真の形と大きさはどのようにしたら求めることができるか推測する。 ・地球の形について，地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。 ・地球の内部は構成物質や状態の違いから，地殻，マントル，外核，内核に分かれた層構造をしていることを理解する。 ・物質は同じだが，温度の差による粘性の違いで区切り，名称が変わることを理解する。プレートは，地球内部の区分のどの部分にあたるか理解する。 ・地震や地殻変動などの原因をプレートの動きで説明できることを理解する。 ・マントル内部の対流とプルームの動きについて理解する。 ・プレートの境界は 3 つに分けられることを知る。 ・地殻変動によって生じる地質構造（しゅう曲，断層，不整合）について理解する。 ・変成作用と変成作用で生じる変成岩について知る。 ・広域変成作用と片岩の特徴，接触変成作用とホルンフェルス，結晶質石灰岩の特徴を知る。 ・片岩と大理石から，各々の鉱物の特徴を見いだす。	単位認定試験（2 月実施）
	メディア 1 (5/13)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。	

	2 (6/10)	1 編 私たちの大地 2 章 火山活動と地震	・マグマが噴火するしくみについて知る。 ・世界の火山分布図から、火山の分布が3つに区分できることに気づく。 ・火成岩は、岩石の組織と化学的組成によって分類されることを理解する。 ・火成岩について、火成岩や鉱物の観察を通じて、その特徴を整理する。 ・火成岩について、鉱物の特徴から岩石がどのようにしてできたかの形成過程を考える。 ・地震の発生について、地震現象の特徴を理解する。 ・震源と震源域の違いについて理解する。また、大地震ほど震源域が大きいことを理解する。 ・地震とプレート運動の関係性を理解し、プレート運動の違いによって地震によって生じる断層が異なることを理解する。
	3 (7/8)	2 編 私たちの空と海 1 章 地球の熱収支 2 章 大気と海水の運動	・大気の組成を知るとともに、大気圧は大気の重さによる圧力であることを理解する。 ・大気は鉛直方向にいくつかの層に区分されることを理解する。 ・対流圏での大気の対流によってさまざまな現象が起こっていることを理解する。 ・地球の大気現象を引き起こすエネルギーの源は太陽放射であり、その量は太陽定数から求められることを理解する。 ・地球の熱収支は、地球全体でみるとつり合っていることを理解する。 ・熱の運ばれ方には、顕熱輸送と潜熱輸送があることを理解する。 ・低緯度ではハドレー循環によって、中緯度では偏西風によって、高緯度では極循環による大気の循環があることを理解する。 ・海は深さとともに温度によって、3つの層に分けることができることを理解する。 ・大気の大循環における貿易風と偏西風によって環流が起こっていることを理解する。 ・深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解する。
	メディア 2 (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。
	4 (9/30)	3 編 私たちの宇宙の誕生 1 章 宇宙の構造と進化	・宇宙が誕生してからどのような過程をへて現在の状態になったのか整理し理解する。 ・天の川銀河の構造を理解する。 ・太陽と太陽系を構成する惑星は天の川銀河に漂っていた星間物質が集まって誕生したことを理解する。 ・地球型惑星と木星型惑星の特徴を整理することができる。 ・太陽の表面の様子や表面で起こっている現象を整理する。 ・太陽のエネルギーは水素核融合反応によって生じていることを理解する。
後 期	メディア 3 (9/30)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。
	5 (10/28)	4 編 私たちの地球の歴史 1 章 地層と化石の観察 2 章 古生物の変遷と地球環境	・地層の形成について、地層のでき方や堆積物の形成のしくみを理解する。 ・堆積物の続成作用と主な堆積岩の分類について理解する。 ・地層や岩体の層序関係を理解する。 ・地層に見られる化石からわかることを整理し理解する。 ・地質年代の区分、特徴について理解する。 ・地球の形成について理解する。 ・化石などに含まれる酸素同位体比を分析することで、その当時の気候の様子がわかることを理解する。 ・人類と類人猿について理解する。

	6 (11/25)	5 編 地球に生きる私たち 1 章 日本の自然の恵みと防災	・日本列島は多様な気候区分があり，垂直方向の温度変化が大きいことを理解する。 ・河川の勾配が，川や周辺の地形にどのように影響しているかを考える。 ・図から日本列島の年平均降水量や年平均気温の分布の特徴を読み取り，その特徴を季節の変化と結びつけて理解する。 ・日本の自然の恵みについて，自然景観として私たちを楽しませてくれたり，火山がさまざまな恵みをもたらしてくれたりしていることを理解する。 ・日本列島は暖流と寒流が出合う場所に位置し、水産資源が豊富であることを理解する。 ・日本は一人当たりの水資源量は世界平均の半分であるが，安全な水を豊富に利用できるという特徴があることを理解する。 ・日本の四季の特徴と季節ごとの気象災害を理解する。 ・地震によってどのような災害が起こりやすいか考える。	
	メディア 4 (11/25)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、一般的にはどのように読まれ、解釈をされるのかを理解する。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。	

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- 1．レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- 2．それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート①	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 ビッグバンと宇宙の誕生 ～ 5 太陽系の誕生
視聴レポート②	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	6 太陽系天体の特徴 ～ 13 地球史の最初期
視聴レポート③	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	14 先カンブリア時代 ～ 23 海溝の地震
視聴レポート④	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	24 活断層の地震 ～ 31 雲と降水のメカニズム

（３）面接指導

	単元名	概要
面接指導① 4/22	第 1 編 私たちの大地 1 章 大地とその動き	【知識・技能】 地球の形と大きさを求める方法（エラトステネスの方法など）を説明し、内部構造の層（地殻・マントル・核）とその特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 密度の違いによる層構造の形成を考察し、地球内部の層構造につなげて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球の形や大きさに関する研究の歴史に興味をもち、課題意識をもって学習に取り組んでいる。
面接指導② 5/20	第 1 編 私たちの大地 2 章 火山活動と地震	【知識・技能】 プレーートの境界の種類と、それに伴う大地形、地質構造（断層・しゅう曲など）を理解している。火成岩と変成岩の分類と特徴を整理できる。 【思考・判断・表現】 火成岩の鉱物の特徴から、岩石の形成過程（マグマの粘り気や温度）を考察し、噴火現象の違いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレート運動の違いによって生じる現象（地形、岩石）に関心をもち、その関連性を考察しようとしている。

面接指導③ 7/1	第2編 私たちの空と海 1章 地球の熱収支	【知識・技能】 地震波、震源・震源域の違い、および大気の組成、鉛直構造（層構造）を理解している。太陽放射と地球放射、熱収支のつり合いを説明できる。 【思考・判断・表現】 大気の鉛直方向の気圧や温度の変化のグラフから、大気の特徴を見いだすことができる。温室効果がない場合の地球表面温度を考察し、その役割を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地震の発生メカニズムと分布に関心を持ち、地球大気の構造に関する実験結果から積極的に考察しようとしている。
面接指導④ 9/9	第2編 私たちの空と海 2章 大気と海水の運動	【知識・技能】 緯度ごとの放射収支の違い、大気の大循環（ハドレー循環など）のしくみ、世界の海流の環流、深層循環を理解している。 【思考・判断・表現】 緯度ごとの放射収支のグラフから、熱輸送の必要性を推察し、その輸送メカニズム（大気や海洋の流れ）を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気と海洋が相互に作用し、地球規模の循環システムを形成していることに気づき、熱輸送のバランスを保とうとする現象について主体的に関わろうとしている。
面接指導⑤ 10/14	第3編 私たちの宇宙の誕生 1章 宇宙の構造と進化	【知識・技能】 宇宙の誕生（ビッグバン）から現在に至るまでの過程、銀河（天の川銀河）の構造を理解している。太陽系が星間物質から誕生したことを知っている。 【思考・判断・表現】 地球型惑星と木星型惑星の特徴を整理し、その違いが生じた理由を推察して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 壮大な宇宙のスケールと、太陽系の成り立ちに興味をもち、探究活動を通して理解を深めようとしている。
面接指導⑥ 11/18	第4編 私たちの地球の歴史 2章 太陽系と地球の誕生	【知識・技能】 太陽のエネルギー源（核融合反応）を理解している。地球で生命が繁栄できた理由、地層の形成過程、地層累重の法則、化石の種類と役割（示準化石など）を理解している。 【思考・判断・表現】 地層の観察結果から、過去のできごと（地史）を推察し、地質年代の区分に必要な情報を整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 なぜ地球に生命が存在するのかという問いに主体的に関わり、地層や化石を調べることで過去の地球環境を科学的に探究しようとしている。
面接指導⑦ 12/9	第4編 私たちの地球の歴史 2章 古生物の変遷と地球環境	【知識・技能】 初期地球の様子と最古の岩石、古生代から新生代にかけての生物の変遷（カンブリア爆発、脊椎動物の発展、哺乳類の繁栄）と環境変化を理解している。 【思考・判断・表現】 生物が陸上に進出するために必要な条件を考察し、ベルム紀末や白亜紀末の大量絶滅の原因を推察して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の進化と地球環境の変化の密接な関係に興味をもち、生物が環境変化に適応してきた過程を主体的に探究しようとしている。
面接指導⑧ 1/20	第5編 地球に生きる私たち 1章 日本の自然の恵みと防災	【知識・技能】 地球環境の変化（二酸化炭素濃度、酸素濃度など）と生物の変遷を関連づけて理解している。日本の地理的特徴と自然災害の特性を知り、地球システムや炭素循環、フィードバックのしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ハザードマップを利用して地域の自然災害リスクを把握し、災害発生時の事前行動計画（減災）を立案できる。気候変動の原因や緩和策・適応策について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球環境問題や自然災害に対し、科学的知識に基づき主体的に関わり、持続可能な社会の実現に向けた方策を考えようとしている。

※メディア教材を1つ使用し、スクーリング時間数を減免することも可能。（6割減免）

(4) 評価方法

- ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用 の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価する。
- イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点 は、それぞれの観点別の評価のための資料とする。
- ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とする。
- エ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とし、学習内容の振り返りを行う際には、「まとめ」などを参考にする。

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行う。

保健体育

AIE 国際高等学校

「体育Ⅰ」	単位数	3 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	3
-------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 各種スポーツの実践を通して、運動技能を高め、スポーツの楽しさや喜びを味わえるようになる。 2. 体調を整え、体力の向上を図り、スポーツマンシップを身に付ける。 3. 継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
使用教科書、副教材など	大修館書店 現代高等保健体育（保体 701） インターネット講座

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の道理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号	提出日	学習内容	学習のねらい	考査範囲
前期	1	5/13	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ	・スポーツの始まりと変遷，近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて理解し，説明することができる。 ・スポーツの文化的 content と変化について理解し，説明することができる。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	視聴①	5/13	インターネット講座 <1 単元>スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ	映像学習を通して、理解を深める。 ・スポーツがどのように始まり、発展したのかを理解する。 ・スポーツの語源を知り。スポーツの歴史的発展やスポーツの持つ文化的な意味を学ぶ。	
	視聴②	5/13	インターネット講座 3 オリンピックとパラリンピックの意義	映像学習を通して、理解を深める。 ・オリンピックとパラリンピックの意義を理解する。 ・オリンピックとパラリンピックの課題を知る。 ・オリンピックの変遷を学ぶ。	
	視聴③	6/10	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」 6 スポーツの変遷とスポーツ文化 8 スポーツの経済効果とスポーツの高潔さ	映像学習を通して、理解を深める。 ・スポーツの歴史的発展と変化を理解する。 ・スポーツには「する」「見る」「支える」「知る」の4つの関わりがあることを学ぶ。 ・日本発祥のスポーツを学ぶ。	

後期	視聴④	6/10	インターネット講座 4 スポーツが経済に及ぼす効果	映像学習を通して、理解を深める。 ・スポーツと経済のかかわりについて理解する。 ・スポーツ産業の拡大について学ぶ。
	視聴⑤	7/8	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」 13 スポーツにおける技術と体力 14 スポーツにおける技術と戦術	映像学習を通して、理解を深める。 ・運動する時に必要な技能と体力の関係について理解する。 ・トレーニングの基本原則と具体的な体力トレーニング方法を知る。 ・スポーツの技術と戦術について理解する。
	2	9/2	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピズムとオリンピックムーブメントについて理解し、オリンピックがどのように変貌してきたかについて説明することができる。 ・パラリンピックと共生社会について理解し、説明することができる。 ・スポーツによる経済波及効果について理解し、スポーツ産業の発達及ぼす経済活動への影響について説明することができる。
	視聴⑥	9/2	インターネット講座 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	映像学習を通して、理解を深める。 ・ドーピングとスポーツについて理解する。 ・スポーツ倫理について学ぶ。 ・スポーツと環境問題について理解する。
	視聴⑦	9/30	インターネット講座 ＜2 単元＞運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術	映像学習を通して、理解を深める。 ・技能と体力の関係と体力の構成要素を理解する。 ・オーバーロード（過負荷）について学ぶ。 ・技術と戦術の違いを理解する。 ・「戦術」「作戦」「戦略」について学ぶ。
	視聴⑧	10/28	インターネット講座 3 技能の上達課程と練習	映像学習を通して、理解を深める。 ・技能の上達課程について理解する。 ・効果的な練習法を学ぶ。
	3	11/25	・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	・スポーツの高潔さ、ドーピングが及ぼす社会全体への悪影響、スポーツ倫理が求められる理由について理解し、説明することができる。 ・スポーツと環境問題について考え、スポーツ場面で環境を保護するために私たちができることについて説明することができる。
	視聴⑨	11/25	インターネット講座 4 効果的な動きのメカニズム	映像学習を通して、理解を深める。 ・効果的な動きのメカニズム（コーディネーション・トレーニング）について理解する。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
-----------------	----------	----

視聴レポート① (5/13)	インターネット講座	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ
視聴レポート② (5/13)	インターネット講座	3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす効果
視聴レポート③ (6/10)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	6 スポーツの変遷とスポーツ文化 8 スポーツの経済効果とスポーツの高潔さ
視聴レポート④ (6/10)	インターネット講座	5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境
視聴レポート⑤ (7/8)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 3 スポーツにおける技術と体力／1 4 スポーツにおける技術と戦術
視聴レポート⑥ (9/2)	インターネット講座	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達課程と練習
視聴レポート⑦ (9/30)	インターネット講座	4 効果的な動きのメカニズム 5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保
視聴レポート⑧ (10/28)	インターネット講座	≪3 単元≫豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ
視聴レポート⑨ (11/25)	インターネット講座	3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/15	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツの始まりについて理解する。 ・メタコミュニケーションについて説明できる。
面接指導② 5/27	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・近代スポーツの誕生について理解する。 ・近代スポーツと文化について学び、説明できる。
面接指導③ 6/10	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・国際スポーツについて理解する。 ・フットボールの変遷を学ぶ。 ・クーベルタンについて説明できる。 ・世界の民族スポーツを知る。
面接指導④ 6/10	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツを文化として捉えることを学ぶ。 ・スポーツ文化への多様な関わりについて理解する。 ・スポーツを「する」「見る」「支える」「知る」を学び、説明できる。
面接指導⑤ 6/24	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・日本生まれのスポーツについて学ぶ。 ・日本発祥のスポーツを説明できる。 ・「競争」について学ぶ。
面接指導⑥ 6/24	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・オリンピックの意義について理解する。 ・オリンピックの価値（卓越・友情・敬意）を説明できる。

面接指導⑦ 7/22	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・パラリンピックの意義について理解する。 ・パラリンピックの価値（勇気・強い意志・感動・公平）を説明できる。
面接指導⑧ 7/22	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・オリンピックとパラリンピックの課題について理解する。 ・スポーツと国際政治のかかわりについて学ぶ。
面接指導⑨ 9/16	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツと経済について理解する。 ・経済波及効果について説明できる。
面接指導⑩ 9/16	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツ産業の拡大について理解する。 ・スポーツに関わる業種について説明できる。
面接指導⑪ 10/7	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツにおける不正について理解する。 ・「商業主義」「勝利至上主義」について説明できる。 ・スポーツの高潔さを脅かす要因を知る。
面接指導⑫ 11/4	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・ドーピングについて理解する。 ・WADA について学ぶ。 ・なぜドーピングが許されないかを考え、答えられる。
面接指導⑬ 11/4	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツの価値について理解する。 ・スポーツの効果・効用を説明できる。
面接指導⑭ 11/25	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツと環境問題について理解する。 ・環境破壊の例を説明できる。
面接指導⑮ 1/27	・大修館書店 現代高等保健 体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	・スポーツと環境保護について理解する。 ・スポーツとまちづくりについて学ぶ。

（４）評価方法

【評価方法】

①レポート

（知識・理解）

- ・ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解しているかどうか。

（思考・判断・表現）

- ・ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えているかどうか。

（主体的に学習に取り組む態度）

- ・ 期限内にレポートが提出されているかどうか。

②スクーリング

（知識・理解）

- ・ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解しているかどうか。

- ・ 各種スポーツの実践を通して、スポーツの楽しさや喜びを味わえているか。

（思考・判断・表現）

- ・ スポーツ、運動技能の構造や体力の高め方などの基礎的な知識について理解し、他者に伝えているかどうか。

（主体的に学習に取り組む態度）

- ・ 主体的に他の生徒と力を合わせて運動できるか。

保健体育

AIE 国際高等学校

「体育Ⅱ」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
-------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 各種スポーツの実践を通して、運動技能を高め、スポーツの楽しさや喜びを味わえるようになる。 2. 体調を整え、体力の向上を図り、スポーツマンシップを身に付ける。 3. 継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
使用教科書, 副教材など	大修館書店 現代高等保健体育（保体 701）、大修館書店 Active Sports 2022 インターネット講座

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の道理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	スポーツのルール ・バレーボール ・バスケットボール ・ハンドボール	・バレーボールの歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・バスケットボールの歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・ハンドボールの歴史、楽しさ、ルールを知る。	単位認定試 (2月9日・10日実施)
後期	2 (10/28)	スポーツのルール ・サッカー ・ラグビー ・テニス	・サッカーの歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・ラグビーの歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・テニスの歴史、楽しさ、ルールを知る。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (5/13)	インターネット講座	バレーボール
視聴レポート② (6/10)	インターネット講座	バスケットボール
視聴レポート③ (7/8)	インターネット講座	ハンドボール
視聴レポート④ (9/30)	インターネット講座	サッカー

視聴レポート⑤ (10/28)	インターネット講座	テニス
視聴レポート⑥ (11/25)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	20 技能の上達過程と効果的な動きのメカニズム

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/22	・大修館書店 現代高等保健体育(保体 701) ・大修館書店 Active Sports 2022	【バレーボール】 ・バレーボールの技能向上 ・チームプレーの促進 ・スポーツの楽しさを知る
面接指導② 5/20		
面接指導③ 6/3		
面接指導④ 6/17		
面接指導⑤ 7/1		
面接指導⑥ 9/9	・大修館書店 現代高等保健体育(保体 701) ・大修館書店 Active Sports 2022	【テニス】 ・テニスの技能向上 ・スポーツの楽しさを知る
面接指導⑦ 10/14		
面接指導⑧ 11/18		
面接指導⑨ 12/9		
面接指導⑩ 1/20		

(4) 評価方法

【評価方法】
①レポート (知識・技能) ・スポーツ、運動技能の構造や体力の高め方などの基礎的な知識を理解できているかどうか。 (主体的に学習に取り組む態度) ・期限内にレポートが提出されているかどうか。
②スクーリング (思考・判断・表現) ・各種スポーツの実践を通して、運動技能を高め、スポーツの楽しさや喜びを味わえているか。 (主体的に学習に取り組む態度) ・主体的に他の生徒と力を合わせて運動できるか。
③テスト (知識・技能) ・スポーツ、運動技能の構造や体力の高め方などの基礎的な知識について理解できているか筆記テストする。

保健体育

AIE 国際高等学校

「体育Ⅲ」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
-------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 各種スポーツの実践を通して、運動技能を高め、スポーツの楽しさや喜びを味わえるようになる。 2. 体調を整え、体力の向上を図り、スポーツマンシップを身に付ける。 3. 継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
使用教科書, 副教材など	大修館書店 現代高等保健体育（保体 701）、大修館書店 Active Sports 2022

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の道理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	スポーツのルール ・卓球 ・バドミントン ・野球 ・ソフトボール	・卓球の歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・バドミントンの歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・野球の歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・ソフトボールの歴史、楽しさ、ルールを知る。	単位認定試 (2月9日・10日実施)
後期	2 (10/28)	スポーツのルール ・陸上競技 ・水泳 ・器械運動 ・剣道	・陸上競技の歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・水泳の歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・器械運動の歴史、楽しさ、ルールを知る。 ・剣道の歴史、楽しさ、ルールを知る。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (5/13)	インターネット講座	卓球
視聴レポート② (6/10)	インターネット講座	バドミントン
視聴レポート③ (7/8)	インターネット講座	ソフトボール
視聴レポート④ (9/30)	インターネット講座	陸上競技

視聴レポート⑤ (10/28)	インターネット講座	水泳
視聴レポート⑥ (11/25)	インターネット講座	器械運動

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/22	・大修館書店 現代高等保健体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	【卓球】 ・卓球の技能向上 ・スポーツの楽しさを知る
面接指導② 6/3		
面接指導③ 6/17		
面接指導④ 7/1		
面接指導⑤ 7/15		
面接指導⑥ 9/9	・大修館書店 現代高等保健体育（保体 701） ・大修館書店 Active Sports 2022	【バドミントン】 ・バドミンントンの技能向上 ・スポーツの楽しさを知る
面接指導⑦ 10/14		
面接指導⑧ 11/11		
面接指導⑨ 11/18		
面接指導⑩ 1/20		

(4) 評価方法

【評価方法】
①レポート (知識・技能) ・スポーツ、運動技能の構造や体力の高め方などの基礎的な知識を理解できているかどうか。 (主体的に学習に取り組む態度) ・期限内にレポートが提出されているかどうか。
②スクーリング (思考・判断・表現) ・各種スポーツの実践を通して、運動技能を高め、スポーツの楽しさや喜びを味わえているか。 (主体的に学習に取り組む態度) ・主体的に他の生徒と力を合わせて運動できるか。
③テスト (知識・技能) ・スポーツ、運動技能の構造や体力の高め方などの基礎的な知識について理解できているか筆記テストする。

保健体育

AIE 国際高等学校

「保健」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 社会生活における健康についての理解を深める。 2. 生涯を通じて自ら健康を管理し、改善していける資質、能力を育てる。
使用教科書，副教材など	大修館書店 現代高等保健体育（保体 301） インターネット講座

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活における健康、安全について、課題の解決に役立つ基礎的な知識を理解し、身に付けている。	社会生活における健康についての課題の解決を目指して、思考、判断している。	社会生活における健康に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	・ 私たちの健康のすがた ・ 健康のとらえ方 ・ 生活習慣病とその予防 ・ 食事と健康	・ わが国における健康水準の変化，健康問題の変化について理解し，説明することができる。 ・ 健康についての多様な考え方，健康の成り立ちとそれにかかわる要因について理解し，説明することができる。 ・ 生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ，また，生活習慣病の予防について理解し，説明することができる。 ・ 健康的な食生活の重要性と意義，健康的な食生活習慣の形成について理解し，説明することができる。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	・ 喫煙と健康 ・ 飲酒と健康 ・ 薬物乱用と健康 ・ 現代の感染症 ・ 性感染症・エイズとその予防	・ 喫煙の健康影響，喫煙開始の要因と依存性，日本や世界のたばこ対策について理解し，説明することができる。 ・ 飲酒による健康への短期的および長期的影響，飲酒の開始要因と社会問題，飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し，説明することができる。 ・ 薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響，薬物乱用の開始要因と社会問題，薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策について理解し，説明することができる。 ・ 感染症は，時代や地域によって，社会環境や自然環境の影響を受け，発生や流行に違いがみられることを説明できる。 ・ 性感染症・エイズについて理解するとともに，予防するための個人・社会がおこなう対策について説明することができる。	

	3 (7/8)	・ 欲求と適応機制 ・ 心身の相関とストレス ・ 交通社会における運転者の資質と責任 ・ 心肺蘇生法	・ 精神機能が主として大脳で統一的、調和的に営まれていること、また人間にはさまざまな欲求があること、欲求不満に対処するための適応機制について理解し、説明することができる。 ・ 心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明することができる。 ・ 安全な運転のための資質、交通事故を起こした場合の責任と補償について理解し、説明することができる。 ・ 心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。	
後期	4 (9/2)	・ 思春期と健康 ・ 結婚生活と健康 ・ 妊娠・出産と健康	・ 思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。 ・ 心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。 ・ 妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。	
	視聴① (9/2)	インターネット講座 ＜1 単元＞スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 ・ 2 文化としてのスポーツ	映像学習を通して、理解を深める。 ・ 現代社会と健康 ・ 安全な社会生活 ・ 生涯を通じる健康 ・ 健康を支える環境づくり	
	5 (9/30)	・ 高齢者のための社会的取り組み ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品と健康	・ 高齢者の健康課題とその社会的な支援、すべての人が健康で安全に暮らすための社会的取り組みについて理解し、説明することができる。 ・ 医療制度と医療保険のしくみ、医療機関の役割と医療サービスの活用について理解し、説明することができる。 ・ 医薬品の種類と正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解し、説明することができる。	
	6 (10/28)	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁・土壌汚染と健康 ・ 環境衛生活動のしくみと働き ・ 食品衛生活動のしくみと働き ・ 食品と環境の保護と私たち	・ 大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。 ・ 水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解し、説明することができる。 ・ ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備とし尿の処理について理解し、説明することができる。 ・ 食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。 ・ 食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について理解し、説明することができる。	

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (9/2)	インターネット講座	保健編すべて 現代社会と健康 1 ～ 5、9 ～ 1 2、1 5 ～ 1 9 安全な社会生活 2 2 ～ 2 6 生涯を通じる健康 3 0 ～ 3 4 健康を支える環境づくり 3 5 ～ 3 7、3 9 ～ 4 2

（３）面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① 7/8	・大修館書店 現代高等保健体育（保体 701）	健康について ・ 健康とは何か（WHO の定義）を理解する。 ・ 食事や生活習慣病、喫煙・飲酒・ストレスとの関わり等、様々な健康の課題に気づき、日常的に健康的な生活を心掛け、身につけることが大切であると知る。
面接指導② 11/11	・大修館書店 現代高等保健体育（保体 701）	応急手当について ・ 応急手当とは何かを学ぶ。 ・ 心肺蘇生法、胸骨圧迫、AED の使用方法を学ぶ。 ・ 安全な社会とは何かを考える。

（３）評価方法

【評価方法】
①レポート （知識・理解） ・保健の基礎知識について理解できているかどうかを確認する。 （知識・理解） ・社会生活における健康、安全について、課題の解決に役立つ基礎的な知識を理解できているかどうかを確認する。 （関心・意欲・態度） ・期限内にレポートが提出されているかどうかを確認する。
②スクーリング （知識・理解／思考・判断） ・教科本文の内容を理解できているかを確認する。 （技能） ・学んだ知識について考え、日常生活に取り入れることができる。
③テスト （知識・理解／思考・判断） ・社会生活における健康、安全について、課題の解決に役立つ基礎的な知識について理解できているか筆記テストする。

「音楽Ⅰ」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	6
-------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かして思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を 育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 2. 音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに質的な価値を見出せる感性を養う。 3. 音や音楽を知覚・感受し、思考・判断し表現する過程を通して創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 4. 音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。 5. 中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景などの広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化の理解を深める。
使用教科書, 副教材など	教育出版 「音楽Ⅰ Tutti+」 (701)

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽の特徴、歴史、構造、表現形態の特徴について理解している。また、歌唱や演奏において、どのように身体や楽器を使うと演奏ができるかを理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。また、表現者としての自分の課題を自覚し、向上しようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	教科書 P.138~139	[題材内容] ・音楽の基礎となる楽譜の読み方、音階、様々な楽曲について理解する。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	メディア1 (5/13)	①ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送「高校講座」 ②テレビ視聴	メディア視聴を通して、実際の作品に触れたり、講義を聞いてレポートで学んだことの理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
	2 (6/10)	教科書 P.108, P.110, P.112~P.113, P.116~P.121	[題材内容] ・西洋における様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的な背景について学ぶ。	
	メディア2 (7/8)	①ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送「高校講座」	メディア視聴を通して、実際の作品に触れたり、講義を聞いてレポートで学んだことの理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	

	3 (7/8)	教科書 P.24, P.130~131, P.86, P.123~P.125	[題材内容] ・歌唱における発声の仕組みについて理解する。 ・世界の民謡の旋律や、声・楽器の音色の特徴、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深める。
	メディア 3 (9/2)	①ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送「高校講座」	メディア視聴を通して、実際の作品に触れたり、講義を聞いてレポートで学んだことの理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。
後 期	4 (9/30)	教科書 P. 138~P.140, P.78	[題材内容] ・音階の特徴や音楽を形づくっている要素の働きや構成について学ぶ。
	メディア 4 (10/28)	①ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送「高校講座」	メディア視聴を通して、実際の作品に触れたり、講義を聞いてレポートで学んだことの理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。
	5 (10/28)	教科書 P.46~P.47, P.90~P.92, P.126~P.128	[題材内容] ・日本の旋律や、声・楽器の音色の特徴、楽曲の文化的・歴史的背景について学ぶ。
	6 (11/25)	教科書 P.108, P.17, P.21, P.32, P.115, P.111, P.116, P.98, P.102 P.120~P.121	[題材内容] ・様々な国、時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的な背景との関連について学ぶ。

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年4回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで4時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (5/13)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	1 音楽の世界へようこそ 2 音楽を特徴づける要素を見つけよう 3 日本の歌 4 リコーダーの魅力 5 楽譜と演奏のフシギな関係
視聴レポート② (7/8)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	6 楽典 ～音楽のルールを学ぼう～ 7 日本の歌曲 8 意外に過激？ ～バロック音楽の魅力～ 9 「わらべうた・民謡 ～日本の音楽①～ 10 日本の民謡と芸能
視聴レポート③ (9/2)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	11 東アジア、東南アジアの音楽 12 三線／三味線に親しもう 13 南アジア、西アジアの音楽 14 ずっしり重い音の構築物 15 いろいろな形式
視聴レポート④ (10/28)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第2放送 「高校講座」	20 ドイツ歌曲の魅力 21 音による文学？ 22 身のまわりの音を取り込む 23 イタリアの民謡や歌曲、フランスの歌 24 日本の劇音楽 25 ヨーロッパから世界へ

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (4/22)	導入と「Voice」(1) ー 声の解放	【知識・技能】 歌唱時の正しい姿勢や呼吸法（腹式呼吸）のポイントを理解し、試みることができる。 【思考・判断・表現】 自分の声や身体の状態（力み、呼吸の深さ）に意識を向け、リラックスして発声しようと工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業のオリエンテーションを意欲的に聞き、仲間と共に歌う活動に前向きに参加しようとしている。
面接指導② (5/20)	「Voice」(2)－ハーモニーの体験	【知識・技能】 自分のパート（主旋律、副旋律）の旋律を覚え、音程やリズムを意識して歌うことができる。 カノンや二部合唱の仕組み（旋律が重なる、追いかける）を理解している。 【思考・判断・表現】 他者のパートの音（声）を聴きながら、自分の声の大きさや音程、タイミングを調整しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 パート練習に真剣に取り組み、グループ内で協力して美しい響きを創り出そうとしている。
面接指導③ (6/10)	「Instruments」(1)－リズムとアンサンブル	【知識・技能】 教科書に示されたリズムパターン（例：シンコペーション、ラテンのリズムなど）を理解し、手拍子や打楽器で正しく演奏できる。 【思考・判断・表現】 グループ内で互いの音（リズム）を聴き合い、全体のテンポやノリ（グルーヴ）が合うように工夫して演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 リズム練習に積極的に参加し、失敗を恐れずに挑戦している。
面接指導④ (7/8)	「Instruments」(2)－日本の旋律	【知識・技能】 日本の伝統音楽（例：雅楽、箏曲）の特徴（使用楽器、音色、音階など）を説明できる。 【思考・判断・表現】： 日本の伝統音楽の音色や旋律から受ける印象（例：「雅」「物悲しい」など）を、西洋音楽との違いと比較しながら自分の言葉で説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段触れる機会の少ない日本の伝統音楽に対し、好奇心を持って視聴・演奏活動に取り組んでいる。
面接指導⑤ (9/9)	「Appreciation」(1)－西洋音楽の様式	【知識・技能】 鑑賞した楽曲の時代様式（例：バロック、古典派）や、曲の形式（例：フーガ、ソナタ形式）の基本的な特徴を、教科書や資料を参考に説明できる。 【思考・判断・表現】 楽曲のどの部分にその様式の特徴（例：フーガの主題の重なり、ソナタ形式の主題の対比など）が現れているか聴き取り、ワークシートや発言で具体的に指摘できる。 【主体的に学習に取り組む態度】

		楽曲の細部（旋律、リズム、音色など）に注意を払い、作曲家の意図や楽曲の構造を理解しようと集中して鑑賞している。
面接指導⑥ (10/14)	「Appreciation」(2)－世界の多様な音楽	【知識・技能】 鑑賞した諸民族の音楽（例：ガムラン、サンバなど）が演奏される文化的背景（地域、生活、儀式など）や、使用楽器の特徴を説明できる。 【思考・判断・表現】 その音楽が持つ独自の音階、リズム、音色などの特徴を聴き取り、それがどのような感覚を生み出しているかを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化の多様性を尊重し、未知の音楽に対しても偏見なく、その独自性や面白さを発見しようとする姿勢で鑑賞している。
面接指導⑦ (11/18)	「Dramas & Music / Creation」(1)－音をスケッチする	【知識・技能】 音楽の諸要素（音高、強弱、リズム、音色）が、どのような情景や感情と結びつきやすいかを理解している。 【思考・判断・表現】 提示されたテーマ（詩や情景）に対して、どのような音（音楽）がふさわしいか、音楽の諸要素と関連付けながら構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】： 「音を創る」活動に意欲的に参加し、自由に発想しようとしている。
面接指導⑧ (12/9)	まとめ－音楽の統合	【知識・技能】 発表する楽曲（合唱）において、自分のパートの音程やリズムを、授業で学んだ水準で正確に歌唱できる。 【思考・判断・表現】 楽曲全体の響きや流れを理解し、強弱やテンポの変化などを工夫して、グループ全体でまとまりのある表現ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの練習の成果を発揮しようと、集中して発表に取り組んでいる。 他グループの発表を真剣に鑑賞し、そのよさや工夫を認めようとしている（相互評価）。

（４）評価方法

【評価方法】 ① レポート （知識・技能） ・音楽の基礎知識（楽譜の読み方、音階等）について理解できている。 （知識・技能） ・様々な時代、国の音楽や作曲者の特徴とその文化的・歴史的な背景との関連について理解できている。 （主体的に学習に取り組む態度） ・期限内にレポートが提出されている。メディア視聴レポート等で自分の意見を書く際には、十分な量の文章で根拠を示し、述べることができる。 ② スクーリング （知識・技能） ・楽器の音色の特徴と表現の効果とのかかわりを感じ取り、創造的に味わいながら鑑賞することができる。 （思考・判断・表現）

- ・ 楽曲のリズム、速度、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲と関わらせながら、歌唱したり演奏することができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

- ・ 主体的に他の生徒と声を合わせて歌えているか、息を合わせて演奏することができる。

③ テスト

(知識・技能)

- ・ 音楽の基礎知識（楽譜の読み方、音階等）について理解しており、問題に適切に答えることができる。

(知識・技能)

- ・ 様々な時代、国の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的な背景との関連について理解できており、問いに的確に答えることができる。

外国語

AIE 国際高等学校

「英語コミュニケーションⅠ」	単位数	3 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	9
----------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	東京書籍 「All Aboard! Communication English Ⅰ」(コ1328) NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅠ」

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学 期	レ ポ ー ト 番 号	授 業 時 数	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	考 査 範 囲
前 期			Warm-Up 1 アルファベット	[題材内容] 食材の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。 [言語活動] 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。	[知識]アルファベットについて、その決まり事などを理解している。 [技能]アルファベットを正しく認識し、書くことができる技能を身につけている。			単位認定試験 (2月実施)

			Warm-Up 2 教室で使う表現	〔題材内容〕 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 〔言語活動〕 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。	〔知識〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解している。 〔技能〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。	
			Warm-Up 3 辞書の使い方	〔題材内容〕 辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。 〔言語活動〕 辞書を使って単語を調べてみる。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。	〔知識〕辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを理解している。 〔技能〕辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。			
			Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ	〔言語材料〕 ・ be 動詞	〔知識〕 be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 自分の名前・性格・特徴などを、be 動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。	自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。	自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。	

第1時限 (4/15)	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフ ードが好きだ！	[言語材料] ・一般動詞	[知識] 一般動詞を用い た文の形・意味・用法を 理解している。 [技能] 自分の日常の行 動や食べ物の好みなど を、一般動詞を用いて、 相手に伝える技能を身に つけている。	自分の日常の行動 や食べ物の好みなど を整理して、相 手が理解しやすい ように伝えている。	自分の日常の行 動や食べ物の好 みなどを整理し て、相手が理解 しやすいように 伝えようとして いる。
	Communication 1 自己紹介	[言語活動] ・自己紹介をする。	[知識]ここまで学習した ことをもとに、自己紹介 の仕方を理解している。 [技能]ここまで学習した ことをもとに、自己紹介 というテーマでメモを作 成し、相手とコミュニケー ションできる技能を身 につけている。	効果的な自己紹介 ができるように、 選んだテーマに沿 って自分の情報を 整理して、相手が 理解しやすいよう に伝えている。	効果的な自己紹 介ができるよう に、選んだテー マに沿って自分 の情報を整理し て、相手が理解 しやすいように 伝えようとして いる。
	英文のしくみ 1	[言語材料] ・主語＋動詞、主語＋動詞＋補語、主語＋動 詞＋目的語			

前期	レポート課題①	第一時限 (4/15)	Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん	[題材内容] ・世界の家についての紹介を通してその特徴を学習する。 [言語材料] ・過去形 [言語活動] ・身のまわりのことについて英語で紹介する。	[知識]動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 〔技能〕世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につけている。	世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。	世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。	単位認定試験（2月実施）
----	---------	-------------	---	---	--	--	---	--------------

レポート課題②(6/10)	第二時限(5/27)	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物	〔題材内容〕 オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 〔言語材料〕 進行形：〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉 〔言語活動〕 好きな動物について、英語で述べるができる。	〔知識〕進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 〔技能〕進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。	オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。	オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
		文法のまとめ 1	〔言語材料〕 be 動詞と一般動詞／否定文と疑問文／過去形／進行形	〔知識〕「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションができている。	「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションをしようとしている。

		第三時限 (6/24)	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車	[題材内容] 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 [言語材料] 助動詞：can, will [言語活動] ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。	[知識] 助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞 can, will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。	ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝えている。	ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
			Communication 2 道案内	[言語活動] ・道案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で道案内をしたり道順を尋ねたりする。	[知識]道案内をするにあたり、地図を見ながら説明する仕方を理解している。 [技能]道案内をするにあたり、地図を見ながら説明できる技能を身につけている。	道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。	道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。
			Let's Listen 1 デートの約束	[言語活動] 友達をサッカーの試合観戦に誘う場面における対話を聞き、概要を理解し、メモを完成させる。	[知識]相手を何かに誘う文の形・意味を理解している。 [技能]相手を何かに誘う文を聞いて、その日時や場所などの要点を整理してメモを取る技能を身につけている。	相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理できている。	相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとしている。

レポート課題③ (7/8)	第四時限 (7/22)	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	〔題材内容〕 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 〔言語材料〕 to 不定詞：〈to＋動詞の原形〉 〔言語活動〕 行ってみたい場所について、英語で述べる ことができる。		〔知識〕 to 不定詞 〈to＋動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
		英文 E メール 書き方	〔言語活動〕 英語で E メールを書いてみる。			
		Extra Target 1 人物当てクイズ	〔言語材料〕 接続詞 〔言語活動〕 人物当てクイズをする。	〔知識〕 「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 クイズにしたい人物の情報を整理し、「接続詞」を用いて、人物のプロフィールを的確に伝えることができる技能を身につけている。	クイズにしたい人物の情報を整理し、「接続詞」を用いて、人物のプロフィールを的確に伝えていく。	クイズにしたい人物の情報を整理し、「接続詞」を用いて、人物のプロフィールを的確に伝えようとしている。

後期	レポート課題④(9/2)	第五時限(9/9)	Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部	[題材内容] 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 [言語材料] 動名詞：〈動詞の-ing 形〉 [言語活動] 将来の夢について、英語で述べることができる。	[知識] 動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞〈動詞の-ing 形〉を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。	高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
			Let's Listen 2 フリーマーケットで買い物	[言語活動] フリーマーケットで買い物をする場面における対話を聞き、概要を理解し、よく使われる表現を聞き取る。	[知識]商品の値段や形状を説明する文の形・意味を理解している。 [技能]商品の値段や形状を説明する文を聞いて、それらの要素を正しく判断できる技能を身につけている。	商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理することができる。	商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとしている。
			英文のしくみ 2	[言語材料] 主語＋動詞＋目的語＋目的語			

後			文法のまとめ 2 [言語材料] 助動詞／to 不定詞／動名詞／接続詞		[知識]「助動詞」「to 不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]「助動詞」「to 不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いて、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	「助動詞」「to 不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いて、相手とコミュニケーションができています。	
		Reading 1 Short Stories in English	[題材内容] ・ 3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。 [言語活動] ・ 登場人物の気持ちを考えながらペアになって音読する。	[知識]英語で書かれた Short Stories の内容を理解している。 [技能]英語で書かれた Short Stories の内容を読み取る技能を身につけている。	英語で書かれた Short Stories の内容に関する問いに答えている。また英語で書かれた Short Stories を、聞いている相手に伝わりやすいように読む要点を捉えている。	英語で書かれた Short Stories の内容に関する問いに答えようとしている。また英語で書かれた Short Stories を、聞いている相手に伝わりやすいように読む要点を捉えようとしている。	
		Extra Target 2 ○○が・・・するのを見た	[言語材料] 知覚動詞 [言語活動] 最近見たり聞いたりしたことについて表現する。	[知識]「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]最近見たり聞いたりしたことについて、「知覚動詞」を用いて適切に表現することができる技能を身につけている。	最近見たり聞いたりしたことについて、「知覚動詞」を用いて適切に伝えていく。	最近見たり聞いたりしたことについて、「知覚動詞」を用いて適切に伝えようとしている。	
		文の構造を知る 2	[言語材料] 主語＋動詞＋目的語＋目的語				

	レポート課題⑤ (9/2)	第六時限 (9/16)	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	〔題材内容〕 江戸時代の浮世絵師，歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 〔言語材料〕 受け身：〈be 動詞＋過去分詞〉 〔言語活動〕 好きな絵について，英語で述べるができる。	〔知識〕 受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 好きな絵の紹介とその理由について，受け身〈be 動詞＋過去分詞〉を用いて，情報や考え，気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，好きな絵とその理由について，相手の意見を知り，自分の考えをまとめるために，情報や考え，気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。	歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，好きな絵とその理由について，相手の意見を知り，自分の考えをまとめるために，情報や考え，気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	レポート課題⑥ (9/30)	第七時限 (10/7)	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク	〔題材内容〕 アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して，生きることの意味について考える。 〔言語材料〕 比較表現：〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉 〔言語活動〕 関心のある人物について，英語で説明することができる。	〔知識〕 比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また，アンネ・フランクについて学んだり，関心のある人物について調べた事柄を整理・理解している。 〔技能〕 比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as＋原級＋as〉の理解をもとに，アンネ・フランクについて学んだり，関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて，考えなどを伝え合う技能を身につけている。	アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，関心のある人物について，相手の意見を知り，自分の考えをまとめるために，情報や考え，気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。	アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，関心のある人物について，相手の意見を知り，自分の考えをまとめるために，情報や考え，気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

レポート課題⑦ (10/28)	第八時限 (10/14)	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	〔題材内容〕 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 〔言語材料〕 現在完了形：〈have[has]+過去分詞〉 〔言語活動〕 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。	〔知識〕現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。 〔技能〕現在完了形〈have[has]+過去分詞〉の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につけている。	ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。	ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。	
		Communication 3 乗り換え案内	〔言語活動〕 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。	[知識]電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明する仕方を理解している。 [技能]電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明できる技能を身につけている。	電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。	電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。	
		英文のしくみ 3	〔言語材料〕 主語＋動詞＋目的語＋補語				

			文法のまとめ 3	〔言語材料〕 受け身／比較表現／完了形	〔知識〕「受け身」「比較表現」「完了形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕「受け身」「比較表現」「完了形」を用いて、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	「受け身」「比較表現」「完了形」を用いて、相手とコミュニケーションができています。	「受け身」「比較表現」「完了形」を用いて、相手とコミュニケーションをしようとしている。	
後期	レポート課題⑧ (11/25)	第九時限 (11/4)	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る	〔題材内容〕 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 〔言語材料〕 名詞を後ろから説明する分詞 〔言語活動〕 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。	〔知識〕「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解している。 〔技能〕「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。	プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	単位認定試験 (2月実施)

レポート課題⑨ (11/25)	第十時限 (11/11)、第十一時限 (11/25)	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	〔題材内容〕 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 〔言語材料〕 関係代名詞：who, which 〔言語活動〕 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。	〔知識〕 関係代名詞 who, which を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解している。 〔技能〕 関係代名詞 who, which の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	第十二時限 (12/2)	Reading 2 The Wizard of Oz	〔題材内容〕 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。 〔言語活動〕 主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読する。	〔知識〕 英語で書かれた The Wizard of Oz の内容を理解している。 〔技能〕 英語で書かれた The Wizard of Oz の内容を読み取る技能を身につけている。	英語で書かれた The Wizard of Oz を、主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読している。また、聞いている相手に意味が伝わりやすい読み方の要点を捉えている。	英語で書かれた The Wizard of Oz を、主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読しようとしている。また、聞いている相手に意味が伝わりやすい読み方の要点を捉えようとしている。

			Extra Target 3 もし私が○○なら...	〔言語材料〕 仮定法過去：〈If＋過去形の文，I would〉 〔言語活動〕 「もし私が○○なら...」と想像して，しようと思うこと・できることについて，ペアになって対話をする。	〔知識〕 仮定法過去 〈If＋過去形の文，I would〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 「もし私が○○なら...」と想像して，しようと思うこと・できることについて，「仮定法過去」を用いて相手と対話をするができる技能を身につけている。	「もし私が○○なら...」と想像して，しようと思うこと・できることについて，「仮定法過去」を用いて相手と対話をして	「もし私が○○なら...」と想像して，しようと思うこと・できることについて，「仮定法過去」を用いて相手と対話をしようとしている。	
			文法のまとめ 4	〔言語材料〕 名詞を後ろから説明する分詞／関係詞／句読法	〔知識〕 「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いて，相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。	「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いて，相手とコミュニケーションができてい	「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いて，相手とコミュニケーションしようとしている。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。

2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (5/13)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	4 ～ 5 Lesson 1
視聴レポート② (6/10)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	6 ～ 7 Lesson 2
視聴レポート③ (7/8)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	8 ～ 9 Lesson 3 1 1 ～ 1 3 Lesson 4
視聴レポート④ (9/2)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	1 4 Lesson 4 1 5 ～ 1 6 Lesson 5
視聴レポート⑤ (9/30)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	2 0 Reading 1 2 1 ～ 2 2 Lesson 6
視聴レポート⑥ (10/28)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	2 3 ～ 2 5 Lesson 7
視聴レポート⑦ (11/25)	テレビ視聴 E テレ「高校講座」	2 6 ～ 2 7 Lesson 8 2 9 ～ 3 1 Lesson 9

(3) 評価方法

【評価方法】

① レポート（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

- ・教科書内の単語・文法・表現についての理解・習得ができているかどうか確認する。
- ・教科書本文の内容が理解できているかを確認する。
- ・期限内にレポートが提出されているかどうか。
- ・自分の考えを述べているか
- ・英作を通して表現できているかどうか

② スクーリング（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

- ・教科書内の表現（相づちを打つ・描写・提案・理由を述べるなど）を用いてペアワークや、内容についてのディスカッションを行い、その中での取り組み状況を確認する。
- ・本文の内容についてグループディスカッションし、まとめたことを発表する。
- ・本文の音読を行い、発音やイントネーションを確認する。
- ・クラス内で取り組んだ英文を評価する。

③ テスト（知識・技能）

- ・本文の内容や文法項目について、読んだり、聞いたことを筆記テストする。
- ・本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを、筆記テストする。

「論理・表現Ⅰ」	単位数	2 単位	学科	普通科	レポート課題数	6
----------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	「NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ」（論Ⅰ701） インターネット講座

話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	Unit1 Lesson 1 初めての食事 Lesson 2 道に迷う Lesson 3 人物紹介	〔題材内容〕 食事会で出された料理についての対話文を通して、褒める・勧める・断る際の表現を身に付ける。 道案内についての対話文を通して、提案する・依頼する・道順を説明する際の表現を身に付ける。 人物について紹介するスピーチを通して、身近な人を紹介する際の表現や聞き手の注意を引くコツを身に付ける。 〔言語活動〕 未来表現・可算名詞・不可算名詞・受動態・現在完了形と過去形・to 不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)

後 期	2 (7/8)	Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所	〔題材内容〕 体調不良についての対話文を通して、症状の伝え方・体調の尋ね方・指示やアドバイスの仕方を学習する。 買い物に出かけた際の対話文を通して、食材にまつわる表現・探しているものについて描写する方法・相づちの打ち方を身に付ける。 行ってみたい場所について書かれたパラグラフを通して、自分が希望することやその理由を読み手に分かりやすく述べるコツを習得する。 〔言語活動〕 冠詞・人称代名詞・助動詞 should と had better・現在形と現在進行形・現在完了形と過去形・後置修飾・to 不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。
	3 (9/2)	Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介	〔題材内容〕 イベントに勧誘される場面の対話文を通して、英語での誘い方・誘いの受け方・誘いの断り方について学習する。 スクールカウンセラーに相談する場面の対話文を通して、状況を説明する・手助けを申し出る・助言や提案をする・お礼や感謝を伝える際の英語表現を身に付ける。 自分のお気に入りを紹介するスピーチを通して、映画や本のあらすじを要約する方法・登場人物などを紹介する表現・感想や批評を述べるコツを習得する。 〔言語活動〕 未来表現・前置修飾・後置修飾などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。
	4 (9/30)	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿	〔題材内容〕 待ち合わせに遅刻する場面の対話文を通して、相手に謝る・相手を許す・相手を励ます際の英語表現を学習する。 家庭でディスカッションしている場面の対話文を通して、共感や残念な気持ちを述べたり、解決策を提案する際に役立つ英語表現を身に付ける。 英字新聞に投稿された記事を通して、理由とともに要望や主張を述べるパラグラフの書き方を習得する。 ディベートを学ぶにあたって、基本事項を押さえる。 〔言語活動〕 使役動詞・to 不定詞と動名詞・仮定法などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。
	5 (10/28)	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介	〔題材内容〕 クラスでディベートをしている場面の対話文を通して、基本的なディベートの流れについて知る。 主張やその理由の述べ方・具体例の挙げかたを学習する。 相手の意見に反駁する方法・相手の意見を引用する方法を学ぶ。 経験談のスピーチ原稿を通して、できごとを生き生きと描写するコツ・経験から得た教訓などをアドバイスする方法を習得する。 遊びやスポーツについて紹介・説明している英文を通して、ルールや手順を順序立てて説明する方法・聞き手の知識に合わせて説明する方法を身につける。 〔言語活動〕 to 不定詞と動名詞・否定語の使い方・後置修飾・受動態・現在完了形と過去形などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。

	6 (11/25)	Lesson5 日本を PR Lesson6 物語の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する	〔題材内容〕 日本を PR するプレゼンテーションの英文を通して、事実と意見を区別して述べる方法や文化や習慣を説明する際の英語表現を学習する。 物事の両面を伝える手本となるパラグラフを通して、利点と欠点の述べ方・話題を発展させる方法・話題の変え方を押さえる。 読み手を納得させる手本となるパラグラフを通して、自分の主張について理由を述べる方法、理由の要約の仕方を学ぶ。 読み手を説得する手本となるパラグラフを通して、人の発言を直接引用する方法・条件を出して意見を述べる方法・説得する方法を身につける。 〔言語活動〕 and, but, so・名詞と無生物主語などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。 意見を論理的に述べる際に役立つディスコースマーカーを押さえる。	
--	--------------	---	---	--

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (6/10)	インターネット講座	Unit 1 Lesson 1 初めての食事 Lesson 2 道に迷う Lesson 3 人物紹介 Lesson 4 体調が悪い Lesson 5 買い物 Lesson 6 行ってみたい場所
視聴レポート② (9/2)	インターネット講座	Lesson 7 イベントに誘われる Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 Lesson 9 お気に入りを紹介 Lesson 10 待ち合わせに遅刻 Lesson 11 家庭でのディスカッション Lesson 12 英字新聞に投稿
視聴レポート③ (9/30)	インターネット講座	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Lesson 2 クラスでディベート② Lesson 3 経験談のスピーチ Lesson 4 遊びやスポーツを紹介
視聴レポート④ (11/25)	インターネット講座	Lesson 5 日本を PR Lesson 6 物事の両面を伝える Lesson 7 読み手を納得させる Lesson 8 読み手を説得する

（３）面接指導

	単元名	概要
1 (5/20)	Lesson 1 初めての食事	【題材内容】 留学先での初めての食事の場面 【領域】（◎主／○従） ◎話すこと（やり取り） ○書くこと 【言語の働き】 褒める，勧める，断る 【文法】未来表現，可算名詞・不可算名詞，受動態
2 (6/17)	Lesson 6 行ってみたい場所	【題材内容】 行ってみたい場所についてのライティング 【領域】（◎主／○従） ○話すこと ◎書くこと 【言語の働き】 希望を述べる，理由を述べる 【文法】 後置修飾，to 不定詞と動名詞
3 (10/7)	Lesson 1 クラスでディベート①	【題材内容】 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 【領域】（◎主／○従） ◎話すこと（やり取り） ○書くこと 【言語の働き】 理由を述べる，例を挙げる 【文法】 to 不定詞と動名詞
4 (11/18)	Lesson 8 読み手を説得する	【題材内容】 海外に行くことについてのライティング 【領域】（◎主／○従） ○話すこと ◎書くこと 【言語の働き】 人の発言を直接引用する，条件を出して意見を述べる，説得する 【文法】 名詞と無生物主語

※メディア教材を1つ使用し、スクーリング時間数を減免することも可能。（6割減免）

（４）評価方法

ア レポート学習では，出題範囲における知識と資料活用 の技能の習得の状況，思考・判断・表現を評価します。 イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点 は、それぞれの観点別の評価のための資料とします。 ウ 学習活動の様子や発表，討論，論述などの内容を評価のための資料とします。 ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。学習内容の振り返りを行う際には，「まとめ」などを参考にしてください。 評定は，上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行います。

「論理・表現Ⅱ」	単位数	2 単位	学科	普通科	レポート課題数	6
----------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ」（論Ⅱ701） インターネット講座

話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（1）学習計画

学期	レポート番号 （提出日）	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	〔題材内容〕 友達に留学について報告する場面の会話文。 留学生が日本の学校に初めて登校した場面の会話文。 ボランティア活動の経験を紹介するスピーチ原稿。 英語で書かれたファンレター。 〔言語活動〕 訂正する・心配する・感謝する際の英語表現を身に付ける。 驚く・繰り返す・言い換える際の英語表現を身に付ける。 スピーチにて注意を引く・同意を求める際の英語表現を身に付ける。 望む・褒める際の英語表現を身に付ける。	単位認定試験 （2月9日・10日実施）

後 期	2 (7/8)	Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	〔題材内容〕 ポスターの内容を説明しイベントに誘う場面の会話文。 図書館で資料を探し図書館司書に相談する場面の会話文。 英語と日本語の翻訳の難しさについて述べられたスピーチ原稿。 通信販売で交換（返品）依頼をするメール文。 〔言語活動〕 誘う・説明する際の英語表現を身に付ける。 聞き直す・依頼する際の英語表現を身に付ける。 要約する・言い換える際の英語表現を身に付ける。 困ったことを伝える・説明する・控えめに依頼する際の英語表現を身に付ける。	単 位 認 定 試 験 （ 2 月 9 日 ・ 10 日 実 施 ）
	3 (9/2)	Lesson9 タクシーに乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	〔題材内容〕 タクシーを利用する場面の会話文。 学生たちによる言語についてディスカッション。 今の学校生活と親の世代の学校生活の違いについて調査した結果を報告するプレゼンテーション。 就きたい仕事とその理由について書かれたエッセイ。 〔言語活動〕 依頼する・提案する際の英語表現を身に付ける。 仮定する・反対する際の英語表現を身に付ける。 報告する・比較して説明する際の英語表現を身に付ける。 説明する・理由を述べる・仮定する際の英語表現を身に付ける。	
	4 (9/30)	Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	〔題材内容〕 「市のタワー建設計画に賛成」という論題で展開されているディベート。 〔言語活動〕 肯定側立論と否定側反駁において、推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 否定側立論と肯定側反駁において、主張する・推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 否定側まとめのスピーチにおいて、推論する・説得する際の英語表現を身に付ける。	
	5 (10/28)	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	〔題材内容〕 外国人への日本文化に関するアンケート調査とその結果を報告するプレゼンテーション。 世界遺産に関する問題点とその対応策について述べられているスピーチ。 〔言語活動〕 調査結果について、報告する・展望を述べる際の英語表現を身に付ける。 問題について、説明する・主張する・提案する際の英語表現を身に付ける。	
	6 (11/25)	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	〔題材内容〕 「30年後の未来が見えたら」というトピックで書かれた英文。 海外ホームステイで体験したことについて、日本の生活と比較しながら書かれたエッセイ。 留学経験をもとに、日本にあったらいいと思うアメリカのスポーツに対する取り組みについて書かれたエッセイ。 〔言語活動〕 仮定する・推論する際の英語表現を身に付ける。 比較する・類似点と相違点を説明する英語表現を身に付ける。 主張する・読み手を説得する際の英語表現を身に付ける。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (6/10)	インターネット講座	Unit 1 Lesson 1 友達に報告する Lesson 2 日本での初登校 Lesson 3 経験についてのスピーチ Lesson 4 ファンレター Lesson 5 イベントに誘う Lesson 6 図書館で資料さがし
視聴レポート② (9/2)	インターネット講座	Lesson 7 翻訳についてのスピーチ Lesson 8 通信販売で返品依頼 Lesson 9 タクシーに乗る Lesson 10 友達とディスカッション Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション Lesson 12 就きたい職業
視聴レポート③ (9/30)	インターネット講座	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Lesson 2 クラスでディベート② Lesson 3 クラスでディベート③ Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション
視聴レポート④ (11/25)	インターネット講座	Lesson 5 社会問題についてのスピーチ Lesson 6 仮定して推論する Lesson 7 比較して説明する Lesson 8 読み手を説得する

(3) 面接指導

	単元名	概要
1 (6/3)	Lesson 3 経験についてのスピーチ	【題材内容】 自らの清掃ボランティアの経験についてのスピーチ 【領域】(◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】注意を引く、同意を求める 【文法】受動態
2 (9/9)	Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション	【題材内容】 現在の学校生活と親世代のそれとのちがいについてのスピーチ 【領域】(◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】 報告する、比較して説明する 【文法】分詞構文
3 (10/14)	Lesson 1 クラスでディベート①	【題材内容】 「谷中タワー」建設について、肯定側・否定側に分かれてディベートをする 場面(AFF 立論とNEG 反駁) 【領域】(◎主／○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 推論する、賛成・反対する 【文法】 名詞構文
4 (11/11)	Lesson 5 社会問題についてのスピーチ	【題材内容】 世界遺産についての問題点とその対応策についてのスピーチ 【領域】(◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】 説明する、主張する、提案する 【文法】先行詞を含む関係代名詞 what

※メディア教材を1つ使用し、スクーリング時間数を減免することも可能。(6割減免)

(4) 評価方法

ア レポート学習では、出題範囲における知識と資料活用の技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価します。 イ レポート学習の各設問に設定された評価の観点とは、それぞれの観点別の評価のための資料とします。 ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。 ウ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。学習内容の振り返りを行う際には、「まとめ」などを参考にしてください。
評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断し、レポート、スクーリング、テストの結果を総合的に判断して行います。

家庭

AIE 国際高等学校

「家庭基礎」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	4
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 2. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
使用教科書、副教材など	東京書籍 「家庭基礎 701」 インターネット講座

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・福祉、衣食住、消費者生活を向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。生活をマネジメントする視点を持ち、生活設計の立案に必要な情報を収集・整理し、検討を行い、具体的な生活設計を立てることができる。	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費者生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費者生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート課題	提出日	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	レポート①	5/13	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ	- 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 - 家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	レポート②	7/8	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 生活の自立 第6章 食生活をつくる	- 高齢化社会の現状と課題について知る。 - 一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。また、保障制度の理念と内容を学ぶ。 - 青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 5大栄養素とその働きについて理解する。 - 食品選択をする際の安全に関する必要事項を学ぶ。	
	メディアレポート①	7/8	インターネット講座 《第1章》 生涯を見通す 《第2章》 人生をつくる 《第3章》 子どもと共に育つ 《第4章》 超高齢社会を共に生きる 《第5章》 共に生き、共に支える	映像学習を通して、理解を深める - 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 - 家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 - 高齢化社会の現状と課題について知る。 - 一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。また、保障制度の理念と内容を学ぶ。	

後期	レポート③	9/30	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	・被服のさまざまな役割を整理する。 ・被服材料の特徴を理解し，組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ・住居を選ぶ際，室内外の環境に着目し，安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ・住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解する。
	メディアレポート②	11/25	インターネット講座 《第6章》 食生活をつくる 《第7章》 衣生活をつくる 《第9章》 経済生活を営む 《第10章》 持続可能な生活を営む	映像学習を通して、理解を深める ・青年期の食事の重要性を理解し，各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ・5大栄養素とその働きについて理解する。 ・食品選択をする際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・被服のさまざまな役割を整理する。 ・被服材料の特徴を理解し，組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味が分かる。
	レポート④	11/25	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 生活の創造 第11章 これからの生活を創造する	・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識する。 ・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換，持続可能な生活について考える。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	範囲
視聴レポート① (7/8)	インターネット講座	《第1章》 生涯を見通す 《第2章》 人生をつくる 《第3章》 子どもと共に育つ 《第4章》 超高齢社会を共に生きる 《第5章》 共に生き、共に支える
視聴レポート② (11/25)	インターネット講座	《第6章》 食生活をつくる 《第7章》 衣生活をつくる 《第9章》 経済生活を営む 《第10章》 持続可能な生活を営む

（3）面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① (6/10)	第1章 生涯を見通す	乳幼児期～高齢期における各ライフステージの特徴と課題を理解する。各ライフステージで重要な点をキーワードでまとめる。
面接指導② (7/8)	第5章 3 食生活の安全と衛生	日常の食生活を振り返り、食品の選択や安全に関する必要事項を学び、生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。

面接指導③ (10/21)	第 6 章 2 被服を入手する 3 被服を管理する	被服材料の特徴を理解し、衣服の組成表示・取り扱い表示などの意味を理解して、適した洗濯や保管方法を知り、生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。
面接指導④ (11/25)	第 10 章 持続可能な生活を営む	大量消費から、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート (知識・技能) ・人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識について理解できているかを評価する。 (思考・判断・表現) ・期限内にレポートが提出されているかどうか。 ②スクーリング (思考・判断・表現) ・現代の衣食住生活とそれぞれの意義、適切な衣食住生活の在り方について思考を深められているかどうかを評価する。 (主体的に学習に取り組む態度) ・調理実習や被服実習に取り組む姿勢を評価する。 (知識・技能) ・授業で学んだ知識を活かして、実生活に必要なスキルを実践することができる。 ③テスト (知識・技能) ・人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を習得できているか筆記テストする。
--

情報

AIE 国際高等学校

「情報 I」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	4
--------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方ができるようになる。現実に関わりうる問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に関わるようになるための資質・能力を養う。
使用教科書, 副教材など	東京書籍 「情報 I 701」 NHK 高校講座「情報 I」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 情報で問題を解決する	・ 情報という用語の意味を理解する。 ・ メディアという言葉の意味と、3 つのメディアについて理解する。 ・ メディアリテラシーが何か、なぜ必要なのかを理解する。 ・ 問題解決の 5 つの段階を理解する。 ・ 発想法について理解する。 ・ 情報モラルの重要性について理解する。 ・ 知的財産権について理解する。 ・ SNS の使用上の留意点を理解する。 ・ 情報技術の発展の良い面と悪い面を比較しながら理解する。	(単位認定試験 2月9日・10日実施)
	2 (7/8)	2 章 情報を伝える 3 章 コンピュータを活用する	・ ネットコミュニケーションのメリットとデメリットを理解する。 ・ 実名の特徴と匿名の特徴を理解する。 ・ デジタルとアナログの違いを理解する。 ・ デジタルの特徴を理解する。 ・ デジタルの世界で使われる用語を正しく用いる。 ・ ビット、バイトの意味が分かる。 ・ 圧縮について理解する。 ・ 画像のデータ量を計算する。 ・ 情報デザインの方法について理解する。 ・ 抽象化, 可視化, 構造化の意味と実例が分かる。 ・ コンピュータを構成する五大装置について, 具体的な名称と機能を理解している。 ・ 基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの関係を理解できている。 ・ 3 つの基本論理回路での出力を理解できているか。	

	メディア 1 (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 インターネット講座	・これまで学習してきた単元の講義を聞き、理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。
後 期	3 (9/30)	4 章 データを活用する	・情報通信ネットワークで用いる基本的な用語を理解している。 ・インターネットの仕組みが理解できている。 ・自宅や学校からどのようなルートでインターネットにアクセスしているのか理解している。 ・情報セキュリティの機密性，完全性，可用性について意味と必要性を理解している。 ・具体的事例が機密性，完全性，可用性のどれなのか区別することができる。 ・データの種類を区別することができる。 ・データベースについて，仕組みと基本的な用語を理解している。 ・データベースの活用事例を日常生活に照らして理解している。 ・データ分析の手法とデータ分析の留意点を理解している。
	4 (11/25)	5 章 活動して提案する	以下の実習項目について，重要なポイントが理解できている。 ・発想法 / ・情報検索のコツ ・インタビューの留意点 ・マイルール作成方法 ・言葉で図形を伝達する方法 ・光の三原色 ・データ量の計算 ・ピクトグラムの作成 ・文書処理ソフトウェアを使った図解表現 ・HTMLでの記述方法 ・WebAPIの活用 ・パケット通信の仕組み ・データの分析の留意点 ・データベースソフトウェアの扱い方 ・アンケート調査とプレゼンテーションの留意点
	メディア 2 (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」 インターネット講座	・これまで学習してきた単元の講義を聞き、理解を深める。 ※学習する章の詳細は、以下の（２）を参照。

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年３回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで１時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	範 囲
視聴レポート① (7/8)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	1 はじめよう！情報Ⅰ ～ 7 よこそデジタルの世界へ！
視聴レポート② (11/25)	テレビ視聴 Eテレ「高校講座」	8 デジタルデータで表現しよう！ ～ 16 コンピュータはなぜつながる？

（３）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (6/10)	1 章 情報で問題を解決する	・情報やメディアの特性や問題解決のプロセスを理解している。 ・プロセスを理解している。
面接指導② (7/22)	2 章 記録を伝える	・ネットコミュニケーションの特徴を理解している。 ・デジタルとアナログの違いを理解している。
面接指導③ (9/2)	4 章 データを活用する	・インターネット上のサービスの仕組みを理解している。 ・情報セキュリティの技術について理解している。

面接指導④ (10/21)	5 章 活動して提案する	・ブレインストーミングで意見を出す技能を身につけている。 ・人によって情報の受け取り方が違うことを理解している。
------------------	--------------	---

(4) 評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の3つの観点から評価する。

A. 知識・技能

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

B. 思考・判断・表現

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めている。

C. 主体的に学習に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度である。

「総合英語Ⅰ」	単位数	2 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	6
---------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を一層伸ばし、社会生活において活用できるようにする。 上記を達成するために、文型や 8 品詞など、「読む」「書く」「聞く」「話す」こと全てに共通する、英語の言語としての基本ルールを習得し、自分で英語を学ぶための基礎力を養う。
使用教科書, 副教材など	AIE 国際高等学校「Go Beyond」 オリジナル映像教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 文型や 8 品詞など、「読む」「書く」「聞く」「話す」こと全てに共通する、英語の基本ルールを理解し、習得した知識を活用できるか。	学習した英語の言語としての基本ルールに基づいて英文を読解し、英語表現ができているか。	英文構造や英語圏の文化に関心を持ち、学習した知識を用いて英文を理解したり、表現をしようとする意欲や態度があるか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	・ 文の構成 (文の構成要素・文の構成) ・ 文の種類 (文の種類・構造面からの文の種類)	・ 文の構成要素について学ぶ。 ・ 平叙文 (否定・肯定)・疑問文・命令文・感嘆文の 4 種類のそれぞれの語順と基本の形を学ぶ。	単位認定試験 (2 月 9 日・10 日実施)
	2 (6/10)	・ 品詞 (名詞・代名詞・動詞)	・ 名詞、代名詞、動詞の分類、働きについて学ぶ。	
	メディア 1 (5/13)	Classi 上の映像	大学教授へのインタビューの視聴を通して、生きた英語表現や実践的なリスニング力、理解力を培う。 ※詳細は (2) 参照	
	3 (7/8)	・ 品詞 (形容詞・副詞)	・ 形容詞、副詞の分類、働きについて学ぶ。	
	メディア 2 (7/8)	Classi 上の映像	大学教授へのインタビューの視聴を通して、生きた英語表現や実践的なリスニング力、理解力を培う。 ※詳細は (2) 参照	
後期	4 (9/2)	・ 品詞 (前置詞・接続詞・間投詞)	・ 前置詞、接続詞、間投詞の分類、働きについて学ぶ。	
	メディア 3 (9/2)	Classi 上の映像	大学教授へのインタビューの視聴を通して、生きた英語表現や実践的なリスニング力、理解力を培う。 ※詳細は (2) 参照	
	5 (9/30)	・ 文型 (第 1 文型・第 2 文型・第 3 文型)	・ 第 1 文型～第 3 文型の英文の構造について学ぶ。また、実際には、それらの文型を通して、何が表現できるかを学ぶ。	
	6 (10/28)	・ 文型 (第 4 文型・第 5 文型)	・ 第 4 文型～第 5 文型の英文の構造について学ぶ。また、実際には、それらの文型を通して、何が表現できるかを学ぶ。	

	メディア 4 (10/28)	Classi 上の映像	大学教授へのインタビューの視聴を通して、生きた英語表現や実践的なリスニング力、理解力を培う。 ※詳細は（２）参照	
--	----------------------	-------------	---	--

※通信・オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年４回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで４時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (5/13)	Classi 上の映像	教授インタビュー #1 セントマーチンズ大学数学科 キャロル・オーバーディーブ教授
視聴レポート② (7/8)	Classi 上の映像	教授インタビュー #2 セントマーチンズ大学政治学科 リチャード・ランジル博士
視聴レポート③ (9/2)	Classi 上の映像	教授インタビュー #3 AIE 演劇プログラム総合ディレクター ブライアン・ウィリス先生
視聴レポート④ (10/28)	Classi 上の映像	教授インタビュー #4 ピアスカレッジ パトリック・カーベンディッシュ博士

（３）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (4/22)	p1～p9 文の構成（文の構成要素・文の構成） 文の種類（文の種類・構造面からの文の種類）	英文の構造や文の種類など、英文の基本的な仕組みを理解する。
面接指導② (6/10)	p10～p43 品詞	英文構造を理解するうえで重要な品詞について理解を深め、実践的にその知識が使えるようにする。
面接指導③ (9/16)	p44～p50 文型（第１文型・第２文型・第３文型）	英文構造を理解するうえで重要な文型について理解を深め、実践的にその知識が使えるようにする。
面接指導④ (10/14)	p51～p53 文型（第４文型・第５文型）	

（４）評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の３つの観点から評価する。

【知識・技能】

５文型や８品詞など、「読む」「書く」「聞く」「話す」こと全てに共通する、英語の基本ルールを理解し、習得した知識を活用できるか。

【思考・判断・表現】

学習した英語の言語としての基本ルールに基づいて英文を読解し、英語表現ができているか。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文構造や英語圏の文化に関心を持ち、学習した知識を用いて英文を理解したり、表現をしようとする意欲や態度があるか。

「ディベート・ディスカッション」	単位数	2 単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	6
------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	英語でのディスカッションやディベートに必要とされる、論理的な英語力、多面的にものごとを考える思考力、身近な問題や社会問題に対する知識・教養を身に着ける。また、具体的な方法として「主張」「理由」「例」「再主張」基本的な形式にもとづいて、自分の考えが主張できるようになる。
使用教科書, 副教材など	三省堂 Logical English Reading 2 リスニング教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
AREA（「主張」「理由」「例」「再主張」）を理解し、その型に沿って英文が書けるようになる。	テキストにある主張の論理構成を理解し、それに対して効果的に反論をすることができる。	与えられたトピックに対して、型に沿って議論を展開しようという姿勢がある。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	AREA 一意見を論理的に伝える・考えるために－ 01 Should colleges start in fall?	・効果的な主張のサポートと反論の仕方について学ぶ。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	02 Should talented students be allowed to skip a grade?	・議論のための様々な表現を学習し、特にディスコマーカーを理解しながら読み進められるようになる。	
	メディア 1 (5/13)	Classi コンテンツボックス	テキスト付属の音声教材のリスニングを行う。 ※詳細は（２）参照	
	3 (7/8)	03 Should beauty contests be banned?	・テキストの英文から、効果的な議論や反論は何かを理解する。	
	メディア 2 (7/8)	Classi コンテンツボックス	テキスト付属の音声教材のリスニングを行う。 ※詳細は（２）参照	
後期	4 (9/2)	04 Should the compulsory retirement systems be abolished? 05 Should the death penalty be abolished?	・テキストの英文から、効果的な議論や反論は何かを理解する。	
	メディア 3 (9/2)	Classi コンテンツボックス	テキスト付属の音声教材のリスニングを行う。 ※詳細は（２）参照	
	5 (9/30)	06 Should a fat tax be introduced?	・テキストの英文から、どちらの議論がより説得力があるかを考え、自分の意見も表現できるようになる。	
	6 (10/28)	07 Should casinos be allowed in Japan? 08 Should Japan adopt compulsory voting?	・テキストの英文から、どちらの議論がより説得力があるかを考え、自分の意見も表現できるようになる。	

	メディア 4 (10/28)	Classi コンテンツボックス	テキスト付属の音声教材のリスニングを行う。 ※詳細は（２）参照	
--	----------------------	------------------	------------------------------------	--

※通信・オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年４回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで４時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- １．レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- ２．それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (5/13)	Classi コンテンツボックス	02 Should talented students be allowed to skip a grade?
視聴レポート② (7/8)	Classi コンテンツボックス	03 Should beauty contests be banned?
視聴レポート③ (9/2)	Classi コンテンツボックス	04 Should the compulsory retirement systems be abolished?
視聴レポート④ (10/28)	Classi コンテンツボックス	07 Should casinos be allowed in Japan?

（３）面接指導について

授業	単元	単元の目標
面接指導① (4/15)	AREA －意見を論理的に伝える・考えるために－ 01 Should colleges start in fall?	効果的な主張のサポートと反論の仕方について学ぶ。
面接指導② (5/27)	02 Should talented students be allowed to skip a grade?	議論のための様々な表現を学習し、特にディスコマーカーを理解しながら読み進められるようになる。
面接指導③ (6/10)	03 Should beauty contests be banned?	
面接指導④ (6/24)	04 Should the compulsory retirement systems be abolished?	テキストの英文から、効果的な議論や反論は何かを理解する。
面接指導⑤ (7/22)	05 Should the death penalty be abolished?	
面接指導⑥ (10/7)	06 Should a fat tax be introduced?	テキストの英文から、どちらの議論がより説得力があるかを考え、自分の意見も表現できるようになる。
面接指導⑦ (10/21)	07 Should casinos be allowed in Japan?	
面接指導⑧ (11/4)	08 Should Japan adopt compulsory voting?	

（４）評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の３つの観点から評価する。
【知識・技能】 AREA（「主張」「理由」「例」「再主張」）を理解し、その型に沿って英文が書けるようになる。
【思考・判断・表現】 テキストにある主張の論理構成を理解し、それに対して効果的に反論をすることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】 与えられたトピックに対して、型に沿って議論を展開しようという姿勢がある。

「エッセイライティングⅠ」	単位数	2単位	学科	普通科・国際科	レポート課題数	6
---------------	-----	-----	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	英文のエッセイを「型に沿って書くこと」ができるようになる。パッセージ内の文の構成の秩序を理解して従うことで、わかりやすく、相手に伝わる文章が書けることを理解する。加えて、スムーズに英文エッセイを書けるようになるために、型に沿って内容を発想することができるようになる。
使用教科書, 副教材など	三省堂 ステップアップ式 徹底攻略英作文 自由英作文編 オンライン教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英文エッセイの型を理解し、それに沿って発想し、効果的にパラグラフを展開することができる。	英文エッセイの型に沿って発想し、効果的な議論ができるように思考し、表現することができる。	英語で自分の考えを表現しようと試み、英文の構造を理解し、実践する努力をしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 賛成・反対／二者択一型の英作文 例題 第2言語の学習 2 ボランティア活動の義務化	・二者択一型の英作文の構成を学び、それを活用してエッセイを書く。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	2 章 自分について語る 例題 1億円あったら 1 10年後にやっていたいこと	・自分について語るときの表現について学習し、実践できるようになる。	
	メディア1 (5/13)	Classi コンテンツボックス	映像からさまざまな英語表現について学ぶ。 ※詳細は（2）参照	
	3 (7/8)	2 章 自分について語る 2 理想の休日の過ごし方	・資料型英作文の構成とグラフの読み取り方について学ぶ。	
	メディア2 (7/8)	Classi コンテンツボックス	映像からさまざまな英語表現について学ぶ。 ※詳細は（2）参照	
後期	4 (9/2)	3 章 資料型英作文 2 グラフを説明する	・資料型英作文の構成とグラフの読み取り方について学び、実践できるようになる。	
	メディア3 (9/2)	Classi コンテンツボックス	映像からさまざまな英語表現について学ぶ。 ※詳細は（2）参照	
	5 (9/30)	4 章 本格英作文 例題 第2外国語の学習	・本格的な英文エッセイの構成について学び、その内容を理解している。	
	6 (10/28)	4 章 本格英作文 2 自動運転車の未来	・本格的な英文エッセイの構成について学び、その型に沿って表現をすることができる。	

	メディア 4 (10/28)	Classi コンテンツボックス	映像からさまざまな英語表現について学ぶ。 ※詳細は（２）参照	
--	----------------------	------------------	-----------------------------------	--

※通信・オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年４回実施する。

※加えて、年１回、集中スクーリングで４時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（２）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (5/13)	Classi コンテンツボックス	映像教材 No.1
視聴レポート② (7/8)	Classi コンテンツボックス	映像教材 No.2
視聴レポート③ (9/2)	Classi コンテンツボックス	映像教材 No.3
視聴レポート④ (10/28)	Classi コンテンツボックス	映像教材 No.4

（３）面接指導について

授業	単元	単元の目標
面接指導① (4/22)	1 章 賛成・反対／二者択一型の英作文 例題 第 2 言語の学習	二者択一型の英作文の構成を学び、それを活用してエッセイを書く。
面接指導② (5/20)	1 章 賛成・反対／二者択一型の英作文 2 ボランティア活動の義務化	
面接指導③ (6/17)	2 章 自分について語る 例題 1 億円あったら	自分について語るときの表現について学習し、実践できるようになる。
面接指導④ (7/1)	2 章 自分について語る 2 理想の休日の過ごし方	
面接指導⑤ (9/9)	3 章 資料型英作文 例題 2 グラフを読み取る	資料型英作文の構成とグラフの読み取り方について学び、実践できるようになる。
面接指導⑥ (9/16)	3 章 資料型英作文 2 グラフを説明する	
面接指導⑦ (10/28)	4 章 本格英作文 例題 第 2 外国語の学習	本格的な英文エッセイの構成について学び、その型に沿って表現をすることができる。
面接指導⑧ (11/11)	4 章 本格英作文 2 自動運転車の未来	

（４）評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の３つの観点から評価する。
【知識・技能】 AREA（「主張」「理由」「例」「再主張」）を理解し、その型に沿って英文が書けるようになる。
【思考・判断・表現】 テキストにある主張の論理構成を理解し、それに対して効果的に反論をすることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】 与えられたトピックに対して、型に沿って議論を展開しようという姿勢がある。

「Civil Service I」	単位数	2 単位	学科	国際科	レポート課題数	4
-------------------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	ボランティア活動やグループワークを通して、チームワークやリーダーシップ、他者への思いやり、自主性、協調性、奉仕の精神を身に付けるきっかけをつくる。 Civil Service I では、『十五少年漂流記』を通して、チームワークやリーダーシップ、フォロワーシップなど、グループの中での個人の役割、個人と集団の関係について学ぶ。
使用教科書、副教材など	新潮文庫 『十五少年漂流記』 オリジナル映像教材／TED Talks

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストやケーススタディを通して、なぜ「他者と関わること」や「何かに献身的に取り組むこと」が大切か、グループワークに取り組む際の心構えはどうあるべきかについて理解している。	様々な情報、状況を踏まえて自らの考えを構築し、的確な言葉で表現している。また、他者の意見も尊重し、協力しながら課題解決、目的達成をしようとしている。	レポートやスクーリングで投げかけられたテーマ、課題について、積極的に考え、取り組もうとしている。個人と集団の関係について自ら学び、実生活に活かそうとしている。

(1) 学習計画

学期	レポート番号	提出日	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	レポート①	(5/13)	・「シビル・サービス」について考える 「日本新生のため『民役』の導入を」	・東日本大震災から2ヶ月半後の2011年5月26日付の産経新聞オピニオン欄「正論」に掲載された、防衛大学名誉教授の佐瀬昌盛氏による記事から、日本でのシビル・サービス（民役）の導入の是非について考える。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	メディアレポート①	(6/10)	・メディア教材 「野尻武敏先生 特別講座」	・経済学者 野尻武敏先生（神戸大学名誉教授）の特別講義を聞き、戦前に満州の建国大学で学ばれ、様々な民族出身の学生が集う国際的な環境で、座学だけではない様々な活動を実践された実体験から、見聞を広げる。 ・国際的であるとはどういうことかについて考える。	
	レポート②	(6/10)	・『十五少年漂流記』を通して見るグループワークの在り方 ・チームビルディング①	・個人と集団との関係、個人と集団がそれぞれに与える影響を考え、グループワークではどんなことを学ぶことができ、なぜ人と関わるのが大切なのかを考える。 ・アクティビティを通して、目的達成に必要な考え方、役割、円滑なコミュニケーション、フィードバックの大切さを学ぶ。	
後期	レポート③	(9/2)	・リーダーに求められる資質とは	・良いリーダーに必要な資質について考える。 ・「勇気」「寛容さ」「決断力」「優しさ」「慎重さ」「自己犠牲の精神」「調整力」の定義を明確にし、登場人物の行動から、これらの要素を見出す。	
	レポート④	(10/28)	・グループにおいて大切なこととは	・良いグループに必要な要素について考える。 ・「良いリーダーの選択」「ユーモア」「自主的な運営」「率直な議論」「許し合える関係」「弱者や年少者への気づかい」の定義を明確にし、登場人物の行動から、これらの要素を見出す。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (6/10)	オリジナル教材 Classi 上の映像	メディア教材「野尻武敏先生 特別講座」

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/27)	・ハンドアウト 「日本新生のため『民役』の導入を」 佐瀬昌盛氏 (防衛大学名誉教授) 2011年5月26日付 産経新聞「正論」に掲載	・「シビル・サービス」とは何かについて学ぶ。 ・私たち1人1人が、何等かのグループ、組織、コミュニティ、そして国家の一員であること、責任があることを認識させる。 ・「日本新生のため『民役』の導入を」 新聞記事から、日本でのシビル・サービス（民役）の導入の是非について考え、自分の見解を持ち、表現する。
面接指導② (9/2)	・『十五少年漂流記』 ・映像教材 TED Talk 「塔を立て、チームを作る」 トム・ウージェック	・『十五少年漂流記』の概要を理解する。 ・個人と集団との関係、個人と集団がそれぞれに与える影響を考える。 ・チームビルディングのためのアクティビティを通して、目的達成に必要な考え方、役割、円滑なコミュニケーション、振り返りの大切さを学ぶ。
面接指導③ (10/7)	・『十五少年漂流記』 ・ハンドアウト・ワークシート 「リーダーに求められる資質とは」	・良いリーダーに必要な資質について考える。 ・「勇気」「寛容さ」「決断力」「優しさ」「慎重さ」「自己犠牲の精神」「調整力」の定義を明確にし、登場人物の行動から、これらの要素を見出す。
面接指導④ (1/27)	・『十五少年漂流記』 ・ハンドアウト・ワークシート 「グループにおいて大切なこととは」	・良いグループに必要な要素について考える。 ・「良いリーダーの選択」「ユーモア」「自主的な運営」「率直な議論」「許し合える関係」「弱者や年少者への気づかい」の定義を明確にし、登場人物の行動から、これらの要素を見出す。

(4) 評価方法

【評価方法】
① レポート (主体的に学習に取り組む態度) ・問われたテーマについて、積極的に考え、個人と集団の関係について学ぼうとしている。 (思考・判断・表現) ・様々な情報、状況を考慮した上で、問いに対しての自分の考えを構築し、的確な言葉で自分の考えを表現している。 (知識・技能) ・テキストやケーススタディを通して、なぜ「他者と関わること」や「何かに献身的に取り組むこと」が大切か、グループワークに取り組む際の心構えはどうあるべきかについて理解している。
② スクーリング (主体的に学習に取り組む態度) ・ボランティア活動やグループワークに積極的に参加している。 (思考・判断・表現)

・様々な情報、状況を踏まえて自らの考えを構築し、的確な言葉で表現している。また、他者の意見も尊重し、協力しながら課題解決、目的達成をしようとしている。

（知識・技能）

・テキストやケーススタディを通して、なぜ「他者と関わること」や「何かに献身的に取り組むこと」が大切か、グループワークに取り組む際の心構えはどうあるべきかについて理解している。

・グループワークにおける目的と個人の役割を理解し、目的達成のために必要な行動をしようとしている。

③ テスト

（思考・判断・表現）

・与えられたテーマについて、自分の意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。

（知識・技能）

・レポートやスクーリングで問われたテーマを理解している。

「Civil Service A」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	4
-------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	ボランティア活動やグループワークを通して、チームワークやリーダーシップ、他者への思いやり、自主性、協調性、奉仕の精神を身に付けるきっかけをつくる。 「公と私」をテーマに、イギリスの貴族が持つ精神「ノーブレスオブリージュ（優者の責任）」などを例に挙げ、自分の所属するグループ全体に対する貢献や、他者への奉仕の精神について考える。
使用教科書、副教材など	岩波新書 『自由と規律』 から一部抜粋 オリジナル映像教材／TED Talks

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストやケーススタディを通して、「公の精神」とはどのようなものか、どのように身に付けるものなのかについて理解している。	様々な情報、状況を考慮した上で、問いに対しての自分の考えを構築し、的確な言葉で自分の考えを表現している。「公と私」について考える上で、課題となることを見出し、話し合いや主体的な学びを通して自らの考えを深め、表現している。	レポートやスクーリングで投げかけられたテーマ、課題について、積極的に考え、取り組もうとしている。自らにとっての「公の精神」とは何かについて考えを深め、実生活に活かそうとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号	提出日	学習内容	学習のねらい	考査範囲
前期	レポート①	5/13	・「学校で奉仕活動を義務化すべきか」	・2000年10月29日付の産経新聞オピニオン欄「正論」に掲載された作家の曾野綾子氏による記事「学校で奉仕活動を義務化すべきか」を読み、シビル・サービス（民役）の教育的な側面について考えることで、何かに奉仕する経験をすることの重要性に気づかせる。 ・奉仕活動を義務化すべきかについての是非を考え、自分なりの見解を持つ。	単位認定試験 （2月9日・10日実施）
	メディアレポート①	6/10	・メディア教材 「Civil Service II 野尻武敏先生 特別講義」	・経済学者 野尻武敏先生（神戸大学名誉教授）の特別講義を聞き、「人間らしい」という意味を、「Individual（個人）」と「Personal（人格）」の違いを通じて考える。	
	レポート②	6/10	パブリック・スクールで学ぶ精神とは何か	・池田潔著『自由と規律』（岩波文庫）からの文章の抜粋を読み、イギリスの次世代のリーダーを育てるパブリック・スクールの環境から、リーダーが育つ環境とはどのようなものかを学び、非常にストイックな環境の中でこそ人材が育つことを理解する。 ・「公への精神」とは何であり、どのように身に付けられるものなのかについて考える。	
後期	レポート③	9/2	「震災への思い、 国自ら守る気概に」	・東日本大震災からちょうど2年経った2013年3月11日付の産経新聞オピニオン欄「正論」に掲載された、防衛大学名誉教授の佐瀬昌盛氏による記事から日本でのシビル・サービス（民役）の導入について考える。	
	レポート④	10/28	イギリスのパブリック・スクールの特色	・池田潔著『自由と規律』（岩波文庫）からの文章の抜粋を読み、イギリスのパブリック・スクールの特色を見ていながら、青年期に人格を作っていく上で必要なことや本当の自由とはどういうことかを考える。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- ① レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入してください。
- ② レポートには、「学習内容のまとめ」、「学んだこと・感想等」を100字以上で記入してください。

レポート番号(提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (6/10)	オリジナル教材 Classi 上の映像	メディア教材 「Civil Service 野尻武敏先生 特別講座」

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導①	・ハンドアウト 「学校で奉仕活動を義務化すべきか」曾野綾子氏 2000年10月29日付 産経新聞「正論」に掲載	・作家の曾野綾子氏による記事「学校で奉仕活動を義務化すべきか」を読み、シビル・サービス（民役）の教育的な側面について考える。 ・奉仕活動を義務化すべきかについての是非を考え、自分なりの見解を持つ。
面接指導②	・ハンドアウト 『自由と規律』抜粋	・池田潔著『自由と規律』（岩波文庫）からの文章の抜粋を読み、イギリスの次世代のリーダーを育てるパブリック・スクールの環境から、リーダーが育つ環境とはどのようなものかを学ぶ。 ・「公への精神」とは何であり、どのように身につけられるものなのかについて考える。
面接指導③	・ハンドアウト 「震災への思い、 国自ら守る気概に」	・防衛大学名誉教授の佐瀬昌盛氏による記事「震災への思い、国自ら守る気概に」を読み、日本における民役の導入について、ディスカッションを通して多角的に考える。
面接指導④	・ハンドアウト 『自由と規律』抜粋	・池田潔著『自由と規律』（岩波文庫）からの文章の抜粋を読み、イギリスのパブリック・スクールが、生徒の人格形成の上で重視していることについて学ぶ。また、「ノブレス・オブリージュの精神」について考える。

(4) 評価方法

【評価方法】 ① レポート (主体的に学習に取り組む態度) ・問われたテーマについて、積極的に、真摯に考え、個人と集団の関係について学ぼうとしている。 (思考・判断・表現) ・様々な情報、状況を考慮した上で、問いに対しての自分の考えを構築し、的確な言葉で自分の考えを表現している。 (知識・技能) ・テキストやケーススタディを通して、「公の精神」とはどのようなものか、どのように身に付けるものなのかについて理解している。 ② スクーリング (主体的に学習に取り組む態度) ・ボランティア活動やグループワークに積極的に参加している。自らにとっての「公の精神」とは何かについて考えを深め、実生活に活かそうとしている。 (思考・判断・表現) ・「公と私」について考える上で、課題となることを見出し、話し合いや主体的な学びを通して自らの考えを深め、表現している。 (知識・技能) ・テキストやケーススタディを通して、「公の精神」とはどのようなものか、どのように身に付けるものなのかについて理解している。 ・グループワークにおける目的と個人の役割を理解し、目的達成のために必要な行動をしようとしている。自分の所属するグループ全体や他者に貢献をする上で、必要となる知識や技能を身に付けている。

③テスト

(思考・判断・表現)

- ・与えられたテーマについて、自分の意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。

(知識・技能)

- ・レポートやスクーリングで問われたテーマを理解している。

「教養国語」	単位数	3 単位	学科	普通科	レポート課題数	9
--------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	日本語の歴史についての知識を深め、国語を土台とした思考力とコミュニケーション能力、および、表現力を高めることを通して、国際教養人として相互尊敬のもとに意思疎通をはかることができる人間になる。
使用教科書, 副教材など	A I E 国際高等学校 「教養国語」 テレビ視聴「100 分 de 名著」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストで書かれている概念や用語などが正しく理解できているかどうか。実際に文章を書いたり、コミュニケーションを取ろうとしているか。	テキストにある、国語の歴史や名文などに関心を示したり、学んだスキルを実践しようとしているかどうか。	コミュニケーションスキルや、論理的な思考法を実践し、自分の意見を書いたり、話そうとしているか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	国語の歩み	漢字の伝来、仮名文字、日本語の文体創造など、表記の側面から日本語の歴史の理解を深める。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	2 (6/10)	漢字とことわざ	漢字の成り立ち、漢字の音訓について理解する。故事成語、ことわざ慣用句の語彙を増やす。	
	3 (7/8)	名文を読む	名文を音読することによって、美しい日本語の語感を養う。それぞれの文章の書かれた背景を知る。	
	4 (7/8)	達意の言葉を使う	達意の言葉を使うための条件について学び、わかりやすく話すことを学ぶ。客観的な表現の方法を学ぶ。	
後期	5 (9/2)	文章スケッチのすすめ	事物を詳しく観察して描写することができるようになる。客観的な文章を書いてみる。	
	6 (9/30)	論理的であるということ	論理学の基本概念について学ぶ。論理的推論の基本を学ぶ。論理的文章の構成法を知る。	
	メディア 1 (9/2)	Classi上の映像	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して学習する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
	7 (10/28)	上手に会話する	よい話し手が心がけるべき要点を学ぶ。また、よい聞き手の条件を知る。	
	8 (11/25)	コミュニケーションと笑い	笑いがコミュニケーションの中で果たす役割を知る。笑いを生み出す表現法を学ぶ。	

	9 (11/25)	状況に応じた言葉	敬語の種類、敬語における内と外や、いろいろな場面ごとの改まったものの言い方を知る。	
--	--------------	----------	---	--

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号（提出日）	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (9/2)	テレビ視聴 Eテレ	「100分de名著」

（3）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (7/1)	第四章 達意の言葉を使う	「達意」の定義を理解し、その実践のための言葉の使い方を知る。
面接指導② (9/2)	第五章 実践 文章スケッチのすすめ	客観的な世界に関心を持ちながら言葉を使うことができるように、実践的なトレーニングを行い、客観的な文章を書けるようにする。
面接指導③ (10/7)	第五章 実践 文章スケッチのすすめ	客観的な世界に関心を持ちながら言葉を使うことができるように、実践的なトレーニングを行い、客観的な文章を書けるようにする。

（4）評価方法

【評価方法】
①レポート
・テキストで学んだ国語の歴史や名文の理解、考える・書く・話す上での技術や表現法を理解しているかどうか。（知識・技能）
・期限内にレポートを提出できているかどうか。（主体的に学習に取り組む態度）
②スクーリング
・授業で積極的に発言や質問をするなどして、参加しているか。（主体的に学習に取り組む態度）
・各章の学習目標をどれだけ実践・達成できているかどうか。（知識・技能）
・クラスを通して感じたことや考えたことを、聞き手にもわかるように話ができているかどうか。（主体的に学習に取り組む態度）
・学習した知識を活かして、授業で与えられたテーマに基づいて文章が書けるかどうか。（知識・技能）
・学習した知識を活かして、文章を書いたり、コミュニケーションをとることができるかどうか。（思考・判断・表現）
③テスト
・レポートやスクーリングで学んだ学習項目を正しく理解しているかどうか。（知識・技能）

「教養国語」	単位数	2 単位	学科	国際科	レポート課題数	6
--------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	日本語の歴史についての知識を深め、国語を土台とした思考力とコミュニケーション能力、および、表現力を高めることを通して、国際教養人として相互尊敬のもとに意思疎通をはかることができる人間になる。
使用教科書, 副教材など	A I E 国際高等学校 「教養国語」 テレビ視聴「100 分 de 名著」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストで書かれている概念や用語などが正しく理解できているかどうか。実際に文章を書いたり、コミュニケーションを取ろうとしているか。	テキストにある、国語の歴史や名文などに関心を示したり、学んだスキルを実践しようとしているかどうか。	コミュニケーションスキルや、論理的な思考法を実践し、自分の意見を書いたり、話そうとしているか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年 1 回実施する。

※加えて、年 1 回、集中スクーリングで 1 時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

学期	レポート 番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考 査 範 囲
前期	1 (5/13)	国語の歩み	漢字の伝来、仮名文字、日本語の文体創造など、表記の側面から日本語の歴史の理解を深める。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	2 (6/10)	漢字とことわざ	漢字の成り立ち、漢字の音訓について理解する。故事成語、ことわざ慣用句の語彙を増やす。	
	3 (7/8)	名文を読む	名文を音読することによって、美しい日本語の語感を養う。それぞれの文章の書かれた背景を知る。	
後期	メディア 1 (9/2)	テレビ視聴	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して学習する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
	4 (9/30)	達意の言葉を使う 文章スケッチのすすめ	達意の言葉を使うための条件について学び、わかりやすく話すことを学ぶ。客観的な文章を書いてみる。	
	5 (10/28)	論理的であるということ・上手に会話する	論理学の基本概念について学ぶ。よい話し手が心がけるべき要点を学ぶ。	
	6 (11/25)	コミュニケーションと 笑い・状況に応じた言葉	笑いを生み出す表現法を学ぶ。いろいろな場面ごとの改まったものの言い方を知る。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
- それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (9/2)	テレビ視聴 Eテレ	「100 分 de 名著」

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (7/15)	第四章 達意の言葉を使う	「達意」の定義を理解し、その実践のための言葉の使い方を知る。
面接指導③ (10/14)	第五章 実践 文章スケッチのすすめ	客観的な世界に関心を持ちながら言葉を使うことができるように、実践的なトレーニングを行い、客観的な文章を書けるようにする。

(4) 評価方法

【評価方法】
①レポート
・テキストで学んだ国語の歴史や名文の理解、考える・書く・話す上での技術や表現法を理解しているかどうか。(知識・技能)
・期限内にレポートを提出できているかどうか。(主体的に学習に取り組む態度)
②スクーリング
・授業で積極的に発言や質問をするなどして、参加しているか。(主体的に学習に取り組む態度)
・各章の学習目標をどれだけ実践・達成できているかどうか。(知識・技能)
・クラスを通して感じたことや考えたことを、聞き手にもわかるように話ができているかどうか。(主体的に学習に取り組む態度)
・学習した知識を活かして、授業で与えられたテーマに基づいて文章が書けるかどうか。(知識・技能)
・学習した知識を活かして、文章を書いたり、コミュニケーションをとることができるかどうか。(思考・判断・表現)
③テスト
・レポートやスクーリングで学んだ学習項目を正しく理解しているかどうか。(知識・技能)

「Humanities」（人文学）	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	4
-------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	色々な分野から「人間とは何か」について学ぶことを通して、「人文学」の世界に興味を広げる。 先人が遺してきた作品、考え、行動、そしてその生涯に目を向け、人間が創り上げてきた文化、人間の様々な活動について考える。この学習に取り組むプロセスを通して、今の時代が抱える諸問題、次への課題を見つけ、それに関わり、立ち向かう心を育てる。
使用教科書, 副教材など	テレビ視聴「新 美の巨人たち」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レポートやスクーリングで、投げかけられたテーマについて、積極的に考え、伝えようとしている。	自分の考えや意見を、聞き手にとってもわかりやすい言葉で表現している。また、他の生徒の発言もしっかりと受け止め、議論を発展させることができる。	与えられたテーマの意味や、スクーリングのディスカッションで他の生徒が何を言おうとしているかを正しく把握しクラスに参加しようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	芸術家の人生観	・昭和の時代を生きた芸術家・岡本太郎の人生と言葉から、芸術家の芸術観や人生観に触れる。 ・岡本太郎氏の言葉を通して、「芸術とは何か」について考察する。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (6/10)	言語と文化	・世界の中での日本語の位置づけについて理解し、その特異性について自覚する。 ・「母語」と「母国語」の違いの認識を通して、人間にとって第1言語は精神であることを理解する。 ・「英語に訳せない日本語」「言葉が変われば文化も変わる」のエッセイを通して、各文化において言語表現は多様であることを学ぶ。 ・基本的な「ことわざ」について学び、その意味について理解する。	
	メディア1 (6/10)	テレビ視聴	・テレビ東京『新美の巨人たち』を視聴し、芸術作品やそれを制作した芸術家の生涯や思想を知ることによって鑑賞眼を養う。	
	3 (7/8)	音楽家の生涯	・ロマン・ロランを通してベートーヴェンの生涯、生き方、人生観について学ぶ。 ・ベートーヴェンが作曲した『運命』『歓喜の歌』を鑑賞し、これらの曲にベートーヴェンがどのような思いを込めたのかを考察する。	
後期	4 (9/30)	炎の画家 ゴッホ	・ゴッホの生涯を通して、芸術家が作品を後世に残す意味を考える。	
	メディア2 (10/28)	テレビ視聴	・テレビ東京『新美の巨人たち』を視聴し、芸術作品やそれを制作した芸術家の生涯や思想を知ることによって鑑賞眼を養う。	

	5 (10/28)	『後世への最大遺物』①	・『後世への最大遺物』の著者である内村鑑三が生きた時代とその生涯について学ぶ。どういった時代、人生の中で、内村が「後世への最大遺物」という考えに至ったかを考察する。 ・「後世への遺物」には何になり得るかを考える。	
	6 (11/25)	『後世への最大遺物』②	・内村鑑三氏の『後世への最大遺物』を紐解き、私たちは次の世代やまだ見ぬ世代の人に対して何ができるかを考える。 ・内村が提唱する「高尚なる勇ましい生涯」について考える。	

※通信・オンラインコースの生徒は、メディア視聴レポートを年2回行う。

※加えて、年1回、集中スクーリングで2時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (6/10)	テレビ視聴 テレビ東京	「新美の巨人たち」
視聴レポート② (10/28)	テレビ視聴 テレビ東京	「新美の巨人たち」

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/15	芸術家の人生観	・芸術家・岡本太郎の「太陽の塔」と彼の言葉から、芸術家が作品に込める意味や、それを探究するヒントを学ぶ。
面接指導② 6/10	言語と文化	・「母語」と「母国語」の違いの認識を通して、人間にとって第1言語は精神であることを理解する。 ・言語と文化は切っても切り離せないものであることを知る。
面接指導③ 9/16	炎の画家 ゴッホ / ベートーヴェンの生涯	・ゴッホの絵画、もしくはベートーヴェンの音楽を鑑賞し、芸術家とその作品に込めた意図について考察をする。
面接指導④ 11/25	『後世への最大遺物』	・『後世への最大遺物』の著者である内村鑑三が生きた時代とその生涯について学ぶ。どういった時代、人生の中で、内村が「後世への最大遺物」という考えに至ったかを考察する。 ・内村が提唱する「高尚なる勇ましい生涯」について考える。

(4) 評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の3つの観点から評価する。
A. 知識・技能 レポートやスクーリングで、投げかけられたテーマについて、積極的に考え、伝えようとしている。
B. 思考・判断・表現 自分の考えや意見を、聞き手にとってもわかりやすい言葉で表現している。また、他の生徒の発言もしっかりと受け止め、議論を発展させることができる。
C. 主体的に学習に取り組む態度 与えられたテーマの意味や、スクーリングのディスカッションで他の生徒が何を言おうとしているかを正しく把握し、クラスに参加しようとしている。

「Enrichment」	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
--------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	・内村鑑三著『代表的日本人』に描かれている人物から、国際日本人として涵養すべき日本人としての深い精神性について学ぶ。
使用教科書、副教材など	岩波文庫 『代表的日本人』 オリジナル映像教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人物の生き方、考え方を理解する上で重要な言葉とその意味を理解している。日本人として涵養すべき精神性について理解している。	レポートやスクーリングで取り上げた人物の生き様から、日本人としての精神性に関心を持ち、主体的な学びを通して考えを深めている。日本人として涵養すべき精神性は何かについて、自分の言葉で表現している。	レポートやスクーリングを通して、人物の生き様に関心を持ち、自ら積極的に学び、自らの生きる姿勢について真摯に考えようとしている。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	・内村鑑三 ・第一章 西郷隆盛 ・第二章 上杉鷹山	・西郷隆盛、上杉鷹山が生きた時代や生き立ち、彼らが成した偉業を学んだ上で、そうした彼らを支えた人生観や生き方について学ぶ。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	メディア 1 (9/2)	オリジナル教材 Enrichment	・『代表的日本人』の著者である内村鑑三について学ぶ。 ・この書籍が書かれた時代背景について学び、この時代に英語で「代表的日本人」を書かれた意義について考える。	
後期	2 (10/28)	・第三章 二宮尊徳 ・第四章 中江藤樹 ・第五章 日蓮上人	・二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人が生きた時代や生き立ち、彼らが成した偉業を学んだ上で、そうした彼らを支えた人生観や生き方について学ぶ。	

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- ① レポートの最初に、必ず「視聴日」、「放送回のタイトル」を記入してください。
- ② レポートには、「学習内容のまとめ」、「学んだこと・感想等」を100字以上で記入してください。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (9/2)	オリジナル教材 Classi 上の映像	オリジナル教材 「Enrichment」

(3) 面接指導

授業	教材	単元の目標
面接指導① (4/15)	・ ハンドアウト 「・ 内村鑑三 ・ 第一章 西郷隆盛」	・ 国際人になるために、なぜ日本の偉人について学ぶ必要があるのかについて考える。 ・ 内村鑑三という人物について、またこの書籍が書かれた時代背景について学び、内村鑑三がなぜ『代表的日本人』を書いたか、その意義について考える。 ・ 内村鑑三が描く、西郷隆盛の姿から、内村がなぜ西郷を「代表的日本人」と考えたかについて考え、自分の見解を持つ。
面接指導② (9/2)	・ ハンドアウト 「・ 第二章 上杉鷹山 ・ 第三章 二宮尊徳」	・ 内村鑑三が描く、西郷隆盛、上杉鷹山の姿から、リーダーの在り方について考え、自分の見解を持つ。
面接指導③ (12/2)	・ ハンドアウト 「・ 第四章 中江藤樹 ・ 第五章 日蓮上人」	・ 内村鑑三が描く、中江藤樹、日蓮上人の姿から、内村がなぜ彼らを「代表的日本人」と考えたかについて考え、自分の見解を持つ。
面接指導④ (1/13)	・ ハンドアウト 「後世への最大遺物」 「私の代表的日本人」	・ 紹介された 5 名の代表的日本人の生き様から、「代表的日本人」となりうる要素について考え、自分なりの「代表的日本人」像を持つ。

(4) 評価方法

【評価方法】 ① レポート (主体的に学習に取り組む態度) ・ 問われているテーマについて、積極的に考えようとしている。 (知識・技能) ・ 人物の生き方、考え方を理解する上で重要な言葉とその意味を理解している。 ・ 人物や時代背景について、正しく把握している。 ② スクーリング (主体的に学習に取り組む態度) ・ 人物の生き様に関心を持ち、自ら積極的に学び、自らの生きる姿勢について真摯に考えようとしている。 (思考・判断・表現) ・ 人物の生き様から、日本人としての精神性に関心を持ち、主体的な学びを通して考えを深めている。日本人として涵養すべき精神性は何かについて、自分の言葉で表現している。 (知識・技能) ・ 人物の生き方、考え方を理解する上で重要な言葉とその意味を理解している。日本人として涵養すべき精神性について理解している。 ・ クラス内で取り上げられた人物や時代背景について正しく把握している。 ③ テスト (知識・技能) ・ レポートやスクーリングで取り上げられた人物が生きた時代やその人生観を正しく理解している。 (思考・判断・表現) ・ 与えられたテーマについて、自分の意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。

学校設定教科 国際

AIE 国際高等学校

「Applied English」	単位数	1 単位	学科	国際科	レポート課題数	3
-------------------	-----	------	----	-----	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	学校オリジナルの映像教材で、アメリカの日常を体験する。英語を聞くこと、話すことに親しみを持ち、実践的な英語力を身につけることを目指す。
使用教科書, 副教材など	オリジナル映像教材

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
積極的に映像教材での学習に興味や関心を持ち、親しみをもって英語を聞き、話そうとしているか。	自分の考えや意見を、聞き手にとってもわかりやすい言葉で表現している。また、他の生徒の発言もしっかりと受け止め、議論を発展させることができる。	映像教材内での会話を聞き取ることができ、実際にクラスなどでも使って他者と会話をしようとしているか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	Lesson1-1 International Education Office (国際教育課) 留学生の入学手続きについて聞いてみよう！ Lesson1-2 Admission Office (入学事務局) アメリカの学生の入学手続きについて聞いてみよう！	メディア教材を用い、大学での入学手続きについて使われる表現や用語について理解し、その際に必要なフレーズを覚える。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	メディア1 (6/10)	オリジナル教材 Classi 上の映像	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、リスニング学習する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
	2 (7/8)	Lesson2-1 Cafeteria (カフェテリア) ランチを注文してみよう！ Lesson2-2 Library (図書館) 本を読む以外にも色々できる！	メディア教材を用い、カフェテリアでの注文と、図書館での本を借りる以外のサービスを利用する際の会話を体験。それらの際に必要とされるフレーズを学ぶ。	
	メディア2	オリジナル教材 Classi 上の映像	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、リスニング学習する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	
後期	3 (9/30)	Lesson3-1 Tutoring Center (チュータリングセンター) 留学生の強い味方！ Lesson3-2 Starbucks (スターバックス) 街角でコーヒーを注文！	メディア教材を用い、大学内で学習サポートを行っているチュータリングセンターと、カフェでの注文を体験。それらの際に必要とされるフレーズを学ぶ。	
	メディア3 (9/30)	オリジナル教材 Classi 上の映像	レポート課題で、テキストを読みながら学んだことを、メディア視聴を通して、リスニング学習する。 ※学習する章の詳細は、以下の(2)を参照。	

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年3回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100 文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (6/10)	オリジナル教材 Classi 上の映像	Applied English #1 & #2
視聴レポート③ (9/30)	オリジナル教材 Classi 上の映像	Applied English #3

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導①	オリジナル教材 アドミッションオフィス：大学の入学手続きについて カフェテリア：ランチを注文してみよう	アドミッションオフィスやカフェテリアなど、レポートで学んだ表現を実際を使って、コミュニケーションをとることができるようになる。
面接指導②	オリジナル教材 ライブラリー：本を読む以外も色々できる チューターセンター：大学生の強い味方	ライブラリーやチューターセンターなど、レポートで学んだ表現を実際を使って、コミュニケーションをとることができるようになる。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート ・ 関心を持って、意欲的に映像教材の内容を理解しようとしているか。(知識・技能) ・ 期限内にレポートが提出されているかどうか。(主体的に学習に取り組む姿勢) ・ 映像教材で使われている英語表現を理解できているかどうか。(思考・判断・表現) ②スクーリング ・ 映像教材から学んだ日常の英会話を自身の英語表現に活かすことができているか。(主体的に学習に取り組む姿勢) ・ 英語教材を使って学んだ英語発音を身に付けているか。(知識・技能) ・ 外国人講師との英語でのコミュニケーションを学んだ語彙・文法を使って行うことができるかどうか。(思考・判断・表現) ③テスト ・ 学習した英文法の基本ルールや、映像教材中の日常的な英語表現を理解できているか。(知識・技能)
--

「Social Science」	単位数	2 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	5
------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	・社会学、心理学、経済学、人類学、政治学などの多くの分野を含む「社会科学」を通して、自分を取り巻く社会や人々の行動について、意識して見方を変えてみようとする発想を身に付ける。
使用教科書、副教材など	ハンドアウト「社会科学とは」／ハンドアウト「社会学」／ハンドアウト「心理学」等 テレビ視聴「クローズアップ現代」 ラジオ視聴「NHK ジャーナル」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会科学的な用語や概念を正しく理解し、実社会や身近なことに適用させて、事象を捉えようとしている。 <AIE Learner Profile 要素> ・ Knowledgeable ・ Harmonious	学習した社会科学的な概念、理論を基に、新たな考え方の枠組みで自分の考えを構築し、的確な言葉で表現している。 <AIE Learner Profile 要素> ・ Self-determining ・ Risk Taker ・ Caring & Humble ・ Resilient ・ Sensible ・ Harmonious	常識や慣習を無条件に受け入れるのではなく、社会の在り方や人間の行動についての、社会科学的視点を積極的に学び、自ら考えて確かめようと試みている。クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。 <AIE Learner Profile 要素> ・ Self-determining ・ Risk Taker ・ Caring & Humble ・ Resilient ・ Sensible ・ Harmonious

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	授業時数	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	第一時限 (6/3)	・ リベラルアーツ教育とは ・ 社会科学とは	・ リベラルアーツ教育の目的について理解し、社会科学を学ぶ意義について考える。 ・ 身近な問題意識を学問によって探究していく姿勢が大切であることを理解する。 ・ なぜ「領域横断的」であることが大切であるか、「結果的に領域横断的になる」とはどういうことかについて考える。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
	2 (6/10)	第二時限 (9/6)	・ 社会学① 「方法論的個人主義」 「方法論的集団主義」	・ 「方法論的個人主義」と「方法論的集団主義」のアプローチの違いについて、具体例から学び、理解する。 ・ 個人が社会に影響を与えるということについて、また、社会が個人に影響を与えるということについて、身近なことや他科目で学んだことと結びつけて考える。	

後 期	3 (7/8)	第三時限 (10/14)	・社会学② 「アノミー理論」	・デュルケムの提唱する「アノミー理論」の基本的概念について理解する。 ・人間には「連帯、つながり」が不可欠であるということについて考え、ディスカッションする。
	4 (9/30)	第四時限 (12/2)	・心理学① 「マズローの欲求階層説」 欠乏動機・成長動機	・マズローの提唱する「欲求階層説」について、「成長動機」、「欠乏動機」の特徴について理解する。 ・自らと照らし合わせて振り返り、自己分析する。
	5 (10/28)	第五時限 (2/3)	・心理学② 「マズローの欲求階層説」	・マズローの提唱する「欲求階層説」について、第1欲求～第5欲求の各階層の特徴について理解する。 ・自らと照らし合わせて振り返り、自己分析する。

単位認定試験（2月9日・10日実施）

（2）メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

1. レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入する。
2. それぞれのレポートに、「学習内容のまとめ」と、「学んだこと・感想等」を、100文字以上で記入する。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (5/13)	テレビ視聴 NHK 総合テレビ	「クローズアップ現代」
視聴レポート② (9/30)	ラジオ視聴 NHK ラジオ第1	「NHK ジャーナル」

（3）評価方法

【評価方法】 ① レポート (知識・技能) ・提示された社会科学的概念や理論について、正しく理解している。 (思考・判断・表現) ・社会科学的概念や理論を、自分を取り巻く社会や自らに照らし合わせて、真摯に考えている。 (主体的に学習に取り組む態度) ・自分の考えを、文章で的確に表現している。 スクーリング (知識・技能) ・社会科学的概念や理論について関心を持ち、正しく理解している。 (思考・判断・表現) ・社会科学的概念や理論を、自分を取り巻く社会や自らに照らし合わせて、真摯に考えている。その考えを他者に伝えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・自分の考えを、ワークシートやグループディスカッションを通して、的確に表現している。 ③テスト (知識・技能) ・学習した概念や理論を正しく理解している。 (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) ・与えられたテーマについて、自分なりに考えた意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを、社会科学적인視点を踏まえて述べる事ができている。

「Study Skills」(スタディスキルズ)	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	3
--------------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	学習に自信をもって取り組むための基本技術をスタディ・スキルと言います。整理・スケジュール管理・授業の受け方・ノートテイキング・意欲の喚起と維持・記憶・読書の技術について、具体的に学びます。
使用教科書, 副教材など	AIE 国際高等学校 「スタディスキルズ」 オリジナル映像教材

評価の観点			
Knowledgeable 知性	Harmonious 協調性	Sensible 感性	Risk-Taker 挑戦
学習スキルについて、新しい考え方に対して、新しい習慣をつけようという姿勢があるかどうか。	グループワークにおいて積極的に自分の意見を話し、他のメンバーの意見も聞いて議論を深めようという姿勢があるか。	現在の自分にとって価値を認識していなかったことでも意味がある、わかるようになりたいという姿勢かどうか。	クラスの中でも、自分の意見を率直に述べているかどうか。積極的に自分の習慣を変えようとしているか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 5/13	1. オーガニゼーション	物事がうまくいくように、環境を整え、計画し、準備することをオーガニゼーションという。それがどういったことが要点か、具体的な実践例とともに学ぶ。	単位認定試験（2月実施）
		2. 学習意欲を高め、 学習習慣を形成するスキル	学習には困難がある。継続、定着、上達、この3つが思うように進まないことである。これらを克服するために、学習意欲の原理、習慣形成の原理について学び、どう実践するかを考える。	
	2 7/8	3. 知識獲得のスキル	知識を学ぶための技術を真理にかなった方法で学習することにより、より早く、多く、正確に知識を得ることができる。その学習方法について学ぶ。	
後期	メディア 9/2	Classi 上の映像	・レポートで学習していることを、改めて映像講義で確認する。 ※学習する章の詳細は、以下の（2）を参照。	
	3 9/30	4. 記憶力を高める	学習活動を困難に感じる原因の一つ、記憶することの難しさはどう向き合うかを考える。どうすれば、よく記憶することができるかを、脳の仕組みを知って、効果的な記憶法を学び実践できるようにする。	

※通信コースの生徒は、メディア視聴レポートを年1回実施する。

※加えて、年1回、集中スクーリングで1時間の面接指導がある。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- ① レポートの最初に、必ず「視聴日」を記入してください。
- ② レポートには、「学習内容のまとめ」、「学んだこと・感想等」を 100 字以上で記入してください。

レポート番号	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① 9/2	Classi 上の映像	Study Skills #1

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① 4/22	1 章 オーガニゼーション	オーガニゼーションの要点を理解し、自分の学習習慣にも積極的に取り入れるようになる。
面接指導② 9/2	3 章 知識獲得のスキル	知識獲得のプロセスにおいて、そのプロセスを理解した上で、自分の学習習慣にも積極的に取り入れるようになる。

(4) 評価方法

【評価方法】 ①レポート (知性) ・投げかけられたテーマについて、積極的に考えようとしている。 (挑戦) ・記述形式の課題では、問われたテーマについて自分の習慣を省み、変えようとしている。 (知性) ・テキストの内容を正確に読み取ることができる。 ②スクーリング (知性) ・投げかけられたテーマについて、積極的に考え、発言しようとしている。 (協調性) ・自分の考えや意見を的確な言葉で表現している。聞き手にとってもわかりやすい表現で、自分の考えを述べている。 (感性) ・与えられたテーマの意味や、他の生徒が何を言おうとしているかを正しく把握している。 (決断力) ・授業で学んだ視点や概念を、現実世界にも結び付け、行動に移そうとしている。 (知性) ・自分の考えを的確な言葉で表現することができる。 ③テスト (知性) ・与えられたテーマについて、自分なりに考えた意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。
--

学校設定教科 国際

AIE 国際高等学校

「Academic Skills」 (アカデミックスキルズ)	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	3
-----------------------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	自分自身の意見を、根拠を持って、論理的に展開する技術を習得します。パラグラフライティングを中心に、日本の大学はもちろんのこと、欧米の大学で学ぶために必須の学習技術を学ぶ。
使用教科書, 副教材など	AIE 国際高等学校 「アカデミックスキルズ」 NHK 高校講座 ロンリのちから

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新しい物事の見方や考え方に対して、学ぼうという姿勢があるかどうか。	科目のゴールに対して現在の自分にとって何が課題かを理解し、解決しようとしている。	間違いから学ぶ。ポイントとなることな何だったのか、自分が間違えたのはなぜかを真剣に向き合い考えているかどうか。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (5/13)	1 章 文章の目的と形式 2 章 パラグラフの構成	文章を書く際に、「読み手はだれか」「目的は何か」を考えることの大切さを学ぶ。また、段落（パラグラフ）がどのように構成され、どのような種類があるかを理解する。	単位認定試験（2月9日・10日実施）
	2 (7/8)	3 章 パラグラフの展開法	パラグラフ(段落)を展開する方法は9種類あることを学習し、それぞれの特徴を学び、どういったときにどの展開法を学ぶのがいいかわかるようになる。	
後期	3 (9/2)	4 章 複数のパラグラフからなる文章 5 章 文の工夫	複数のパラグラフからなる文章も、基本的な構成はパラグラフと同じだということを理解し、使えるようになる。また、わかりやすい文章はどのように書くのかを学び、1つでも実践できるようになる。	
	4 (10/28)	6 章 パラグラフの作成 7 章 小論文を書く	実際にパラグラフを書くための準備ができ、書き上げたパラグラフの初稿の見直しもポイントを押さえてできるようになる。また、小論文の構成が分かり、書くための視点が得られる。	
	5 (11/25)	8 章 レポートを書く 9 章 読書の方法	小論文とレポートの違いを認識し、正式なフォーマットのレポートも書くための知識を得る。また、いい文章を書くためにはいい文章を読むこと、加えて、十分な議論をするためには十分な裏付けとなる客観的資料が必要である。そのための読書の方法も学ぶ。	

※通学コースのみの実施のため、メディア視聴レポートはない。

(2) メディア視聴レポート課題：学習方法と範囲

- ① レポートの最初に、必ず「視聴日」、「番組名」、「放送回のタイトル」を記入してください。
- ② レポートには、「学習内容のまとめ」、「学んだこと・感想等」を 100 字以上で記入してください。

レポート番号 (提出日)	メディア学習教材	タイトル
視聴レポート① (9/30)	NHK 高校講座 ロンリのちから	第 4 回 (4) 接続表現・ことばをつなぐ 第 9 回 (9) 類比論法

(3) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/27)	1 章 文章の目的と形式 2 章 パラグラフの構成 3 章 パラグラフの展開法	文章を書く際に、「読み手はだれか」「目的は何か」を考えることの大切さを学ぶ。また、段落（パラグラフ）がどのように構成され、どのような種類があるかを理解する。 パラグラフ(段落)を展開する方法は9種類あることを学習し、それぞれの特徴を学び、どういったときにどの展開法を学ぶのがいいかがわかるようになる。
面接指導② (10/7)	6 章 パラグラフの作成 7 章 小論文を書く	実際にパラグラフを書くための準備ができ、書き上げたパラグラフの初稿の見直しもポイントを押さえてできるようになる。また、小論文の構成が分かり、書くための視点が得られる。

(3) 評価方法

【評価方法】 ①レポート ・テキストの内容を正確に読み取ることができる。(知識・技能) ・投げかけられたテーマについて、積極的に考えようとしている。(知識・技能) ・記述形式の課題では、問われたテーマについて自分なりに考え、しっかりと言葉にしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ②スクーリング ・投げかけられたテーマについて、積極的に考え、発言しようとしている。(知識・技能) ・自分の考えや意見を的確な言葉で表現している。聞き手にとってもわかりやすい表現で、自分の考えを述べている。(思考・判断・表現) ・与えられたテーマの意味や、他の生徒が何を言おうとしているかを正しく把握している。(思考・判断・表現) ・授業で学んだ視点や概念を、実際の小論文作成にも結び付け、行動に移そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ・自分の考えを的確な言葉で表現することが得きる。(知識・技能) ③テスト ・与えられたテーマについて、自分なりに考えた意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。(知識・技能)
--

総合的な探究の時間

AIE 国際高等学校

「Philosophy I」(哲学)	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
--------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	「考える」力をつける。まず、どのような考え方が今の自分に影響を与えているのかに気づき、自分にとって大切だと思える考えを探究する。また、哲学のテーマである「真理とは何か」「善とは何か」「友情とは何か」など、簡単には答えの出ない問題に向き合い、考え続ける力を身につける。
使用教科書, 副教材など	AIE 国際高等学校 「A Door To Philosophy」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストを通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。	テキストで扱われているテーマや、実社会や実生活の中での自己の在り方について考え、それを的確な言葉で表現することができる。	クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。発言は勿論だが、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が創造されるように授業内の活動に参加している。

取り上げる学習者像の要素			
Knowledgeable 知性	Harmonious 協調性	Sensible 感性	Risk-Taker 挑戦
レポートやスクーリングで、投げかけられたテーマについて、積極的に考え、伝えようとしている。	自分の考えや意見を、聞き手にとってもわかりやすい言葉で表現している。また、他の生徒の発言もしっかりと受け止め、議論を発展させることができる。	与えられたテーマの意味や、スクーリングのディスカッションで他の生徒が何を言おうとしているかを正しく把握している。	レポートやスクーリングで、問われた質問に対して、自分の意見を堂々と述べたり、はっきりと考えたことを伝えることができる。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	はじめに 第1章 ケース・スタディーで考える	- この教科の目的を理解する。「考える」力をつける。まず、そのために自分が意識しないながらも大切にしている考え方に気づくこと、自分にとって大切だと思う考えを発見することの必要性を理解する。 - 答えの出ない問いに対して真摯に向かい合い、考え続けることの大切さを認識する。 4つのケーススタディを通して、自分が優先している考え方に気づく。 ケーススタディ 1. 自分の願望と社会のルール / 2. カッターナイフを返すべきか? 3. 友情とは? / 4. 誰を助けるべきか? 「泣いた赤鬼」から、友情と自己中心性について考える。	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
		第2章 「あたりまえ」を疑ってみる	- 毎日の生活の中で、周囲の人が当たり前のように思っていることや世の中で当然のように行われていることが、本当に正しいことなのかどうかを考える。 『愛と認識の出発』(倉田百三)と『現代の青春～自立と挫折の青春像～』(高	

	2 (10/28)	第3章 ロジックで考える	橋一巳) から、先人がどのように常識と対峙していたかを学ぶ。 ・意見をしっかりと考える上で、正しく理由付けをするロジック（論理）のセンスを身につける。 ・日常的にある理由付けの間違い（論理的な間違い）を確認する。	
--	--------------	-----------------	--	--

※年間最低1時間の面接指導を実施する。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（2）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (7/1)	はじめに／ ケーススタディーで考える	本校における哲学のクラスの「考える力をつける」という目的を理解する。そのためにも、答えを出すこと自体よりも、「考えること」自体に価値があることを知る。 行動の背後には考え方があることを、ケーススタディーを通して考察する。
面接指導② (11/11)	第2章 「あたりまえ」を疑ってみる 第3章 ロジックで考える	「あたりまえ」「常識」を鵜呑みにするのではなく、それらについて改めて自分自身で考える姿勢を身につける。 物事を筋道立てて考える「ロジック」のセンスを身に着けるため、日常的に陥りがちなロジカルファラシー（論理の誤謬）について学び、自分の思考の癖に気づき、物事を筋道立てて考える「ロジック」のセンスを身に着ける。

（3）評価方法

【評価方法】 ① レポート ・投げかけられたテーマについて、積極的に考えようとしている。（主体的に学習に取り組む姿勢） ・記述形式の課題では、問われたテーマについて自分の言葉で意見を表現しようとしている。（思考・判断・表現） ・テキストの内容を正確に読み取ることができる。（知識・技能） ② スクーリング ・投げかけられたテーマについて、的確にとらえ、質問をするなど自ら考えようとしている姿勢である。（主体的に学習に取り組む姿勢） ・グループディスカッションでは協働的な姿勢で取り組んでいる。自分の意見も話しながら、他者の意見にも傾聴し、課題解決に向けてその考えを取り入れることができる。（思考・判断・表現） ・自分の考えや意見を的確な言葉で表現している。聞き手にとってもわかりやすい表現で、自分の考えを述べている。（知能・技術） ・与えられたテーマの意味を正しく理解している。（知識・技能） ・授業で学んだ視点や概念を、現実世界にも結び付けようとしている。（思考・判断・表現） ③ テスト ・与えられたテーマについて、自分なりに考えた意見を述べ、なぜそのように思うのかという理由付けを論理的に書いている。（思考・判断・表現） ・問われたことに対して、テキストの内容を正しく理解できている。（知識・技能）

総合的な探究の時間

AIE 国際高等学校

「Philosophy II」(哲学)	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
---------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	「考える」力をつける。まず、どのような考え方が今の自分に影響を与えているのかに気づき、自分にとって大切だと思える考えを探求する。また、哲学のテーマである「真理とは何か」「善とは何か」「友情とは何か」など、簡単には答えの出ない問題に向き合い、考え続ける力を身につける。
使用教科書, 副教材など	AIE 国際高等学校 「A Door To Philosophy」

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストを通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。	テキストで扱われているテーマや、実社会や実生活の中での自己の在り方について考え、それを的確な言葉で表現することができる。	クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。発言は勿論だが、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が創造されるように授業内の活動に参加している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	レポート番号 (提出日)	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	第4章 意味を考える	意味を考える ・「青春」「愛情」「友情」など、人間の生き方を決定する根源的な問いについて考える。 ・先人が、それらの問いに対してどのような考えを持ち、若者にメッセージを投げかけているのかを学ぶ。 「青春とは？」 倉田百三 「読書とは？」 亀井勝一郎 「人生と青春 ― 愛について」 久山康 (元関西学院大学院長・理事長)	単位認定試験 (2月9日・10日実施)
後期	2 (10/28)	EQ -こころの知能指数-	・人間の「知性」を測るスケールが IQ だけではないことを理解し、その中でも人の心に関する知性である「 EQ (心の知能指数)」について学ぶ。 ・ EQ 診断テストを通して、 EQ が実社会についてどのような現れ方をするかを考える。	

※年間最低1時間の面接指導を実施する。面接指導は、時期によって内容が異なる。

(2) 面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (7/15)	第4章 意味を考える	・先人たちの「青春」「友情」に対する考え方に触れることで、生徒自信が持っていた言葉の意味を見直すきっかけをつくる。
面接指導② (11/18)	EQ -こころの知能指数-	・人間の知性について考察し、一般的に言われる学力というのは知性の一側面にしか過ぎないこと、他にも対人関係や社会の中で発揮される知性もあるということを理解する。

(3) 評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の3つの観点から評価する。

【知識・技能】

テキストを通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。

【思考・判断・表現】

テキストで扱われているテーマや、実社会や実生活の中での自己の在り方について考え、それを的確な言葉で表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。発言は勿論だが、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が創造されるように授業内の活動に参加している。

総合的な探究の時間

AIE 国際高等学校

「Philosophy III」（哲学）	単位数	1 単位	学科	国際科・普通科	レポート課題数	2
----------------------	-----	------	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	これまで当たり前だと思っていた考え方から自分を解放して「自分とは何か」を考えてみることを試みる。そのために、「知性」「幸福」「成功」「自己ルール」などのテーマについて、さまざまな見方を知ること、自分のものの見方の偏りに気づき、よりさまざまな観点から物事をとらえられるようになること。
使用教科書, 副教材など	なし

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テキストを通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。	テキストで扱われているテーマや、実社会や実生活の中での自己の在り方について考え、それを的確な言葉で表現することができる。	クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。発言は勿論だが、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が創造されるように授業内の活動に参加している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

（１）学習計画

学期	レポート （提出日） 番号	学習内容	学習のねらい	考查範囲
前期	1 (6/10)	「自分とは何か」	・習慣的になっている考え方から離れ、異なる観点から「知性」「幸福」「成功」などの概念について考える。 ・「自分とは何か」について考える。 ・無意識にある自分自身の考えに気づく。	（2月9日・10日実施） 単位認定試験
後期	2 (10/28)	「自己ルール」	・自分が持っている基本的な考え方をはっきり見直す。 ・「なぜそう思うのか」と、その理由を考えることで、自分の考え方のルールを知る。 ・さまざまな人の「考え方のルール」と自分のルールとの違いを理解し、そこではじめて自分の「自己ルール」の偏りや課題を受け止める。	

※年間最低1時間の面接指導を実施する。面接指導は、時期によって内容が異なる。

（２）面接指導について

授業	教材	単元の目標
面接指導① (5/27)	「自分とは何か」	・「知性」「幸福」「成功」など、身近な概念に対して、全く異なるものの見方を提示したり、いろいろな生徒とディスカッションをすることを通して、自分の考え方について気づく。
面接指導② (10/7)	「自己ルール」	・ディスカッションで自分の考えをまとめて発言したり、他の生徒の発言に耳を傾けることで、自分の考え方を客観視する。

（３）評価方法

レポート、スクーリング、テストの取り組みを、以下の3つの観点から評価する。
【知識・技能】 テキストを通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。
【思考・判断・表現】 テキストで扱われているテーマや、実社会や実生活の中での自己の在り方について考え、それを的確な言葉で表現することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】 クラス内の探究活動に主体的・協働的に取り組んでいる。発言は勿論だが、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が創造されるように授業内の活動に参加している。

特別活動

AIE 国際高等学校

「特別活動」	単位数	なし	学科	国際科・普通科	レポート課題数	—
--------	-----	----	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 自己の所属する集団に所属感や連帯感をもち、より向上させるために進んで力を尽くそうとすることを通して、変容をもたらす。 2. 協力して目標を設定し、役割や責任を進んで遂行すること、また、諸問題への対応や解決に積極的に取り組むことを通して、生涯にわたり、常に主体者として在り続ける姿勢を養う。 3. 自らの生き方に目覚め、将来を見据えて自己を実現するための能力を育てる。
使用教科書, 副教材など	なし

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題に対して多面的、多角的に考えるために必要な知識・技能。 各活動において求められる知識やスキルを自覚し、伸ばす努力ができていますか。	課題解決のために求められる思考・判断・表現。 各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができていますか。	答えのない問いに対して探究しようとする主体的に学ぶ姿勢。正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習指導計画 通学スタイル 面接指導 10 回

回 (実施日)	活動名	内容
1 (4/9)	入学式	校長・提携大学・来賓からのお祝い、先輩からの挨拶・学校紹介、校歌斉唱を通して、学校コミュニティの一員としての所属感を高める。
2 (4/10)	新年度オリエンテーション	本校での卒業要件、評価、学習に関する理解と高校生活へ導入する。 道徳教育オリエンテーション (いじめ未然防止)
3 (4/16)	Performing Arts①	演劇ワークショップを通して、身体を使って表現することを学ぶ。 健全な協働に導く指導。(いじめ未然防止)
4 (6/10)	進路ガイダンス①	進路について考えるために、自己理解を深める。
5 (7/7)	Performing Arts②	舞台作品を協働して仕上げる。(レジデンス、週 5 日、週 3 日通学スタイルは出演、週 1 日通学スタイルは鑑賞)
6 (9/12)	留学フェア	海外大学という選択肢があることを知り、進路選択の視野を広げる。
7 (9/25)	スポーツ大会	体育で継続的に練習しているバレーボール、その他競技にチームで取り組む。
8 (10/21)	進路ガイダンス②	社会に目を向け、各社会課題をどの学部を通して解決できるかを考える。
9 (2/18)	スピーチ大会準備	1 年間を振り返り、自分の学びや変化を言語化する。
10 (3/18)	スピーチ大会	自分の経験をスピーチ形式で表現するとともに、他者のスピーチから学ぶ。

(2) 学習指導計画 通信スタイル

視聴レポート

期	No.	内容	学習のねらい
前期	1 (5/13)	NHK アカデミア 山中伸弥	「VW (ビジョン&ワークハード)」の重要性と、iPS 細胞の開発は、挫折を乗り越え医療へ繋ぐ努力に支えられていることを学ぶ。
	2 (6/10)	NHK アカデミア 外尾悦郎	真の合理性を追求し、困難を乗り越え、好きなことで人を幸せにする探求心と姿勢を学ぶ。
	3 (7/8)	NHK アカデミア 福岡伸一	好きなことへの探究心、挫折を乗り越える視点の転換、生命の「動的平衡」と「利他」への理解を深める。
期後	4 (9/30)	NHK アカデミア 山本征治	ある対象に没頭し、真の合理性を追求する姿勢、困難を乗り越える力、そして顧客や仲間を幸せにする使命感に学ぶ。

	5 (10/28)	NHK アカデミア 吉田都	自己の課題克服、真の合理性の追求、目標達成への粘り強さ、そして他者貢献の精神を学ぶ。
	6 (11/25)	NHK アカデミア 小林快次	困難を乗り越える粘り強さ、常識にとらわれない思考、そして未来へ一歩踏み出す勇気を学ぶ。

面接指導

回 (実施日)	活動名	内容
1 (8/25)	オリエンテーション	自己紹介、1 週間のスクーリングの理解。 健全な協働に導くための対話の時間。（いじめ未然防止）
2 (8/28)	現代に影響を与えた人物	選んだ人物についてリサーチを行う。（リサーチスキル）
3 (8/29)	現代に影響を与えた人物	調べたことを言葉や画像でまとめる。（思考力）
4 (8/30)	現代に影響を与えた人物	iPad やオンラインのスライドを活用し、表現をする。（プレゼンテーションスキル）

（3）評価方法

レポート、スクーリングでの取り組みを、以下の 3 つの観点から評価する。
【知識・技能】 スクーリングでのディスカッションや個別の活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。
【思考・判断・表現】 スクーリングでの各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができているか。 また、レポートでは、与えられた情報を深く捉え、自分の言葉で感じたことを言語化できているか。
【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングにおいて、正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。

特別活動

AIE 国際高等学校

「特別活動Ⅱ」	単位数	なし	学科	国際科・普通科	レポート課題数	—
---------	-----	----	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 自己の所属する集団に所属感や連帯感をもち、より向上させるために進んで力を尽くそうとすることを通して、変容をもたらす。 2. 協力して目標を設定し、役割や責任を進んで遂行すること、また、諸問題への対応や解決に積極的に取り組むことを通して、生涯にわたり、常に主体者として在り続ける姿勢を養う。 3. 自らの生き方に目覚め、将来を見据えて自己を実現するための能力を育てる。
使用教科書, 副教材など	なし

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題に対して多面的、多角的に考えるために必要な知識・技能。 各活動において求められる知識やスキルを自覚し、伸ばす努力ができていますか。	課題解決のために求められる思考・判断・表現。 各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができていますか。	答えのない問いに対して探究しようとする主体的に学ぶ姿勢。正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習指導計画 通学スタイル 面接指導 10 回

回 (実施日)	活動名	内容
1 (4/9)	入学式	学校コミュニティに新入生を迎えるために、企画し、実行する。
2 (4/7)	新年度オリエンテーション	新学年になり、1 年の目標を設定し、学習計画を立てる。 道徳教育オリエンテーション (いじめ未然防止)
3 (4/16)	Performing Arts	舞台作品を協働して仕上げる。また、2 年目として、自分の演技だけではなく全体の中での役割を果たす。(レジデンス、週 5 日、週 3 日通学スタイルは出演、週 1 日通学スタイルは鑑賞) 健全な協働に導く指導。(いじめ未然防止)
4 (6/24)	進路ガイダンス①	進路について具体的な知識を得て、将来を見据えて学習を進められるようにする。
5 (9/12)	留学フェア	海外大学も進路選択の 1 つとして情報を得て、進路選択の幅を広げる。
6 (9/25)	スポーツ大会	体育で継続的に練習しているバレーボール、その他競技にチームで取り組む。全体の中での役割を果たす。
7 (9/30)	模擬授業	大学教授からの授業を受け、大学での学びをイメージできるようになる。
8 (11/4)	進路ガイダンス②	自分の課題意識や関心から、具体的な学部選択を行う。
9 (2/18)	スピーチ大会準備	1 年間を振り返り、自分の学びや変化を言語化する。
10 (3/18)	スピーチ大会	自分の経験をスピーチ形式で表現するとともに、他者のスピーチから学ぶ。

(2) 学習指導計画 通信スタイル

視聴レポート

期	No.	内容	学習のねらい
前期	1 (5/13)	NHK アカデミア 山口晃	課題を乗り越える柔軟な思考、常識にとらわれない発想力、そして社会を見つめ問いかける視点を学ぶ。
	2 (6/10)	NHK アカデミア 穂村弘	困難を乗り越える粘り強さ、失敗を価値に変える視点、固定観念に囚われない表現の追求を学ぶ。
	3 (7/8)	NHK アカデミア 生江史伸	困難を乗り越える粘り強さ、多角的な視点と課題解決力、社会・環境貢献の精神、そして学び続ける姿勢を学ぶ。
期後	4 (9/30)	NHK アカデミア 坂井正人	ある対象に没頭し、真の合理性を追求する姿勢、困難を乗り越える力、そして顧客や仲間を幸せにする使命感に学ぶ。

	5 (10/28)	NHK アカデミア 浅川智恵子	身近な課題を発見し、工夫と行動で解決する力、そして誰も取り残さない社会への貢献の精神を学ぶ。
	6 (11/25)	NHK アカデミア カズ・ヒロ	常識にとらわれない独自の発想力と、伝統を現代に活かす創造性を学ぶ。

面接指導

回 (実施日)	活動名	内容
1 (8/25)	オリエンテーション	自己紹介、1 週間のスクーリングの理解。 健全な協働に導くための対話の時間。（いじめ未然防止）
2 (8/26)	社会課題に取り組む企業	選んだ企業についてリサーチを行う。（リサーチスキル）
3 (8/29)	社会課題に取り組む企業	調べたことを言葉や画像でまとめる。iPad やオンラインのスライドを活用し、表現をする。（思考力、プレゼンテーションスキル）
4 (8/29)	進路ガイダンス	進路についての情報を得て、具体的な進路選択について考え始める。

（3）評価方法

レポート、スクーリングでの取り組みを、以下の 3 つの観点から評価する。
【知識・技能】 スクーリングでのディスカッションや個別の活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。
【思考・判断・表現】 スクーリングでの各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができているか。 また、レポートでは、与えられた情報を深く捉え、自分の言葉で感じたことを言語化できているか。
【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングにおいて、正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。

特別活動

AIE 国際高等学校

「特別活動Ⅲ」	単位数	なし	学科	国際科・普通科	レポート課題数	—
---------	-----	----	----	---------	---------	---

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 自己の所属する集団に所属感や連帯感をもち、より向上させるために進んで力を尽くそうとすることを通して、変容をもたらす。 2. 協力して目標を設定し、役割や責任を進んで遂行すること、また、諸問題への対応や解決に積極的に取り組むことを通して、生涯にわたり、常に主体者として在り続ける姿勢を養う。 3. 自らの生き方に目覚め、将来を見据えて自己を実現するための能力を育てる。
使用教科書, 副教材など	なし

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題に対して多面的、多角的に考えるために必要な知識・技能。 各活動において求められる知識やスキルを自覚し、伸ばす努力ができていますか。	課題解決のために求められる思考・判断・表現。 各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができていますか。	答えのない問いに対して探究しようとする主体的に学ぶ姿勢。正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。

2. 学習指導計画及び評価方法等

(1) 学習指導計画 通学スタイル 面接指導 10 回

回 (実施日)	活動名	内容
1 (4/7)	新年度オリエンテーション	新学年になり、1 年の目標を設定し、学習計画を立てる。 道徳教育オリエンテーション (いじめ未然防止)
2 (4/9)	入学式	最上級生として新入生を迎えるために、企画し、実行する。
3 (4/16)	Performing Arts	舞台作品を協働して仕上げる。また、最上級生として、自分の演技だけではなく全体の中での役割を果たす。(レヂェンス、週 5 日、週 3 日通学スタイルは出演、週 1 日通学スタイルは鑑賞) 健全な協働に導く指導。(いじめ未然防止)
4 (5/13)	進路ガイダンス①	志望校に出願する選抜方法について確認し、必要な手続きを調べ、計画を立てる。
5 (6/3)	進路ガイダンス②	入試における英語資格試験の利用や奨学金などの仕組みを確認する。
6 (6/24)	進路ガイダンス③	志望理由書の作成。志望理由の明確化。
7 (7/15)	進路ガイダンス④	面接対策の実施。自分の意見を明言できるようになる。
8 (9/16)	進路ガイダンス⑤	課外活動・ボランティア活動の総括。活動レポートの作成。
9 (2/18)	スピーチ大会準備	1 年間を振り返り、自分の学びや変化を言語化する。
10 (3/18)	スピーチ大会	自分の経験をスピーチ形式で表現するとともに、他者のスピーチから学ぶ。

(2) 学習指導計画 通信スタイル

視聴レポート

期	No.	内容	学習のねらい
前期	1 (5/13)	NHK アカデミア 戸高一成	困難を乗り越える粘り強さ、思考停止を避け深く考える力、正しい情報に基づき判断する重要性を学ぶ。
	2 (6/10)	NHK アカデミア 片岡真実	多様な文化や社会をアートで深く理解する視点、見えない価値を引き出す編集力、そして人々と協働する姿勢を学ぶ。
	3 (7/8)	NHK アカデミア 柳沢正史	固定観念にとらわれない思考力、科学的根拠に基づいた意思決定、そして社会貢献の視点を学ぶ。
期後	4 (9/30)	NHK アカデミア 富永愛	自己理解と肯定の重要性、固定観念にとらわれない創造性、そして多分野での経験を通じた自己成長を学ぶ。

	5 (10/28)	NHK アカデミア 伊達公子	自己を深く理解し、戦略的思考で行動する実践力、そしてプロセスを重視し他者貢献する精神を学ぶ。
	6 (11/25)	NHK アカデミア 久石譲	自己を深く理解し、論理的思考で作品を構成する実践力、そして絶えず自己を更新し、他者貢献を目指す姿勢を学ぶ。

面接指導

回 (実施日)	活動名	内容
1 (8/18)	オリエンテーション	自己紹介、1 週間のスクーリングの理解。 健全な協働に導くための対話の時間。（いじめ未然防止）
2 (8/21)	進路指導	進路希望調査。大学入試の選抜方法・スケジュールについてのガイダンス。
3 (8/22)	進路指導	進路希望調査を受けての個別面談。 個別面談以外の時間は、志望校リサーチ（アドミッションポリシー、カリキュラム、特色の再確認）に取り組む。リサーチ結果を言語化しまとめる作業を通じて、総合型・学校推薦型選抜の生徒は志望理由書作成の基礎資料とし、一般選抜の生徒は学習モチベーションの維持・向上につなげることを目的とする。
4 (8/23)	進路指導	出願に向けて必要な準備の確認。志望理由書作成／志望理由の確認。

（3）評価方法

レポート、スクーリングでの取り組みを、以下の 3 つの観点から評価する。
【知識・技能】 スクーリングでのディスカッションや個別の活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念について学習し、自らその概念を用いて思考することができる。 【思考・判断・表現】 スクーリングでの各活動において、さまざまな観点から思考・判断、自分の意見を的確に表現し、他者と効果的に合意形成ができ、協働ができているか。 また、レポートでは、与えられた情報を深く捉え、自分の言葉で感じたことを言語化できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングにおいて、正解が必ずしも 1 つではない問いに対して自分の考えを明言し、他者の意見にも積極的に耳を傾け、よりよい価値が生み出せるように授業内の活動に参加している。